

京都私立病院報

No.700－臨

一般社団法人 京都私立病院協会

第8回通常総会

開催日時 2020年5月27日（水）

午後4時

開催場所 ホテル日航プリンセス京都

一般社団法人京都私立病院協会第8回通常総会

開催日時 2020年5月27日〔水〕 午後4時
開催場所 ホテル日航プリンセス京都

次 第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議長選出についての提案

4. 議長挨拶

5. 議 事

議事録署名人の選任について

【協議事項】

第1号議案 令和年度一般社団法人京都私立病院協会貸借対照表並びに
正味財産増減計算書等決算に関し承認を求める件 (P.126)

【報告事項】

第1号報告 令和元年度一般社団法人京都私立病院協会事業報告について (P. 1)

第2号報告 令和元年度一般社団法人京都私立病院協会公益目的支出計画実施
報告について (P.139)

第3号報告 令和元年度一般社団法人京都私立病院協会監事による監査報告について (P.140)

第4号報告 令和2年度一般社団法人京都私立病院協会事業計画について (P.142)

第5号報告 令和2年度一般社団法人京都私立病院協会収支予算書並びに
正味財産増減予算書について (P.147)

6. 閉 会

第8回通常総会を迎えて

一般社団法人京都私立病院協会

会 長 清水 鴻一郎

2019年度は、平成から令和へと大きな時代の区切りを迎えました。昭和60年に実施された第一次医療法改正による医療計画の導入を契機に、病院・病床数の規制が始まりました。平成の時代には平成28年の第六次改正で地域医療構想を医療計画において策定することが定められ、2025年に必要となる病床数を4つの医療機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）ごとに推計し、更なる病床の機能分化と連携を進めて病床を再編し、効率的な医療提供体制の実現に向けて進められてきました。

このように昭和の終盤から平成にかけて30年以上も医療費の抑制を図るための病床削減が進められてきましたが、令和元年12月に中国で発生した新型コロナウイルス感染症は日本全国にも拡大し、感染者のための病床不足が深刻な問題となっています。特にイタリアなど、新型コロナウイルスによる死亡が多い国や地域では、緊縮財政で医療体制が弱体化していたという指摘があります。日本においても医療費削減を第一目的に、特定の診療実績だけを捉えて病床再編を進める問題点が明らかとなり、非常時にも対応し得る医療体制を確保するという視点が欠けていたと言わざるを得ません。

京都府内でも本年1月30日に最初の感染者が報告されて以降、徐々に感染者が増えるにつれ、感染経路不明の罹患が増え続けています。4月16日に政府は、緊急事態宣言を全都道府県に拡大し、京都府を「特別警戒都道府県」の一つに位置付け、蔓延が進んでいる地域として重点的な取り組みが必要としました。

京都府からは当協会に対し、新型コロナウイルス対応の病床確保（中等症・軽症対応病床）の要請があり、会員施設においては、従来から地域において重要な役割を果たして頂いているところですが、これに加え、発熱や呼吸器症状のある患者への診療・相談対応、帰国者・接触者外来の設置、検体の採取、感染者あるいは感染者の受入医療機関からの要請による感染者以外の入院受け入れ、患者・医療従事者の感染防止への対応等、大変なご苦勞で地域医療の維持に努めて頂いていることと存じます。患者や医療従事者への感染も起こっている状況の中、自らの危険をかえりみず、京都府民・京都市民の命を救うために全力を尽くして頂いている会員施設の医療従事者の皆様に心から感謝を申し上げます。

当協会では、会員施設におけるマスク・ガウン等の防護具や手指消毒薬等の衛生材料が逼迫する状況を受け、京都府及び京都市に供給を緊急要望しました。その結果、京都府及び京都市から

マスクを直送で、あるいは当協会へ配分されたマスクを会員施設へお送りいたしました。また、国の要請により設置された「京都府新型コロナウイルス感染症対策協議会」、京都府知事が出席する「京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」等の各種審議会に当協会が出席し、京都府内の民間病院を代表する立場として、京都府内において的確な対策が講じられるよう京都府・京都市に意見を述べています。

医療機関では、罹患した患者を診療していたことや医療従事者が感染したことにより、外来診療の縮小、病棟の閉鎖、閉院を余儀なくされることが現実となっています。こうした状況が長期に及べば診療の継続が困難となり、地域医療の崩壊に繋がりがねません。新型コロナウイルス感染症への対応と地域医療の継続は困難を極めていますが、会員施設と共に総力を挙げて克服し、地域における民間医療機関の必要性を示したいと存じます。

大変厳しい情勢の中、第8回通常総会を開催することを心苦しく存じますが、お許しを賜り、協議事項として令和元年度の歳入歳出決算をご提案するとともに、令和元年度事業報告、令和2年度事業計画・予算等をご報告したいと存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの影響により、当協会では本年2月下旬より、研修会の一部 WEB 開催したことを除いて中止とし、各種会議も中止もしくは文書審議による開催としています。これに加え、京都府が特別警戒都道府県に位置付けられたことに伴い、当面の間、各種研修会・京都病院学会は WEB 開催に切り替え、各種会議は必要に応じて文書審議による開催とし、令和2年度の協会事業が滞ることのないよう進めてまいります。

新型コロナウイルスとの闘いに立ち向かい、京都府民・京都市民の「いのちの砦」として、会員施設の皆様と心をつなげて難局を乗り越えたいと存じますので、引き続きご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

第1号報告

令和元年度一般社団法人京都私立病院協会 事業報告について

【総務部】

I	組織の現状と執行体制	
A	会員関係	4
B	役員及び業務分担	4
C	第7回通常総会	7
D	理事会	7
E	幹事会	8
II	会員相互の連携と組織強化	
A	表彰	8
B	事務長会	8
C	看護部長会	14
D	薬剤師部会	17
E	放射線技師部会	18
F	臨床検査部会	19
G	栄養士部会	20
H	リハビリテーション部会	21
I	臨床工学技士部会	22
J	部会連携会議	23
K	全体会議	23
L	創立55周年記念式典	24
M	新春会員懇親会	24
III	情報活動	
A	協会ホームページ	25
B	ファックス通信	25
IV	病院職員の確保対策への取り組み	
A	看護師等養成事業	26
B	メディワークセンター事業	27
V	環境問題・禁煙推進等の取り組み	28
VI	病院団体との交流	
A	近畿病院団体連合会	28
B	中央における病院団体	29
VII	京都府内における医療関係団体との連携	
A	京都府医師会	30
B	京都府病院協会	31
C	京都精神病院協会	32
D	京都府慢性期医療協会	32
E	その他	33
VIII	行政への対応	
A	京都府	35
B	京都市	39
IX	関係団体との連携	40

X	職員人事（令和2年4月1日現在）	
A	京都私立病院協会	40
B	京都保健衛生専門学校	40
C	京都府病院協同組合	41
D	京都府病院企業年金基金	41
E	（専）京都中央看護保健大学校	41

【保険部】

I	医療保険	
A	医療保険をめぐる状況	43
B	入院基本料等施設基準	43
C	生活保護法指定医療機関に対する個別指導への立会い	44
D	診療報酬委員会	44
II	介護保険	
A	介護保険をめぐる状況	44
B	介護保険委員会	45
C	介護サービス第三者評価事業	46
D	京都市新規介護認定調査事業	47

【地域医療部】

I	地域医療構想への取り組み	
A	地域医療構想をめぐる状況	49
B	地域医療構想検討委員会	49
II	救急・休日・時間外診療体制の推進	
A	京都府下における二次病院群輪番制	50
B	京都府周産期医療情報システム	52
C	京都府精神科救急医療システム	52
D	京都府救急医療情報システム	53
III	救急医療への取り組み	
A	救急医療をめぐる状況	53
B	救急医療検討委員会	54
C	交通事故医療	54
IV	医療安全対策への取り組み	
A	医療安全対策をめぐる状況	55
B	医療安全対策委員会	55
V	感染症対策への取り組み	
A	感染症をめぐる状況	57
B	感染症対策委員会	57
VI	京都式地域包括ケアシステムの推進	
A	在宅療養あんしん病院登録システム	59
B	府民リハビリテーション啓発支援事業	60
C	病院認知症対応力向上事業	61
D	病院地域包括ケアシステム強化事業	67
E	地域連携型在宅医療支援病院事業	70
VII	人材確保・定着への取り組み	
A	京都府医療勤務環境改善支援センター事業	71

B	医療労務管理支援事業	73
C	看護人材早期復職支援事業	73
D	きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム	75
E	京都市離職看護師能力再開発事業	77
F	これからの社会保障を考えるセミナー	77
G	医療従事者勤務環境改善体制整備事業	78
H	医療従事者確保強化事業	79
【学術研修部】		
I	京都病院学会	
A	第54回京都病院学会	83
B	第55回京都病院学会の開催に向けて	84
II	教育・研修	
A	教育研修基礎コース	85
B	看護卒後教育	86
C	保健医療管理者養成講座	89
D	中堅幹部職員研修	90
E	医師臨床研修・専門医制度への取り組み	90
【経営管理部】		
I	病院経営	
A	民間病院に対する補助制度への対応	92
B	融資斡旋	92
II	病院管理	
A	環境問題委員会	93
B	会員病院との情報ネットワークシステム	94
C	病院機能向上委員会	94
III	税制	95
【厚生部】		
I	会員交流	
A	第55回病院対抗野球大会	97
B	第42回病院対抗バレーボール大会	97
C	第14回病院対抗フットサル大会	98
D	第7回会員親睦ゴルフコンペ	98
II	京都私立病院報	99
【政策委員会】		
		101
【創立55周年記念事業】		
		102
【京都府地域医療介護総合確保基金（京都私立病院協会実施分）の説明】		
		105
〈参考〉		
学校法人京都保健衛生専門学校		107
京都府病院協同組合		113
京都府病院企業年金基金		114
学校法人京都中央看護師養成事業団		116

【総務部】

I 組織の現状と執行体制

A 会員関係

1 会員数 令和2年3月31日現在

会 員 132施設 (病院132施設)
特別会員 11施設

2 病床数 令和2年3月31日現在

会 員 一 般 13,544床
療 養 4,009床
精 神 5,206床
結 核 12床
介護医療院 1,705床
計 24,476床
特別会員 一 般 9床
計 9床

3 物故者

北 堅吉 日本バプテスト病院 令和元年8月26日ご逝去

4 入 会

(なし)

5 退 会

(なし)

B 役員及び業務分担

1 役 員

会 長	清水鴻一郎	副会長	久野 成人
副会長	富士原正人	副会長	武田 隆久
副会長	富田 哲也	副会長	岡田 純
副会長	小森 直之	副会長	石丸 庸介
副会長	藤澤 明生	理 事	畑 典男
理 事	近藤 泰正	理 事	菅 知行
理 事	茨木 孝二	幹 事	清水 聡
幹 事	清水 聰	幹 事	清水 史記
幹 事	明石 純	幹 事	市場 真澄
幹 事	真鍋 由美	幹 事	吉川 拓宏 (～令和1.5)

幹事 仲田 昌司
監事 大槻 秧司
監事 高松 晃司
顧問 武田 隆男

幹事 武田 敏也（令和1.6～）
監事 清水 紘
顧問 大川原康夫

2 業務分担

<政策委員会>

清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、岡田 純、小森直之、石丸庸介、藤澤明生

<渉外・広報>

清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久

<総務部>

部長／武田隆久 副部長／小森直之

・地区別組織

- 1) 京都市域／武田隆久
- 2) 北部地区／富士原正人
- 3) 南部地区／石丸庸介

・職種・職務別組織

- 1) 事務長会／茨木孝二、市場真澄、仲田昌司
- 2) 看護部長会／石丸庸介、藤澤明生
- 3) 薬剤師部会／畑 典男
- 4) 放射線技師部会／菅 知行
- 5) 臨床検査部会／清水 聡（～令和1.5）、武田敏也（令和1.6～）
- 6) 栄養士部会／畑 典男
- 7) リハビリテーション部会／岡田 純
- 8) 臨床工学技士部会／吉川拓宏（～令和1.5）、武田敏也（令和1.6～）
- 9) 部会連携会議／明石 純（令和1.6～）、茨木孝二（令和1.6～）

・ネットワークセンター事業運営委員会／畑 典男、市場真澄、仲田昌司

・近畿病院団体連合会委員会／清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、岡田 純、小森直之、石丸庸介、藤澤明生

・近畿病院団体連合会事務長会／茨木孝二、市場真澄、仲田昌司

・四病院団体協議会／武田隆久、小森直之

<保険部>

部長／久野成人（令和1.6～） 副部長／富士原正人

- ・診療報酬委員会／富士原正人、仲田昌司
- ・介護保険委員会／久野成人、清水 聡、近藤泰正、茨木孝二
- ・介護サービス第三者評価事業／久野成人、清水 聡、近藤泰正

- 京都市新規要介護認定調査事業／久野成人、清水 聡、近藤泰正

<地域医療部>

部 長／武田隆久 副部長／富田哲也

- 地域医療構想検討委員会／清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、岡田 純、小森直之、石丸庸介、藤澤明生
- 救急医療検討委員会／武田隆久、富士原正人、清水 聡（令和1.6～）、清水史記（令和1.6～）
- 二次病院群輪番制／京都市域：菅 知行（～令和1.5）、清水史記（令和1.6～）
山城北：石丸庸介
- 感染症対策委員会／清水 聡、清水史記
- 医療安全対策委員会／小森直之、武田隆久
- 在宅療養あんしん病院登録システム／久野成人、富士原正人
- 府民リハビリテーション啓発支援事業／富士原正人、武田隆久、岡田 純
- 病院認知症対応力向上事業／武田隆久、富田哲也、近藤泰正、畑 典男
- 看護人材早期復帰支援事業検討委員会／富士原正人、武田隆久、茨木孝二
- 看護職確保プロジェクトチーム／茨木孝二
- 離職看護師能力再開発事業／石丸庸介、藤澤明生
- 京都府医療勤務環境改善支援センター／清水鴻一郎、石丸庸介、清水 聡、清水史記、真鍋由美
- 医療労務管理支援事業／清水鴻一郎、石丸庸介、清水 聡、清水史記、真鍋由美
- 医療従事者キャリア向上事業／清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、岡田 純、小森直之、石丸庸介、藤澤明生
- 医療従事者勤務環境改善体制整備事業／武田隆久、仲田昌司
- 医療従事者確保強化事業／畑 典男、茨木孝二
- 病院地域包括ケアシステム強化事業／久野成人、近藤泰正
- 地域連携型在宅医療支援病院事業／石丸庸介、武田隆久、富士原正人

<学術研修部>

部 長／岡田 純 副部長／石丸庸介（令和1.6～）

- 京都病院学会理事会／清水鴻一郎、岡田 純、小森直之、石丸庸介、藤澤明生、近藤泰正、清水 聡
- 看護卒後教育／石丸庸介、藤澤明生
- 幹部教育（中堅幹部職員研修）／茨木孝二、市場真澄
- 初級教育（教育研修基礎コース）／清水 聡、真鍋由美、菅 知行（令和1.6～）
北部地区：富士原正人
- 保健医療管理者養成講座運営委員会／岡田 純、吉川拓宏（～令和1.5）、清水史記（令和1.6～）、真鍋由美（令和1.6～）
- 医師臨床研修／武田隆久、清水 聡

<経営管理部>

部長／藤澤明生

- 環境問題委員会／藤澤明生、市場真澄、明石 純
- 病院機能向上委員会／富士原正人、武田隆久、明石 純（令和1.6～）
- 税制・補助金／小森直之、武田隆久、明石 純（令和1.6～）

<厚生部>

部長／富士原正人

- 私病報編集委員会／近藤泰正
- 野球大会実行委員会／市場真澄
- バレーボール大会実行委員会／真鍋由美
- フットサル大会実行委員会／富田哲也（～令和1.5）、武田敏也（令和1.6～）
- 会員親睦ゴルフコンペ／富士原正人、茨木孝二

C 第7回通常総会

令和元年5月22日 於：リーガロイヤルホテル京都

【協議事項】

- 第1号議案 平成30年度一般社団法人京都私立病院協会貸借対照表並びに正味財産増減計算書等決算に関し承認を求める件
- 第2号議案 一般社団法人京都私立病院協会第4期役員を選出に関し承認を求める件
- 第3号議案 一般社団法人京都私立病院協会第4期会長及び副会長候補者の選出に関し承認を求める件

【報告事項】

- 第1号報告 平成30年度一般社団法人京都私立病院協会事業報告について
- 第2号報告 平成30年度一般社団法人京都私立病院協会公益目的支出計画実施報告について
- 第3号報告 平成30年度一般社団法人京都私立病院協会監事による監査報告について
- 第4号報告 令和元年度一般社団法人京都私立病院協会事業計画について
- 第5号報告 令和元年度一般社団法人京都私立病院協会収支予算並びに正味財産増減予算について

審議の上、全議案が承認可決された。

D 理事会

理事会は理事・監事をもって構成しており、令和元年度は計4回開催した。

協会の定款に基づき、理事会の承認事項である法人の業務執行、事業報告及び決算、事業計画・予算、その他協会の重要案件を審議・協議した。

第3期 第8回（4/24）

第4期 第1回（5/22）、第2回（11/20）、第3回（3/18） 計4回開催

E 幹事会

幹事会は理事、幹事、監事で構成し、毎月第1、第3水曜日を定例開催日として協会の定款に基づき、協会の各委員会等が提案する意見・報告、日常会務の運営に関する事項を審議・協議した。

また、民間病院が直面している医療・介護制度の問題や、医療・介護にかかわる京都府・京都市予算、その他関係する事案について、要望書等も幹事会で協議し、積極的に意見・提言を行った。

第3期：第38回（4/3）～第40回（5/8）

第4期：第1回（6/5）～第16回（3/18） 計19回開催

〔要望書〕

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うマスク等の供給に関する緊急要望 3/6

（資料1・資料2）

- ・当協会認定調査員へのマスクの提供に関する緊急要望 3/6（資料3）

II 会員相互の連携と組織強化

A 表彰

国や地方自治体等より依頼のある各種表彰の推薦を行い、会員関係では以下の方々が表彰された。（敬称略、所属・職名は表彰日現在）

◇公衆衛生事業功労者・厚生労働大臣表彰

富田哲也（富田病院理事長・当協会推薦）

◇京都府保健医療功労者表彰

個人の部／清水鴻一郎（京都リハビリテーション病院理事長・当協会推薦）

団体の部／京都久野病院（伏見区・当協会推薦）

◇京都府救急医療功労者表彰

個人の部／石丸庸介（田辺中央病院理事長・当協会推薦）

団体の部／十条武田リハビリテーション病院（南区・当協会推薦）

日本バプテスト病院（左京区）

◇京都府看護功労者表彰

眞澄八恵子（伏見桃山総合病院看護部長・当協会推薦）

川上智子（社会医療法人岡本病院（財団）総人事部シニアマネージャー）

B 事務長会

事務長会は、常任委員会を中心として各種事案を協議するとともに、日常業務等に係る諸問題への対応に取り組んでいる。また、教育・研修部会、総務・企画部会、調査・研究部会の3つの部会体制のもと、必要に応じてそれぞれの部会に意見提言する等のサポートに努めながら、互いに有機的な連携を保ち今年度もこれまで以上に積極的な活動を展開してきた。

1 常任委員会

常任委員会は、事務長会の中核機関として、事務長会独自の企画はもとより、幹事会をはじめ協会内各委員会からの要請事項に対応するなど、多くの案件について協議・検討を行っている。

また、医療情勢を分析しながら情報交換なども活発に行い、病院医療が直面する諸問題に対し、解決を求める努力を重ねている。

幹事会方針に基づいた各種事業にも積極的に参画し、多くの委員会等に代表を派遣するなど全面的な協力体制を取るとともに、各会員病院の病院経営および日常業務の向上に資するべく活動を行った。

<役員>

委員長：茨木孝二（亀岡病院）

副委員長：山田正明（堀川病院）、市場真澄（いわくら病院）、宝輪克博（医仁会武田総合病院）、仲田昌司（三菱京都病院）、中川正之（なごみの里病院）、金岩孝也（京都民医連中央病院 令和1.6～）

常任委員：浅田 淳（長岡病院）、荒井達雄（シミズ病院）、荒木朝実（賀茂病院 ～令和1.5）、池内研二（医聖会本部）、小嶋明彦（もみじヶ丘病院）、北庄司和之（なぎ辻病院 ～令和1.5）、海藻 達（京都回生病院 令和1.6～）、黒田正博（京都リハビリテーション病院 令和1.6～）、齊藤史雄（京都南病院）、坂本裕里（相馬病院）、篠田浩之（京都桂病院）、末廣健児（田辺中央病院）、寺田克己（京都武田病院 令和1.6～）、西海和成（京都九条病院）、廣瀬良太（洛和会音羽病院）、藤井本龍弘（桃仁会病院）、古田智史（京都博愛会病院）、山口浩二（京都ルネス病院）、山口政美（宇治おうばく病院 ～令和1.5）、山原麻季（薬師山病院 ～令和1.5）

<各委員会への派遣委員>

- ・ネットワークセンター事業運営委員会：宝輪克博、山口浩二
- ・救急医療検討委員会：西海和成、末廣健児
- ・医療安全対策委員会：坂本裕里、池内研二（～令和1.5）、黒田正博（令和1.6～）
- ・看護人材早期復職支援事業検討委員会：山口政美（～令和1.5）、海藻 達（令和1.6～）
- ・京都府医療勤務環境改善支援センター事業運営委員会：山田正明、古田智史
- ・医師事務作業補助者研修会運営委員会：宝輪克博、西海和成、廣瀬良太、荒井達雄
- ・診療報酬委員会：金岩孝也（～令和1.5）、篠田浩之、寺田克己（令和1.6～）
- ・介護保険委員会：中川正之、齊藤史雄
- ・保健医療管理者養成講座運営委員会：北庄司和之（～令和1.5）、池内研二（令和1.6～）
- ・教育研修基礎コース（北部地区）：小嶋明彦
- ・環境問題委員会：山原麻季（～令和1.5）、金岩孝也（令和1.6～）
- ・病院機能向上委員会：浅田 淳（～令和1.5）、廣瀬良太
- ・私病報編集委員会：荒木朝実（～令和1.5）、藤井本龍弘、浅田 淳（令和1.6～）

- ・ 会員親睦ゴルフコンペ実行委員会：山田正明、宝輪克博（～令和1.5）
- ・ 中堅幹部職員研修会プロジェクトチーム：茨木孝二、山田正明、市場真澄、仲田昌司、
小嶋明彦、山口浩二、中川正之、末廣健児
- ・ 医事業務研修会プロジェクトチーム：茨木孝二、山田正明、市場真澄、宝輪克博、金岩孝也、
西海和成、齊藤史雄、荒井達雄
- ・ 南部地区事務長会：池内研二、末廣健児
- ・ 北部地区事務長会：小嶋明彦、山口浩二
- ・ 京都病院学会実行委員会：外川敬介（京都リハビリテーション病院）

a 定例委員会

毎月第2金曜日を定例日とし、7回開催した。毎回事前に正副委員長会議を開き、委員会の運営等に関して協議している。今期は4月、11月、1月の3回の委員会を拡大委員会とし、全会員の事務長に出席を呼びかけ、多数の参加を得た。委員会では、種々の企画立案をはじめ、情報・意見交換を行い、私病協ならびに各病院の抱える諸問題の解決に努めた。

また、委員会での主な協議事項については、必要に応じ会員病院の事務長に報告した。

開催日：4/12(拡大) 6/14 7/12 9/13 11/8(拡大) 1/10(拡大) 2/14 3/13(中止)

計7回

b 総会 5月10日 於：京都ブライトンホテル

平成30年度の事業報告ならびに令和元年度の事業方針等について承認された。

c 全体会議 12月13日 於：ウェスティン都ホテル京都

年末の懇親会を兼ねて、全体会議を開催した。会議では令和元年度上半期の事務長会活動報告を行い、恒例の経営管理講演会を開催した。

d 研修会

1) 4月12日 於：私病協会議室 参加者／47名

テーマ／「労働基準監督署への内部告発を防ぐ現場マネジメントのポイント」

講師／植田なつき（株式会社日本経営組織人事コンサルティングチームリーダー）

2) 11月8日 於：私病協会議室 参加者／36名

テーマ／「サイバー攻撃の未然防止、被害拡大の防止に向けた対策について」

講師／京都府情報通信部情報技術解析課技官 2名

京都府警察サイバー攻撃特別捜査隊 1名

京都府下京警察署 3名

3) 12月13日 於：ウェスティン都ホテル京都 参加者／79名

テーマ①／「京都府地域包括ケア構想について」（事務長会全体会議）

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課医務・看護担当課長）

テーマ②／「事務長が知っておくべき労働法～パート・有期労働法と労働者派遣法（同一労働同一賃金）への具体的な対応策について～」（事務長会全体会議）

講師／岸川 守（関西ステート経営労務事務所代表・特定社会保険労務士）

4) 1月10日 於：私病協会議室 参加者／56名

テーマ／「同一労働同一賃金への対応方法」

講師／飯田哲哉（株式会社日本経営組織人事コンサルティング部課長代理）

5) 3月8日 於：京都烏丸コンベンションホール 参加申込者／262名

テーマ／「令和2年度診療報酬改定について」（事務長会研修会・これからの社会保障を考
えるセミナー Part 3 合同開催）

講師／森光敬子（厚生労働省保険局医療課長）

*新型コロナウイルスの影響により中止（参加申込者には資料を提供）

e 施設見学

1) 医療廃棄物中間処分場・最終処分場見学 10月8日 参加者／38名

見学先／光アスコン株式会社（中間処理施設）、大阪湾広域臨海環境整備センター（最終処
分施設）

共催／京都府病院協同組合

2) 外部研修 11月29日～30日 参加者／25名

見学先／公益財団法人操風会岡山旭東病院（岡山県岡山市）

宿泊／WASHU BLUE RESORT 風籠（鷺羽山吹上温泉）

f 他府県病院協会事務長会との交流

1) 近畿病院団体連合会事務長会

・10月11日 於：社会医療法人愛仁会愛仁会りハビリテーション病院（大阪府高槻市）
病院概要説明および施設見学

説明／吉田和也（愛仁会りハビリテーション病院院長）

松原正明（社会医療法人愛仁会理事・本部局長）

高岡秀幸（高槻病院院長）

講演

内容／「ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）」についての紹介

講師／秋田和彦（大阪医科大学関西 BNCT 共同医療センター副技師長）

・3月6日 於：大阪新阪急ホテル

各府県の諸問題について情報交換

特別講演：

テーマ／同一労働同一賃金について

講師／笹田賢司（大阪府医療勤務改善支援センター医療労務管理アドバイザー）

*新型コロナウイルスの影響により中止

2 部会活動

a 教育・研修部会

1) 部長／山田正明

副部長／宝輪克博

部 員／荒井達雄、海藻 達（令和1.6～）、末廣健児、西海和成、廣瀬良太、藤井本龍弘、
山口政美（～令和1.5）

2) 開催日 4/12 6/14 7/12 9/13 11/8 1/10 2/14 3/13（中止） 計7回

3) 主な活動

会員施設の事務長が日常業務の中で抱えている問題の解決に資するテーマや、病院事務職員向けのタイムリーな内容をテーマとした以下の研修会の企画・検討を行った。

(1) 事務長拡大常任委員会「労働基準監督署への内部告発を防ぐ現場マネジメントのポイント」「サイバー攻撃の未然防止、被害拡大の防止に向けた対策について」「同一労働同一賃金への対応方法」（計3回）

(2) 事務長会全体会議「事務長が知っておくべき労働法～パート・有期労働法と労働者派遣法（同一労働同一賃金）への具体的な対応策について～」

(3) 事務長会研修会・これからの社会保障を考えるセミナー Part3 合同開催「令和2年度診療報酬改定について」

(4) その他、職員教育及び労務に関する諸問題について情報交換を行い、あわせて分析・検討を行った。

b 総務・企画部会

1) 部 長／仲田昌司

副部長／金岩孝也（令和1.6～）

部 員／浅田 淳、池内研二、小嶋明彦、北庄司和之（～令和1.5）、黒田正博（令和1.6～）、
坂本裕里、山原麻季（～令和1.5）

オブザーバー／茨木孝二

2) 開催日 4/12 6/14 7/12 9/13 11/8 1/10 2/14 3/13（中止） 計7回

3) 主な活動

(1) 事務長会総会の講師・テーマ及び運営全般について企画・検討を行った。

(2) 事務長会外部研修の見学先及び行程について検討を行った。

(3) 日常業務等に関わる各種調査（以下3件）を実施し、会員施設に必要な情報提供を行った。

・今春の賃金改定及び夏期賞与の支給状況について（7～8月実施）

・職員に対する健康診断の実施に内容について（7～8月実施）

・冬期賞与の支給状況について（1月実施）

c 調査・研究部会

1) 部 長／市場真澄

副部長／中川正之

部 員／荒木朝実（～令和1.5）、金岩孝也（～令和1.5）、齊藤史雄、篠田浩之、
寺田克己（令和1.6～）、古田智史、山口浩二

2) 開催日 4/12 6/14 7/12 9/13 11/8 1/10 2/14 3/13（中止） 計7回

3) 主な活動

(1) 平成30年度分経営分析調査の実施とその集計

8～9月実施 協力57病院

平成30年度の調査も、2017年度と同じ調査項目を用いて実施した。調査の集計結果には解説を添付し協力病院に発送した。

(2) 令和元年度分賃金労働条件等実態調査の実施とその集計

11～1月実施 賃金・労働条件等実態調査 協力71病院

集計表の頒布開始 3月24日

d 医事業務研修会プロジェクトチーム会議

医事業務研修会は、平成27年度から事務長会メンバーで構成されたプロジェクトチームで勉強会の内容について企画・検討を行っている。本会議で決定したカリキュラムに沿って会員施設のスタッフを中心に講師を依頼したほか、プロジェクトチームの委員も講師及び当日運営を務め研修会を開催した。

1) プロジェクトチーム会議

開催日 6/25 9/30 1/16 計3回 (打ち合わせ会議 8/27 9/26)

2) 研修会

開催日/10月17日～18日

会場/京都・畑河(京都府亀岡市)

参加者/31施設55名

研修内容/①診療報酬請求事務能力向上勉強会

②講義「医療情勢について(京都府地域包括ケア構想を含む)」

「保険診療の理解のために～施設基準・DPC等を含めて～」

③グループワーク

診療報酬請求事務能力向上勉強会講師/

高田浩之(武田病院グループ本部在宅医療推進部部長)、

増本隆弘(洛和会音羽記念病院管理課主席課長)、松岡繁秀(宇治徳洲会病院医事課課長)、

杉浦隆史(新京都南病院医事課課長)、山本さゆり(西陣病院医事課副主任)、

浅田健文(京都桂病院医事2課係長)、佐々木良太(いわくら病院医事課課長)、

西山友香理(医仁会武田総合病院医事2課課長代理)、丸山俊太郎(吉祥院病院医事課課長)

e 中堅幹部職員研修プロジェクトチーム会議

(詳細は学術研修部の頁を参照)

3 地区活動

a 南部地区事務長会

宇治・城陽・八幡・京田辺・久御山・精華地区会員21施設を対象とする南部地区事務長会を開催し、地域固有の話題をはじめ、医療情勢、病院経営に関わる様々な問題について協議・情報交換を行った。

6月26日 事務長会 於：宇治市産業会館（宇治市）

11月27日 事務長会 於：宇治市産業会館

b 北部地区事務長会

中丹、丹後地区の会員11施設を対象とする北部地区事務長会を開催し、医療情勢、経営管理全般にわたる問題や北部地区固有の問題について協議・情報交換した。

10月25日 事務長会 於：ホテルロイヤルヒル福知山（福知山市）

2月7日 事務長会 於：とと屋（京丹後市）

C 看護部長会

令和元年度においても原則として月に1回定例会を開催した。会員病院の看護管理者であれば参加できるオープン参加形式をとり、毎回平均60名前後の参加があった。定例会では各研修会、関係事業所からの報告および地域医療構想や日常業務に関する情報交換を行った。報告事項は口頭での報告を中心とし、時間を短縮することで、情報提供・交換の時間を多くもち、日頃の疑問に即対応できる体制をとった。相互研修では、議題に基づいて、参加者全体での情報交換、事例発表、外部から講師を招いての講義など様々な形式を取り入れた。

<役員>

部会長：矢田貴子（堀川病院）

副部長：長谷川寿子（京都博愛会病院）、南 京子（新京都南病院）

担当役員：石丸庸介、藤澤明生

1 総会

5月24日 於：京都ホテルオークラ 出席／63名

テーマ／「地域包括ケア構想と病床機能～京都方式（案）の機能区分について」

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課医務・看護担当課長）

2 定例会

開催日 4/23 5/24 6/17 7/30 9/3 11/18 1/24 2/17 3/10（中止） 計8回

3 相互研修

4月「労働基準法における労働時間制度について～労働時間の考え方～」(講演)

講師／黒川仁晴（京都労働局労働基準部監督課）

6月「労務管理の成功事例」(事例発表)

発表者／杉村洋子（宇治病院看護部長）

坂井加津美（北山病院看護部長）

谷中淑恵（長岡京病院看護部長）

松本旗江（明石病院看護部長）

7月「裁判例に学ぶ看護師の法的責任」(講演)

講師／頼 政忠（頼法律事務所弁護士）

9月「適時調査を受けて」(事例発表)

11月「人生100年時代の看護師の役割」（講演）

講 師／大島敏子（NPO 法人看護職キャリアサポートフリースタッフ・ナースの会会長）

*講演後、講師と看護管理者による意見交換会を開催

2月「地域包括ケアシステムの推進について」（講演）

講 師／真下信男（京都府健康福祉部医療課医務・看護担当課長）

3月「看護部長のナラティブ」（事例発表）

発表者／石束佳子（京都中央看護保健大学校副学校長）

相見玲子（シミズ病院看護部長）

後藤幸代（宇治武田病院看護部長）

*新型コロナウイルスの影響により中止

4 委員会活動

a 総務委員会

定例会での相互研修の企画など、看護部長会全般の企画・運営を行った。その他、平成27年度から開催しており、平成30年度より医療従事者確保強化事業の看護補助者確保推進事業として実施している一般市民を対象とした「看護補助者説明会」の企画・運営を行い、京都市内で2回、南部地区で1回開催した。また、平成28年度から引き続き「看護管理者研修」の他、中間管理者育成のためにより多くの看護師長に研修を受講する機会を提供するべく、看護中間管理者研修Ⅰ（主任コース）全11回のうち2回を公開講座とすることとし、企画・運営を行った。その他当委員は教育委員会・福利厚生委員会の委員も兼ねており、各委員会の企画・運営に関しても検討した。

委員長：矢田貴子

委 員：長谷川寿子、南 京子、塚本美晴（医仁会武田総合病院 ～令和1.5）、

中島美代子（西陣病院）、小河陽子（京都きづ川病院 令和1.6～）、

松田保子（伏見岡本病院 平成31.4～）

開催日 4/23 5/24 6/17 7/30 9/3 11/18 1/24 2/17 3/10（中止）計8回

b 教育委員会

看護主任や師長などを対象とした看護卒後教育に関する研修を中心に、看護職員を対象とする研修会の企画・運営を行った。

委 員 長：長谷川寿子

副委員長：塚本美晴（～令和1.5）、中島美代子、小河陽子（令和1.6～）

委 員：田中雅子（川越病院）、小河陽子、木村克美（蘇生会総合病院 ～令和1.5）、

春日かほる（田辺記念病院）、浦野貴子（洛西シミズ病院）、山崎真奈美（西京都病院）、

谷口文代（京都桂病院）、堤 恵子（京都南病院）、

上山さゆみ（京都リハビリテーション病院 平成31.4～）、

福島朋樹（新河端病院 令和1.6～）、正美津恵（京都久野病院 令和1.6～）、

阿形奈津子（京都中央看護保健大学校）、谷本千亜紀（京都保健衛生専門学校）

オブザーバー：矢田貴子

開催日 4/23 5/24 6/17 7/30 9/3 11/18 1/24 2/17 3/10 (中止) 計8回

c 福利厚生委員会

会員病院の看護職相互の親睦を目的として、研修旅行および懇親会などを企画し、開催した。

委員長：南 京子

副委員長：松田保子

委員：大山清美(大島病院 ~令和1.5)、桐畑宏子(西山病院)、畑田宏美(亀岡シミズ病院)、
井上早苗(京都武田病院)、高橋鈴子(相馬病院 平成31.4~)、木村克美(令和1.6~)

オブザーバー：矢田貴子

開催日 4/23 6/17 7/30 9/3 11/18 2/17 3/10 (中止) 計6回

5 研修旅行

10月26日 参加者/39名

テーマ/「医療介護ロボットと看護職の協働」

施設見学/株式会社三笑堂

6 懇親会

a 総会懇親会 5月24日 於：京都ホテルオークラ 参加者/58名

b 新春懇親会 1月24日 於：ホテルモントレ京都 参加者/51名

7 看護補助者説明会(企画・運営)

・詳細別記(Ⅵ 京都式地域包括ケアシステムの推進 H 医療従事者確保強化事業)

8 看護管理者研修

6月21日 於：コープ. イン. 京都 参加者/106名

テーマ/「看護補助者の活用と成長支援」

内容/①看護補助者活用に関する制度等の概要

－看護補助者の活用と業務改善から地域医療構想に対応する－

②看護補助者の雇用形態と処遇

③看護職員との連携と業務整理

④看護補助者の育成・研修・能力評価

講師/①濱中洋平(メディキャスト株式会社 NK アカデミー事業部)

②中野翔太(株式会社日本経営組織人事コンサルティング部)

③矢田貴子(堀川病院看護部長)

④高野佳子(堀川病院副看護部長)

9 看護中間管理者研修Ⅰ(主任コース)公開講座

a 4月26日 於：登録会館 参加者/25名

テーマ/「いのちへの問いかけ」(第1回)

講師/西沢いづみ(立命館大学生存学研究センター客員研究員)

b 1月22日 於：コープ. イン. 京都 参加者/25名

テーマ／「グループ・ダイナミックスの理論と方法～災害ボランティアの視点を交えて」
(第10回)

講師／渥美公秀（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

10 各委員会への派遣委員

- ・私病報編集委員会：中澤美知子（なぎ辻病院）、松本旗江（明石病院）
- ・ネットワークセンター事業運営委員会：桐畑宏子、海老成子（金井病院 ～令和1.12）、
井上早苗（令和2.2～）
- ・保健医療管理者養成講座運営委員会：木村克美
- ・環境問題委員会：高橋鈴子、矢田貴子
- ・病院機能向上委員会：齋藤文代（宇治徳洲会病院）、山本薫里（武田病院グループ）
- ・介護保険委員会：長谷川寿子、門 真由美（京都回生病院）
- ・感染症対策委員会：永野裕子（吉川病院）、谷口文代
- ・医療安全対策委員会：坂田 薫（京都民医連中央病院）
- ・救急医療検討委員会：大山清美（～令和2.3）、南 京子
- ・診療報酬委員会：福島朋樹
- ・京都府医療勤務環境改善支援センター：高橋鈴子、寺才元泰代（愛生会山科病院）
- ・京都病院学会実行委員会：南 京子（～令和1.7）、植村ひかる（田辺中央病院）、
辻本かよ子（十条武田リハビリテーション病院 令和2.2～）

D 薬剤師部会

薬剤師部会では、近年、高度・複雑化した医療に対応する為に日常業務の向上を図るとともに、病院経営に積極的に参加し、貢献することができる薬剤師の育成を目指し、各種研修会等を企画・運営している。

令和元年度は100回目となる講演会を101回目と合わせて記念講演とし、薬剤師だけではなく多職種に向けた内容で開催した。いずれも様々な職種からの参加があり、地域医療構想をはじめ、これからの薬剤師の役割を確認する内容で充実した記念講演となった。

また、平成27年度9月より始まった薬剤師復職支援プロジェクトである「きょうと薬剤師サポートネット」と連携し、委員・講師の派遣やプロジェクト充実のため、全面的な協力を行った。

1 運営委員会

委員長：友沢明德（京都九条病院）

副委員長：橋元 誠（三菱京都病院）

委員：浅野育子（京都民医連あすかい病院）、大津山裕美子（洛和会音羽病院）、
佐藤和生（日本バプテスト病院）、沼田多重（西山病院）、益野秀樹（京都久野病院）、
馬瀬久宜（医仁会武田総合病院）、守谷まさ子（綾部ルネス病院）、
中山太一（蘇生会総合病院）、中井登代美（がくさい病院）

担当理事：畑 典男

開催日 4/16 6/26 8/28 10/24 12/19 3/6 (中止) 計5回

2 主な活動

a 講演会

第100回 7月10日 於：メルパルク京都 参加者/74名

テーマ/「地域医療構想等の実現に備えて今しておかなくてはならないこと

－ AIの進展を見据えて各職種に求められること－」

講師/土屋文人 (国際医療福祉大学薬学部特任教授)

第101回 10月11日 於：メルパルク京都 参加者/58名

テーマ/「地域包括ケアシステムにおける中小病院の役割」

講師/荒木隆一 (市立敦賀病院医療支援部医療支援部長)

b 施設見学

2月26日 株式会社ユヤマ (中止)

c その他

医師事務作業補助者研修会への講師派遣

E 放射線技師部会

当部会は技術革新の目覚ましい画像診断部門にあって、会員施設の診療放射線技師がその役割と責任を果たせるよう研鑽に励み、さらには相互に親睦・交流を深めることを目的に活動を展開してきた。令和元年度は「<新人研修会> MRの基礎について」や「下垂位を基本とした肩撮影法について」をテーマに講演会を開催し、技術や知識の更なる向上を図った。

1 運営委員会

委員長：渡里 弘 (京都九条病院)

副委員長：嶋 耕二 (宇治徳洲会病院)、小池義雄 (蘇生会総合病院)

委員：井上幹也 (三菱京都病院 ~令和1.5)、

岩崎和幸 (十条武田リハビリテーション病院 ~令和1.5)、永田哲朗 (新河端病院)、

茶谷和真 (田辺中央病院)、菊元力也 (洛和会音羽病院)、太田和志 (冨田病院)、

内田昌宏 (三菱京都病院 令和1.6~)、川越 聡 (武田病院 令和1.6~)

担当役員：菅 知行

開催日 5/9 7/11 9/12 11/14 3/6 (中止) 計4回

2 主な活動

a 講演会

第82回 7月11日 於：私病協会議室 参加者/60名

テーマ/「京都府地域ケア構想について」

説明/京都私立病院協会事務局

テーマ/「<新人研修会> MRの基礎について」

講師/栃本 剛 (株式会社フィリップス・ジャパン MRアプリケーションスペシャリスト)

第83回 10月17日 於：メルパルク京都 参加者／51名

テーマ／「京都府地域ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「下垂位を基本とした肩撮影法について」

講師／安藤英次(大阪滋慶学園大阪ハイテクノロジー専門学院診療放射線技師学科専任教員)

第84回 3月6日 於：島津製作所本社・三条工場

テーマ／「京都府地域ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「放射線診療機器線量の記録の義務化について」

講師／中島義耀 (GE ヘルスケア・ジャパン株式会社サービス本部 Digital & Solution 部)

*新型コロナウイルスの影響により中止

F 臨床検査部会

当部会では、臨床検査技師が病院の質の向上に積極的に関与することを目指し、研修会の開催や情報の発信を通じて、現場の臨床検査技師に求められる知識や技術の普及に努めている。

令和元年度は、6月に医療統計講習会(Excel初級編)、12月に医療統計講習会(PowerPoint初級編)と題し、医療現場におけるパソコンソフトの活用方法に関する講習会を開催した。また、2月には睡眠と認知症に関する講演会を開催した。1月には新築移転された京都民医連中央病院を見学した。

その他、医療関連の情報収集に取り組み、委員会での検討・報告議事については「臨床検査部会FAX通信」に取りまとめ、会員施設の臨床検査部門責任者に対して情報提供している。

1 運営委員会

委員長：山口俊朗 (京都民医連中央病院)

副委員長：西村和司 (武田病院)、江口光徳 (宇治徳洲会病院)

委員：小泉善厚 (堀川病院 ～平成31.4)、深澤武志 (相馬病院)、
小澤 優 (京都保健衛生専門学校)、山田宣幸 (三菱京都病院)、
増田哲也 (愛生会山科病院)、下田浩史 (堀川病院 令和1.5～)

担当役員：清水 聡 (～令和1.5)、武田敏也 (令和1.6～)

開催日 5/23 7/25 9/26 11/28 1/23 3/26 (中止) 計5回

2 主な活動

a 講習会

6月20日 於：京都保健衛生専門学校 参加者／36名

テーマ／「地域医療構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／医療統計講習会 (Excel初級編)

講師／増田健太 (一般社団法人京都府臨床検査技師会システム研究班) ほか

12月19日 於：京都保健衛生専門学校 参加者／37名

テーマ／「地域医療構想について」

講師／京都私立病院協会事務局

テーマ／医療統計講習会（PowerPoint 初級編）

講師／増田健太（一般社団法人京都府臨床検査技師会システム研究班）ほか

b 講演会

第53回 2月20日 於：メルパルク京都 参加者／37名

テーマ／「地域医療構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「認知症予防に役立つポジティブ睡眠～今日始めれば、明日が変わる～」

講師／宮崎総一郎（中部大学生命健康科学研究所特任教授）

c 施設見学

1月23日 京都民医連中央病院

d その他の取り組み

臨床検査部会 FAX 通信（No.149～ No.153）の送付

G 栄養士部会

当部会は、入院中の食事療養が疾病治療の直接的手段の一部であることを認識し、栄養士・管理栄養士・調理師の質的向上と安全かつ良質な食事の提供、栄養管理業務のさらなる効率化と改善に向けた活動を展開している。

令和元年度も研修会の企画・開催に力を注いだ。9月の研修会では、認知症をテーマに栄養士が認知症患者と関わる上で知っておくべき知識について学んだ。1月の研修会では、施設間や職種間で嚥下調整食の名称や形状など食事形態の基準や認識を一致させることが難しい現状があることから、調理師、栄養士が嚥下食について共通の認識を得ることを目的として、嚥下調整食の説明および試食会を実施した。また、各会員施設で提供している嚥下食の食事形態の情報を一覧表として取りまとめた「京都私立病協会嚥下食一覧表」を7月に作成し、当協会のホームページに掲載するとともに、1月の研修会でも周知を行った。

毎年実施している施設見学では、今年度は、京都市下京区にある生鮮野菜の仲卸業者である株式会社松井商店へ訪問し、同社で製造されている冷凍野菜や加工食品、カット野菜が病院給食の食材として運搬されてくるまでにどのような工程を経るのかを見学した。さらには、タイムリーな話題に対して運営委員会にて相互の勉強会を行うなど、栄養部門を取り巻く状況を的確に把握し、会員に有用な情報提供ができるよう研鑽に努めている。

1 運営委員会

委員長：佐伯美和（伏見岡本病院 令和1.6～）

副委員長：佐々木由美（洛和会音羽病院 令和1.6～）

委員：赤尾 志（宇治徳洲会病院）、熊田久美（なぎ辻病院）、福島由理（宇治おうばく病院）、森田秀之（十条武田リハビリテーション病院）、

杉本篤子（京都民医連中央病院 令和1.6～）

担当役員：畑 典男

開催日 4/18 5/16 6/20 7/18 9/19 10/17 12/19 2/20 3/19（中止） 計8回

2 主な活動

a 研修会

第78回 9月19日 於：私病協会議室 参加者／48名

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「これからの時代の栄養士に求められる認知症に関する知識について」

講師／辰巳弥生（宇治おうばく病院看護師長・認知症看護認定看護師）

第79回 1月23日 於：あじわい館 参加者／40名

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「たべて！くらべて！嚥下食！～嚥下調整食を学ぼう～」（嚥下調整食試食会）

b 施設見学

11月21日 株式会社松井商店（京都市下京区）

c 京都私立病院協会嚥下食一覧表作成

d 相互学習

4月18日 年取と栄養について、微量元素について

5月16日 栄養科での教育プログラムについて

6月20日 精神科を有する病院における給食の対応等について

7月18日 妊娠高血圧症候群について

10月17日 アクシデント事例の紹介について

12月19日 主食及び汁物の提供時の温度に関する調査および対応・工夫について

2月20日 食事摂取基準2020について

H リハビリテーション部会

当部会では、会員施設に勤務する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の医療スタッフとしての質の向上を図ることを目的とし、リハビリテーション部門における診療報酬関係や日常業務に関する情報について活発に情報交換を行い、迅速に収集・分析し、会員に提供している。

令和元年度はリハビリテーション専門職の更なる資質向上につながる講演会や施設見学の開催、府民リハビリテーション啓発支援事業（詳細別記）の企画・運営への協力も行い、積極的に活動している。

1 運営委員会

委員長：西村ひろみ（洛和会音羽リハビリテーション病院 ～令和1.12）

田村 篤（洛西シミズ病院 令和2.1～）

副委員長：織田泰匡（田辺中央病院）、田後裕之（京都岡本記念病院）

委員：秋本喜英（医仁会武田総合病院）、荒木美奈子（京都民医連中央病院）、
大嶋孝司（京都リハビリテーション病院）、大塚 晃（武田病院グループ ～令和1.5）、
大藪誠士（洛和会音羽記念病院 令和2.1～）、尾谷雅章（京都きづ川病院）、
田村 篤（洛西シミズ病院 ～令和1.12）、橋本幸典（京都大原記念病院）、
山本佐知子（京都南病院）

担当役員：岡田 純

開催日 4/5 6/7 7/5 9/6 10/4 11/1 12/6 1/10 2/7 3/6（中止）
計9回

2 主な活動

a 講演会

第19回 10月12日 於：TKP 四条駅前カンファレンスセンター

テーマ／「地域医療構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「リハビリテーション栄養とサルコペニアの最新の動向」

講師／若林秀隆（横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科准教授）

*台風の影響により中止

第20回 2月1日 於：TKP 四条駅前カンファレンスセンター 参加者／49名

テーマ／「地域医療構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／「宇宙医学とリハビリテーション～宇宙での身体の変化とその対応を考える～」

講師／山田 深（杏林大学医学部リハビリテーション医学教室准教授）

b 施設見学

9月6日 京都近衛リハビリテーション病院

c その他の取り組み

・府民リハビリテーション啓発支援事業への協力

I 臨床工学技士部会

当部会では、会員施設に勤務する臨床工学技士の知識・技術の向上を図るとともに、臨床工学技士のいる、いないに関わらず、全ての会員施設における適正かつ安全な医療機器の使用・管理に資するべく、講演や研修等の企画・運営を行っている。

令和元年度は11月に、医療安全対策に関し、様々な種別の病院において臨床工学技士が中心となっ
て行う取り組み（他職種に対する教育研修、医療機器の保守点検、災害対策等）に関する事例の紹
介やディスカッションを通じて、会員施設の医療安全対策の更なる強化を図るための内容で講演会
を開催した。また、2月には11月に移転リニューアルした京都民医連中央病院の施設見学を行った。

1 運営委員会

委員長：井上 武（医仁会武田総合病院）

副委員長：太田雅文（宇治徳洲会病院）

委員：泉田洋志（京都保健衛生専門学校）、藤井 耕（京都民医連あすかい病院）、
澤田正二（西陣病院）、垣谷圭祐（洛和会音羽記念病院）

担当役員：武田敏也

開催日 5/21 6/18 8/22 12/26 2/27 計5回

2 主な活動

a 講演会

11月30日 於：登録会館 参加者／40名

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

テーマ／臨床工学技士からの提案～医療安全を一緒に考えませんか～

講師／①長谷川湧士（医仁会武田総合病院臨床工学科）

②石塚雄介（宇治徳洲会病院臨床工学救急管理室）

③古谷仁志（京都民医連あすかい病院臨床工学部）

④吉川元将（西陣病院臨床工学科）

⑤馬場宏貴（洛和会音羽記念病院 CE 部）

b 施設見学

2月27日 京都民医連中央病院

J 部会連携会議

当協会の会員施設は様々な専門職で成り立っており、当協会の取組は病院に従事する職員全てに通じる。職種のみを取組にとどまらず全ての職種が連携して協会の目的を達成するべく、平成30年度より職能別部会が一堂に会する部会連携会議を設置し、意見交換や課題の共有等を行い、各部会が協力し合って協会の各種事業を推進する体制づくりに努めた。

1 連携会議

7月17日 於：私病協会議室 参加者／39名

テーマ／「各部会の取組状況・今年度の計画について」

「今後の連携等について」

「創立55周年記念事業について」

2 主な活動

・当協会の研修等の情報共有・周知

K 全体会議

医療・介護に関する国の政策や動向等を会員に説明するとともに、協会の取り組みを報告し、更

には会員相互の情報交換と各地域における諸問題を検討する目的で年1回開催している。

全体会議には理事長・院長・事務長・看護部長などの管理職が出席し、協会執行部から医療・介護情勢及び令和元年度上半期の事業を説明するとともに、現状の諸問題について確認した。また、全体会議に続き、厚生労働省の伊原和人政策統括官を講師に招いて特別講演会を開催し、人口減少社会における医療・介護の諸課題に対する国の政策や方向性について、厚生労働省幹部から直接共有できる機会となった。

全体会議（京都市域・南部地域・北部地域合同開催）

10月19日 於：TKP 京都四条駅前カンファレンスセンター 参加／33施設69名

a 全体会議

1) 令和元年度上半期京都私立病院協会の事業活動について

2) 医療を取り巻く諸問題について

b 特別講演会（これからの社会保障を考えるセミナー・Part 2）

テーマ／「2040年を見据えた社会保障の課題と展望～全世代型社会保障の今後～」

講師／伊原和人（厚生労働省政策統括官（総合政策担当））

L 創立55周年記念式典

令和元年度は協会創立55周年の節目を迎え、盛大に記念式典と祝賀会を開催し、協会設立以降55年間の協会の活動を振り返りながら、会員病院の発展と京都府民の安心・安全に努めることを誓った。当日は、関係各方面からの御来賓、被表彰者、一般参加者など、総勢375名が参加した。記念式典では、会員各病院から推薦された永年勤続・優良職員の表彰を行った。そして、平成30年度の第28期保健医療管理者養成講座の修了生に対して保健医療管理士の認定証を授与した。式典の最後には、当協会の創立55周年記念事業の中間報告を行った後、同事業の一環として取り組んだ中学生向け映画（「ありがとうの重さ」～チームで守るいのちと健康～）の短編を上映した。

記念式典後の祝賀会においては、小谷直子氏（ピアノ・ソプラノ）と水野ゆりか氏（フルート）による演奏を行った。最後には、京都府病院協同組合の提供による「お楽しみ抽選会」が行われた。

11月15日 於：京都ホテルオークラ 参加者総数／375名

永年勤続・優良職員表彰／271名

第28期保健医療管理者養成講座 保健医療管理士認定／23名

御来賓／山内修一京都府副知事、門川大作京都市長、伊吹文明衆議院議員、

二之湯真士京都府議会副議長、青野仁志京都市会副議長、西田昌司参議院議員、

竹内讓衆議院議員、田中英之衆議院議員、繁本護衆議院議員、前原誠司衆議院議員、

福山哲郎参議院議員、山本和嘉子衆議院議員 ほか

M 新春会員懇親会

会員相互の親睦を深めることを目的に、年頭の恒例行事として定着している新春会員懇親会を令和2年1月に開催した。

例年と同じく2部構成とし、第1部公演会は「春を呼ぶクラシックの調べ」と題し、京都市立芸術大学の在学学生による歌と弦楽四重奏で新春に相応しい華やかなステージとなった。第2部の懇親会では、西脇隆俊京都府知事、門川大作京都市長をはじめ関係各方面から多数の来賓を迎え、祝辞を頂戴した。また、名刺交換等を行いながらの終始和やかな雰囲気の中で会員同士、御来賓の方々との親睦が深められた。

1月18日 於：京都ブライトンホテル 参加者／会員131名 来賓33名

公演会／「春を呼ぶクラシックの調べ」

演者／松尾 咲（ソプラノ）、山森温菜（ヴァイオリン）、米井遥香（ヴァイオリン）、
木田奏帆（ヴィオラ）、小森 奏（チェロ）

御来賓／西脇隆俊京都府知事、門川大作京都市長、田中英夫京都府議会議員、
山本恵一京都市会議長ほか

Ⅲ 情報活動

A 協会ホームページ

協会の活動や会員の情報を広く発信するとともに、会員に重要な医療・介護に関する情報をタイムリーに提供するため、Web上でホームページを運営している。

ホームページは、協会の事業紹介、行政からの医療・介護関連通知、診療報酬・介護報酬改定情報、各種研修・催しの案内・申込、会員施設の紹介、京都府医療勤務環境改善支援センター、無料職業紹介メディワークセンター、薬剤師・看護職の復職支援サイトなど、多岐にわたる内容で構成している。

近年では、平成28年度より、入退院時の調整や医療・介護の相互連携に資するため、京都府内病院の地域連携室等の窓口情報を掲載し、毎年1回更新している。また、京都府医療勤務環境改善支援センターが推進している「京都いきいき働く医療機関認定制度」のページを開設して宣言病院・認定病院を紹介し、勤務環境改善に取り組む病院が広く認知され、医療従事者の確保・定着に繋がるよう努めている。更にはSNS（Facebook）を用いて協会の取組を紹介する等、当協会の更なる認知度の向上を図っている。

令和元年度も会員に必要な情報を迅速にホームページ上に掲載するとともに、特に新型コロナウイルス関連では情報や国の通知が日々刻々と変化中、会員がタイムリーに最新の情報が得られるよう当協会ホームページ上で国の医療機関向け専用サイトへのリンクや京都府・京都市からの通知の掲載、発熱や呼吸器症状のある患者を帰国者・接触者相談センターに繋げるよう独自に作成した院内掲示のひな型の提供等も行った。

京都私立病院協会ホームページ <https://www.khosp.or.jp/>

B ファックス通信

協会では、ファクシミリ用の専用回線を有しており、全会員に同報送信できるファックス通信網

を敷いている。緊急の案件、行政からの通知文書、各種調査などをファックス通信で迅速に発信するとともに、会員と連絡を取り合うツールとしても活用してきたが、会員への発信や情報提供をより迅速に行うとともに利便性を高めるため、近年は協会ホームページも併用しており、今後はE-mailの活用を本格化させていく方向である。

IV 病院職員の確保対策への取り組み

A 看護師等養成事業

1 看護師養成

京都保健衛生専門学校では、看護学科3年課程1クラス40名定員の養成並びに京都中央看護保健大学校では、統合カリキュラムによる看護学科と看護保健学科の2学科4年課程各40名定員の養成を行い、それぞれ時代のニーズにあわせた教育を実践し、将来を見据えた学校運営を行った。

高学歴を求める社会環境において、京都に9校の看護学部を設置する大学があり、さらには専門職大学の設置、18歳人口の減少により、学生募集を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いている。

高等教育において重要な役割を担う両専門学校には、今後も看護教育のあり方を見据えた中・長期的な視野に立ちながらの学校運営を行う必要があるとともに、就職内定率の高い専門学校の魅力を活かし、より専門性の高い、実践力のある人材の育成が求められる。

2 臨床検査技師・臨床工学技士養成

京都保健衛生専門学校における臨床検査技師の養成は、昼間・夜間を併せて80名定員で養成を行った。第一臨床検査学科では、臨床検査にかかわる自動機器やAI技術が進歩する中、現場で必要とされる生理機能検査技術学と検査データを解釈する検査診断学の指導に力を注ぎ、臨床工学技士専攻科や大学編入学を目指す学生の育成にも励んだ。第二臨床検査学科では、生理機能検査技術学のみならず診療情報管理士資格取得に向けても取り組んだ。

平成30年度に臨床検査技師を養成する大学が京都市内に1校開設されたことから、少子化と合わせて、学生募集の環境は非常に厳しく、入学生の確保は大変困難となり、学校運営は厳しい状況になっているが、募集要項の変更や指定校の追加など工夫をしながら募集に取り組んだ。

臨床工学技士専攻科は定員24名と少数でなおかつ1年間という短い期間であることから、医用電気機器の保守点検、安全管理についての基礎知識、生命維持管理装置の操作、保守管理の仕方などの習得に重点をおいている。専攻科という特性から入学生の確保は毎年厳しい状況となっているが、指定校（崇城大学）との連携体制の充実や他の大学・専門学校などを積極的に訪問するなど学生確保に向けての取り組みの強化をはかった。

両学科とも臨床検査技師及び臨床工学技士・診療情報管理士・第2種ME技術者などの資格が取得できるなどの特徴を生かし、より専門的な知識や技術を習得し、臨床の現場で活躍できる医療人の育成に力を注いだ。

B メディワークセンター事業

会員施設を中心に京都府内の医療機関における人材確保に寄与することを目的に、医療従事者無料職業紹介所として厚生労働大臣の許可を受け、「無料職業紹介メディワークセンター」を運営し、求人者と求職者を繋ぐ役割を担っている。

メディワークセンターは有料の人材紹介会社とは異なり、求人者・求職者ともに紹介手数料等は一切不要であることから、会員施設からの期待は大きい。

令和元年度においても、通常の求職登録に加え、当協会が京都府から受託実施している看護人材早期復職支援事業、京都府医療介護総合確保基金事業として実施している医療従事者確保強化事業（各々詳細別記）と連携し、再就業を希望する登録看護職・薬剤師および一般市民向けに開催している看護補助者説明会の参加者をメディワークセンターに引き継ぐ等の取組を行っており、求職登録の増加に努めている。

また、平成28年度より開催している「メディワークセンター登録会」を令和元年度も開催した。リビング京都に告知を掲載するとともに、会員施設に求人登録を呼びかけ開催した結果、様々な職種から計18名の登録があり、会員施設への見学や面接など、就職に向けてのアプローチを行っている。

今後も登録者にとって求人情報の充実が実感できるよう、会員施設による求人登録をはじめ求人登録増に繋がる活動も積極的に働きかけていくこととしている。

事業者団体、職能団体、行政が連携して、介護・福祉の人材確保・定着等に関する取り組みを行っている「きょうと介護・福祉ジョブネット」には、当協会から幹事会に役員を派遣するとともに、平成24年度から「看護職確保プロジェクトチーム」（詳細別記）の事務局を京都府より受託し、介護・福祉における看護人材確保・定着事業も企画・実施している。

1 メディワークセンター事業運営委員会

a 運営委員

畑 典男、市場真澄、仲田昌司（以上、担当役員）、宝輪克博、山口浩二（以上、事務長会）、海老成子（～令和1.12）、桐畑宏子、井上早苗（令和2.2～）（以上、看護部長会）、津崎桂子（事務局長）、竹内 誠（紹介責任者）

b 運営協力委員

馬瀬久宜（薬剤師部会）、太田和志（令和1.8～）（放射線技師部会）、下田浩史（令和1.8～）（臨床検査部会）、西村ひろみ（～令和1.12）、田村 篤（令和2.1～）（以上、リハビリテーション部会）、森田秀之（令和1.8～）（栄養士部会）、太田雅文（令和1.8～）（臨床工学技士部会）

2 主な活動

a メディワークセンターの周知活動

- ・メディワークセンターホームページの運営
- ・第54回京都病院学会抄録集への広告掲載
- ・リーフレット・ノベルティ等を使用しての普及促進

b きょうと介護・福祉ジョブネットへの参画
・幹事会・看護職確保プロジェクトチーム：茨木孝二

c メディワークセンター登録会の開催

2月12日 於：京都私立病院協会会議室 求職登録 /19名

d 京都私立病院報・FAX 通信での求職者情報の提供

3 求人・求職・紹介状況（令和2年3月31日現在）

有効求人登録数349件、有効求職登録者数21名、紹介件数13件、就職者数6名（令和元年度実績）

V 環境問題・禁煙推進等の取り組み

当協会の創立40周年記念事業（2004年度）の一つとして、禁煙キャンペーンを開始して以来、積極的な禁煙活動を展開しており、研修会やアンケート調査を実施しているほか、当協会ホームページ内において禁煙推進活動の周知・啓発を行うなど、会員施設における禁煙推進の取り組みを支援するための活動を行っている。また、当協会も加盟している京都禁煙推進研究会の各種事業への後援も継続しており、禁煙推進等に関する最新の情報を取得し、会員への情報提供に努めている。

また、環境問題への取り組みについては、創立45周年記念事業（2009年度）として実施した環境宣言や環境キャンペーンの経験が活かされ、日常的に省エネ活動に取り組む等会員施設の職員一人一人に浸透している。

VI 病院団体との交流

A 近畿病院団体連合会

近畿2府4県の病院団体（10団体）で構成する近畿病院団体連合会は、委員会が1年ごと、事務長会が2年ごとに各団体の持ち回りで開催されている。

令和元年度の委員会は兵庫が主催地となり、兵庫県病院協会が主務を担当し、地域医療構想等、病院が抱える喫緊の課題を協議し合った。当協会からは会長・副会長が出席し、京都府における地域医療構想の現状と課題の報告や意見を述べた。事務長会は大阪府私立病院協会が主務を担当した。

1 委員会 担当／兵庫県病院協会

a 第1回委員会 7月31日 於：ホテルオークラ神戸 参加者／68名

1) 令和元年度役員の選任

委員長／守殿貞夫（兵庫県病院協会会長）

副委員長／上野雄二（和歌山県病院協会会長）、大村武久（兵庫県病院協会副会長）

2) 議題（協議事項、報告・情報提供含む）

・地域医療構想の現状と課題～病床機能報告の定量的評価基準の導入と転換する病床数等の具体的な対応方針

・「h-Anshin むこねっと」二次救急システム導入後の阪神圏域

3) 特別講演

演題／「地域医療構想策定の進捗状況に関する見解や課題、今後の見通し」

講師／鈴木健彦（厚生労働省医政局地域医療計画課課長）

b 第2回委員会 2月28日 於：ホテルオークラ神戸

1) 議題（協議事項、報告・情報提供含む）

・「地域医療構想の現時点での課題～透明性を高める情報開示・共有～」について

2) 特別講演

演題／「人生100年時代の医療・介護～高齢化の進展と疾患の性質変化を踏まえて～」

講師／江崎禎英（経済産業省政策統括調整官）

*新型コロナウイルスの影響により中止

2 事務長会 担当／京都私立病院協会

a 第1回事務長会 10月11日 於：愛仁会リハビリテーション病院

b 第2回事務長会 3月6日 於：大阪新阪急ホテル

*新型コロナウイルスの影響により中止

（詳細は事務長会の頁を参照）

3 事務局長会議

12月2日 於：翠嵐ラグジュアリーコレクションホテル

テーマ／「事務局内での働き方改革への対応について」

「介護医療院へ転換された会員の取扱いについて」

「看護専門学校の運営ならびに今後の存続について」

「各協会の府県からの受託事業、補助事業の実施状況について」

B 中央における病院団体

中央組織の主な病院団体は、日本病院会・全日本病院協会・日本医療法人協会・日本精神科病院協会があり、当協会から役員を派遣し、情報収集や意見具申を積極的に行っている。また、この四つの中央病院団体で「四病院団体協議会」（四病協）を構成し、さらに四病協の構成団体を含む12団体による「日本病院団体協議会」（日病協）も各種事業、要望活動を行っており、病院団体として統一した活動が展開されている。

中央の病院団体のうち、全日本病院協会及び日本医療法人協会の京都府支部の事務局は、当協会事務局が担っており、両協会が主催する研修会や通知等を情報提供している。

1 日本病院会

役員派遣／常任理事：武田隆久 代議員：清水鴻一郎、久野成人

2 全日本病院協会

役員派遣／理事：清水鴻一郎

京都府支部長：清水鴻一郎 副支部長：小森直之、石丸庸介

令和元年度総会 3月4日 *新型コロナウイルスの影響により中止

京都府支部事務局は京都私立病院協会内に設置

3 日本医療法人協会

役員派遣／副会長（ブロック推薦理事）：小森直之 理事：富士原正人

京都府支部長：武田隆久

令和元年度総会 3月4日 *新型コロナウイルスの影響により中止

京都府支部事務局は京都私立病院協会内に設置

Ⅶ 京都府内における医療関係団体との連携

A 京都府医師会

京都府医師会とは、地域医療、保険診療をはじめ医療に関わる様々な分野において活発に情報交換、意見交換をしながら相互理解を図り、府民への医療の質向上、医療・介護制度への意見・提言など協働して活動を行っている。

令和元年度も両会の役員が一堂に会して懇談会を開催して意見交換を行った。医療需要の多様化・複雑化に伴い、在宅医療では対応が難しい疾病等の増加が予想されることから、病診相互の連携強化を図り対応していくことで一致した。

その他、京都府医師会が事務局を担う京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会への参画、京都府医師会主体で府内の医療団体や患者団体で組織している京都府医療推進協議会、各種委員会への委員派遣にも協力している。

控除対象外消費税問題、新専門医制度への対応なども、医師会と意見交換しながら取り組んでいくこととしている。

1 両会役員懇親会 12月12日 於：京都ホテルオークラ 参加者／31名

テーマ／「地域が求める病院機能について」

発表者／北川 靖（京都府医師会副会長）

富士原正人（当協会副会長）

2 京都マラソン2020への医療救護体制に係る医師派遣

2月16日 救護所医師12名、追尾救護車医師2名を派遣

3 京都府医療推進協議会への協力

4 各種委員会等への委員の派遣

- ・救急・災害委員会：富士原正人、武田隆久、菅 知行（～令和1.6）、清水史記（令和1.7～）
- ・京都府交通事故医療連絡協議会：武田隆久
- ・学術・生涯教育委員会：近藤泰正
- ・京都府医療事故調査等支援団体連絡会議：清水鴻一郎
- ・京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会解剖・Ai支援検討小委員会：富士原正人
- ・京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会院内事故調査支援小委員会：武田隆久
- ・京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会相談体制小委員会：久野成人

- ・京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会研修小委員会：富田哲也
- ・医療安全対策委員会：武田隆久
- ・医療事故対策処理室（外科領域）：富士原正人
- ・医療事故対策処理室（整形外科領域）：勝見泰和（十条武田リハビリテーション病院）
- ・臨床研修のあり方に関する検討委員会：清水 聡
- ・京都府臨床研修指定病院協議会：清水 聡
- ・感染症対策委員会：清水 聡
（新型コロナウイルスに関連し、地区感染症対策担当理事連絡協議会にも出席）
- ・地域ケア委員会：久野成人
- ・京都府リハビリテーション連絡推進会議・地域連携パス運営会議：岡田 純
- ・京都府医療推進協議会代表者会議委員・実行委員：武田隆久

5 その他催しへの共催・後援・派遣

a 令和元年度「総合診療力向上講座」への後援

7月21日 8月31日 9月21日 10月19日 於：京都府医師会館

b 令和元年度「京都在宅医療塾Ⅰ～探究編～」への後援

7月28日 11月24日 2月16日 於：京都府医師会館

c 「第46回くらしと健康展」への後援

10月27日 於：京都府医師会館

d 第18回京都救急医療研究会の共催

2月25日 於：京都府医師会館 *新型コロナウイルスの影響により中止

B 京都府病院協会

京都府病院協会とは毎年共催で京都病院学会を開催している。第54回目を迎えた令和元年度の本学会も両協会の担当役員による理事会を開催するとともに、両協会の会員施設から実行委員、準備委員の派遣協力を得て運営体制を構築した。第54回は「地域包括ケアの充実に向けた医療連携」をメインテーマとして、507題の演題発表があり、参加者は2,404名であった（詳細別記）。京都市域二次病院群輪番体制では、京都府病院協会は土・日・祝の小児輪番を担当し、その他の小児・一般輪番を当協会が担当している。輪番協力病院の確保が厳しい状況の中、両協会の病院がともに連携して休日・夜間等における救急医療体制の確保に努めている。

両協会では合同での会議も開催しており、近畿の病院団体が年2回一堂に会する近畿病院団体連合会、働き方改革、地域医療構想への対応等の共通課題に対し、協力して取り組んでいる。令和元年度はこれに加え、京都府・京都市の産業支援機関による医工連携に関する講演会の開催や、新型コロナウイルスの医療体制について京都府・京都市と意見交換を行った。

1 両会合同会議

6月19日 於：InStyle Wedding KYOTO 参加者／31名

テーマ／①「令和元年度近畿病院団体連合会第1回委員会への対応について」

②「第54回京都病院学会の開催結果及び第55回開催に向けて」

③「働き方改革について」

④「京都府国民健康保険運営協議会について」

講演会／「医工連携の実際～病院経営における意義～」

講師 前島洋平（兵庫県立大学特任教授、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科客員教授、一般社団法人日本医工ものづくりcommons評議員、株式会社カワニシホールディングス代表取締役社長（医学博士））

取組説明／「京都における医工連携の取組について」

説明（公財）京都高度技術研究所・（公財）京都産業21

2月4日 於：ホテル日航プリンセス京都 参加者／31名

テーマ／①「令和元年度近畿病院団体連合会第2回委員会への対応について」

②「第55回京都病院学会の開催について」

③「京都府医療勤務環境改善支援センターによる病院訪問について」

④「新型コロナウイルス感染症への対応について」

2 第54回京都病院学会の共催

学術研修部の第54回京都病院学会の頁に詳記

3 令和元年度近畿病院団体連合会委員会の共同対応

7月31日 於：ホテルオークラ神戸

総務部の近畿病院団体連合会の頁に詳記

C 京都精神病院協会

精神科医療を専門とする京都府内の病院団体として、京都精神病院協会から当協会役員を迎え、精神科を取り巻く諸問題に対し、専門家の立場として様々な意見を求めている。特に精神疾患と急性期の身体疾患を併せ持つ患者に対する診療や入院受入の課題を共通認識として、京都府及び京都市に対し、診療や入院受入が可能なシステムや医療提供体制の構築、入院病床の確保を要望している。

当協会が平成25年度から実施している「病院認知症対応力向上事業」等の各種事業においては、京都精神病院協会加盟の府内精神科病院から、認知症サポート医・認知症看護認定看護師・作業療法士・臨床心理士をはじめとする講師派遣の協力を得ている。

D 京都府慢性期医療協会

京都府慢性期医療協会とは、平成10年11月に京都介護療養型医療施設連絡協議会として設立された当初から、現在の協会名称に変更後も京都私立病院協会内に事務局を置き、互いに情報を共有しながら活動をおこなっている。慢性期医療や地域包括ケアシステムの課題、診療報酬の施設基準（認知症ケア加算2・排尿自立指導料）の該当研修の実施、介護保険制度・介護サービス第三者評価の推進、医療と介護の連携等、共通の課題に協力して取り組んでいる。

E その他

1 医療・介護関連団体等への役員・委員派遣

- ・公益社団法人京都府介護支援専門員会特任理事：久野成人
- ・京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構理事会：久野成人（理事、認定・公表委員会委員）
- ・京都府ナースセンター事業運営委員会：石丸庸介
- ・京都府国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理委員会：久野成人
- ・京都府国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会医療部会：清水 聡
- ・きょうと介護・福祉ジョブネット幹事会：茨木孝二
- ・社会を明るくする運動京都府推進委員会：富田哲也
- ・タバコフリー京都 タバコ対策部会・医療・介護連携部会：富士原正人
- ・京都府歯科医師会地域保健推進プロジェクトチーム会議：武田隆久
- ・京都栄養医療専門学校教育課程編成委員：茨木孝二
- ・近畿地域の医療機関における電波利用推進協議会：茨木孝二
- ・第79回日本公衆衛生学会総会2020実行委員会：清水鴻一郎
- ・厚生労働省主催 オンライン資格確認システム説明会：茨木孝二、市場真澄、仲田昌司

2 関係団体催しへの共催・後援・協賛

a 平成31年度「看護の日」事業への後援

4月29日 5月3日 5月4日 5月11日 5月12日 於：ゼスト御池他

b 2019年度看護職確保定着推進事業「看護職就職・就学合同フェア2019」への後援

4月27日 於：京都市勧業館みやこめっせ

c 2019年世界禁煙デー in 京都への後援

5月31日～6月7日 於：京都女子大学

d 京都府救急救命士会第29回総会及び研修会への後援

7月14日 於：京都府医師会館

e 野村ヘルスケア・サポート&アドバイザリー株式会社主催 医療経営特別セミナーへの後援

9月19日 於：野村証券株式会社京都支店 支店ホール

f 「第9回 AIDS 文化フォーラム in 京都」への後援

10月5日～6日 於：龍谷大学深草キャンパス

g 公益社団法人京都府看護協会主催 令和元年度医療安全シンポジウムへの後援

10月5日 於：メルパルク京都

h 一般社団法人京都府臨床工学技士会・近畿臨床工学技士会連絡協議会主催 第26回近畿臨床工学会への後援

11月9日～10日 於：京都テルサ

i 京都市老人福祉施設協議会主催 介護の日記念事業「かいごみらいフェス」への後援

11月17日 於：イオンモール京都桂川

- j 一般社団法人京都府老人福祉施設協議会主催 2019京都府高齢者福祉研究大会への後援
11月26日 於：ホテルロイヤルヒル福知山&スパ
- k 一般社団法人医療安全全国共同行動主催 医療安全全国フォーラム2019への後援
12月1日 於：京都テルサ
- l 一般社団法人京都府介護老人保健施設協会主催 第26回京都府老人保健施設大会への後援
12月13日 於：京都テルサ
- m 日本医療マネジメント学会第17回京滋支部学術集会への後援
2月15日 於：インテックス大阪
- n 第6回医療と介護の総合展大阪（メディカルジャパン2020大阪）への後援
2月26日～28日 於：インテックス大阪
- o NPO 法人京都禁煙推進研究会（タバコフリー京都）第21回卒煙サポーター養成講座への後援
3月1日 於：池坊短期大学美心館
- p 臨床宗教者会主催「高齢社会に生きる」京都のつどいへの後援
3月14日 於：在日大韓基督教会京都教会
- q 京都介護サービス協同組合主催「外国人介護人材受入」勉強会への後援
3月16日 於：ハートピア京都

Ⅷ 行政への対応

民間病院が府民により充実した医療、安心・安全な医療を提供するためには、医師・看護師等の人材確保、経営基盤の安定が不可欠であり、毎年の京都府・京都市の予算編成時等、行政に対してあらゆる機会を捉えて要望を行っている。

当協会は多職種の医療・福祉専門職を擁する組織として、行政から各種事業を受託しており、京都府からは医療資源の少ない地域の高齢者に介護予防の啓発を行う「府民リハビリテーション啓発支援事業」、退職看護職の登録システムの普及と再就業を促進する「看護人材早期復職支援事業」、京都式オレンジプランの達成に向けて一般病院での認知症対応力向上や地域との連携強化を図る「病院認知症対応力向上事業」等を受託している。（詳細別記）

平成27年度からは、京都府地域医療介護総合確保基金事業として、京都府医療勤務環境改善支援センター事業をはじめとする医療従事者の勤務改善促進に係る事業、医療従事者の確保・定着・資質向上に係る事業、在宅医療・介護の人材育成・連携に係る事業を実施してきた。平成30年度は、病院の全ての医療従事者への地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）の周知を図り、病床の機能分化・連携を推進し、将来の医療提供体制の充実に寄与することを主眼に置き、目的達成のための各種取り組みを行った。また、京都府より「地域連携型在宅医療支援病院事業」を受託し、在宅医療に取り組む病院に対し、病診連携・病介連携、地域の専門職との連携に資する取組等への一部補助を実施している。

京都市からは、新規の要支援・要介護認定申請者への認定調査を行う市町村事務受託法人、離職看護師の再就業を支援する病院が実施した研修の経費を補助する「離職看護師能力再開事業」、京都

市内の一般病院における認知症対応力向上を図ることを目的とした「京都市病院認知症対応力向上事業」を受託実施している。(詳細別記)

令和元年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う医療体制やマスク等の供給について、民間病院の立場から京都府・京都市に意見、要望を行った。(資料1・資料2・資料3)

その他、国の医療・介護制度や府内の医療・介護行政をはじめとして、様々な情報を会員に提供するとともに、府内を代表する病院団体として京都府や京都市の審議会等の場で意見を述べ、また担当部署との個別の協議も行っている。その他、行政からの医療機関に対する各種通知や調査等の協力依頼についてもその都度積極的に対応した。

A 京都府

1 要望活動

1) 令和2年度京都府予算への要望 11月7日 於：京都府庁
＜要望内容（持続可能な医療・介護提供体制の構築に向けて）＞

- (1) 地域医療構想（ビジョン）の実現にむけて
- (2) 地域医療・介護総合確保基金による事業の継続について
- (3) 医師・看護師をはじめとする医療従事者の不足解消にむけて
- (4) 地域医療再生について
- (5) 京都すこやか21の実現にむけて
- (6) 救急医療体制の充実にむけて
- (7) 院内感染対策の強化を推進するために
- (8) 大規模災害発生時の体制整備の強化について
- (9) 病院のエネルギー危機対策について

2) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うマスク等の供給に関する緊急要望（資料1）

3月6日 於：京都府庁

2 審議会等への委員の派遣

- ・京都府医療審議会・法人部会・計画部会：清水鴻一郎
- ・京都府医療審議会病床機能区分検討ワーキング：富士原正人、武田隆久、石丸庸介
- ・京都市域地域医療構想調整会議：清水鴻一郎、久野成人、武田隆久
- ・京都府医療対策協議会：清水鴻一郎
- ・京都府医療対策協議会（山城医療圏代表）：石丸庸介
- ・京都府医療対策協議会医師確保ワーキングチーム：久野成人
- ・京都府地域医療支援センター運営会議：清水 聡
- ・京都府看護師等確保対策推進協議会：石丸庸介
- ・京都地域包括ケア推進機構理事会：清水鴻一郎
- ・地域包括ケアシステム推進プラン検討委員会：久野成人
- ・在宅療養あんしん病院登録システム運営会議：久野成人、富士原正人

- ・認知症総合対策推進プロジェクト全体会（医療・ケア連携部会）：武田隆久
- ・新・京都式オレンジプラン推進ワーキング：清水 聡
- ・2025年を見据えた看取り対策協議会：久野成人
- ・看取り期の死亡診断・検案時における連携促進ワーキング：久野成人
- ・京都府高齢者サービス総合調整推進会議：久野成人
- ・多職種による在宅療養支援部会：久野成人
- ・京都府国民健康保険運営協議会：清水鴻一郎
- ・京都府死因究明等推進協議会：富士原正人
- ・京都府救急医療懇談会：武田隆久
- ・京都府高度救急業務推進協議会：武田隆久
- ・救急要請および在宅医療に対応した救急体制の構築に係る検討会：武田隆久
- ・京都府周産期医療協議会：石丸庸介
- ・京都府周産期母子医療センター全体会議：石丸庸介
- ・京都府南部精神科救急医療システム連絡調整会議：武田隆久
- ・京都府北部精神科救急医療システム連絡調整会議：武田隆久
- ・精神科救急医療連携強化会議：武田隆久
- ・京都府災害拠点病院等連絡協議会・京都 DMAT 連絡協議会：武田隆久
- ・京都府災害時要配慮者避難支援センター幹事会：武田隆久
- ・京滋ドクターヘリ運航調整委員会：武田隆久
- ・ドクターヘリ症例検討部会：武田隆久
- ・外国人患者受入体制モデル構築事業調整会議：清水 聡
- ・京都府地域リハビリテーション連携推進会議：岡田 純
- ・京都府リハビリテーション部会（地域リハビリテーション連携推進会議）：岡田 純
- ・京都府リハビリテーション教育センター運営委員会：岡田 純
- ・京都府北部地域リハビリテーション提供体制充実検討会議：富士原正人
- ・京都府がん対策推進協議会（がん登録部会）：富士原正人
- ・京都府がん対策推進府民会議情報提供充実対策部会：富士原正人
- ・京都府がん医療戦略推進会議：富士原正人
- ・京都府がん医療戦略推進会議・地域連携部会：富士原正人
- ・地域医療機関がん対応力向上システム検討会議：富士原正人
- ・京都府肝炎対策協議会：富士原正人
- ・京都府糖尿病重症化予防戦略会議：藤澤明生
- ・京都府新型インフルエンザ等対策専門家会議：清水 聡
- ・京都府ワクチン等確保検討会：清水 聡
- ・新型インフルエンザ対策協力医療機関連携会議：清水 聡
- ・エイズ治療拠点病院等連絡会議：清水 聡

- ・京都府蚊媒介性感染症対策連絡会議：清水 聡
- ・京都府中東呼吸器症候群（MERS）対策連絡会議：清水 聡
- ・京都府難病医療連絡協議会：富田哲也
- ・きょうと地域創生府民会議：富田哲也
- ・京都府省エネ・節電対策連絡調整会議、健康福祉部関係団体連絡調整会議：茨木孝二
- ・下水熱民間利用促進ネットワーク会議：市場真澄
- ・京都府少子化対策戦略会議：清水鴻一郎
- ・京都府慢性疾患児童等対策地域支援協議会：石丸庸介
- ・地域での子育て支援の仕組みづくりワーキンググループ：石丸庸介
- ・母子対策ワーキンググループ：石丸庸介
- ・京都府少子化対策府民会議：石丸庸介
- ・京都府要保護児童対策地域協議会：石丸庸介
- ・京都府要保護児童対策地域協議会情報共有体制検討ワーキンググループ：石丸庸介
- ・京都府在宅療養児支援体制検討委員会：石丸庸介
- ・京都府先天性代謝異常等検査検討委員会：石丸庸介
- ・京都府子育て支援医療助成制度あり方検討会議：武田隆久
- ・京都府病児・病後児保育事業検討会：石丸副会長
- ・京都府産後ケア事業の広域利用に係る検討会：石丸庸介
- ・京都歯と口の健康づくり推進協議会（京都8020運動推進協議会）：富田哲也
- ・京都府自殺対策推進協議会：武田隆久
- ・患者のための薬局ビジョン推進事業に係る意見交換会：武田隆久
- ・健康情報拠点薬局設置推進事業意見交換会：武田隆久
- ・後発医薬品安心使用に係る意見交換会：武田隆久
- ・あんしん安全服薬環境基盤整備事業に係る意見交換会：武田隆久
- ・地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業に係る意見交換会：武田隆久
- ・京都府地域医療介護総合確保基金事業（医療分）検討会議：清水鴻一郎
- ・配偶者等からの暴力に関するネットワーク京都会議（代表者会議）：石丸庸介
- ・きょうと婚活支援ネットワーク会議：石丸庸介
- ・京都府婚活マスター：津崎桂子
- ・京都府就業支援・人材確保計画推進会議：津崎桂子
- ・令和2年度京都地域包括ケア推進機構プロジェクト推進業務に係る意見聴取：津崎桂子
- ・ステキ女子のからだメンテプロジェクト応援団体会議：津崎桂子

3 催しへの共催・後援等

- a 平成31年度地域医療介護総合確保基金（医療分）にかかる都道府県ヒアリングへの随同行
4月17日 於：厚生労働省（清水鴻一郎・津崎桂子）

- b 令和元年度「愛の血液助け合い運動」への後援
7月1日～31日
 - c 京都府小児がん拠点病院公開シンポジウムへの後援
7月21日 於：メルパルク京都
 - d 京都府リハビリテーション教育センター実践セミナー・実地研修会への後援
9月21日～令和2年1月11日（実地研修は随時）
於：実践セミナー／京都府医師会館
実地研修／京都府立医科大学及び京都府リハビリテーション教育センター指定病院
 - e 令和元年度京都府リハビリテーション教育センター第13回座学研修会への後援
10月5日 於：京都府立医科大学図書館ホール
 - f 令和元年度「配偶者等からの暴力をなくす啓発期間」への協賛
11月12日～25日
 - g きょうと婚活応援フォーラム2019〔第Ⅱ部〕の主催
10月14日 於：ホテルセントノーム京都
 - h 京都府災害医療対応強化研修の共催
①9月25日 ②10月10日 ③11月13日 ④12月10日
於：①市民交流プラザふくちやま ②・③京都府医師会館 ④宇治市産業会館
 - i 京都府地域医療支援センター（KMCC）京都大学ブランチ主催 地域医療セミナー “（一枚のレントゲンから）画像診断の面白さ” の共催
2月21日 於：京都大学芝蘭会館稲盛ホール
 - j 第5回きょうと地域リハビリテーション・フォーラムへの後援
3月1日 於：京都府立医科大学附属図書館ホール
 - j 天皇陛下御即位記念 天皇盃 第31回全国車いす駅伝競走大会への協賛
3月8日 於：国立京都国際会館～西京極陸上競技場
 - k きょうと薬物再乱用防止ネットワークへの参画
 - l 子宮頸がん検診啓発を推進するプロジェクトへの応援
 - m 京都府精神科救急医療連携強化事業への協力
 - n きょうと企業婚活推進会議への参画、きょうと婚活応援センター団体会員向け交流会の主催
- 4 新型コロナウイルス関係会議
- a 新型コロナウイルス感染症に関する連絡会議
1月30日 於：京都府医師会館（清水 聡）
 - b 新型コロナウイルス感染症検査体制に関する打合せ
3月5日 於：京都府医師会館（武田隆久・岡田 純・清水 聡）
 - c 第1回京都府新型コロナウイルス感染症対策協議会
3月9日 於：京都ガーデンパレス（武田隆久）

d 第2回京都府新型コロナウイルス感染症対策協議会

3月26日 於：京都ガーデンパレス（清水鴻一郎・久野成人・清水 聡）

B 京都市

1 要望活動

1) 令和2年度京都市予算への要望 10/23 於：京都市役所

<要望内容（持続可能な医療・介護提供体制の構築に向けて）>

- (1) 医師不足・看護師不足への助成について
- (2) 救急医療体制の充実にむけて
- (3) 京都市民健康づくり推進プランの実現にむけて
- (4) 院内感染対策の強化を推進するために
- (5) 大規模災害発生時の体制整備の強化について
- (6) 病院のエネルギー危機対策について

2) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うマスク等の供給に関する緊急要望（資料2）

3月6日 於：京都市役所

3) 当協会認定調査員へのマスクの提供に関する緊急要望（資料3）

3月6日 於：京都市役所

2 審議会等への委員の派遣

- ・地方独立行政法人京都市立病院機構評価委員会：清水鴻一郎
- ・京都市安心救急ネット京都推進会議：清水鴻一郎
- ・京都市救急救命士に関する懇話会：武田隆久
- ・救急要請及び在宅医療に対応した救急体制の構築に係る検討会：武田隆久
- ・京都市・乙訓メディカルコントロール協議会：京都市／武田隆久、清水史記
乙訓／奥宮清人（新河端病院）
- ・緊急度判定プロトコル専門部会：富士原正人
- ・京都市急病診療所運営委員会：菅 知行
- ・京都市健康づくり協会：藤澤明生
- ・京都市新型インフルエンザ等対策有識者会議：清水 聡
- ・京都市 HIV 感染症対策専門委員会：清水 聡
- ・健康長寿のまち・京都 市民会議総会：富田哲也
- ・京都市介護認定審査会：稲岡秀陽（京都九条病院）、坂田芳明（愛生会山科病院）、
豊川 茂（金井病院）、野中崇大（京都桂病院）、
牧野荒太郎（愛寿会同仁病院）、
上山さゆみ（京都市リハビリテーション病院）、大島恭子（武田病院）、
岩田義信（武田病院）、永野裕子（吉川病院）、
小澤拓也（伏見桃山総合病院）

Ⅸ 関係団体との連携

当協会には、京都保健衛生専門学校、京都中央看護保健大学校の2つの学校と京都府病院協同組合、京都府病院企業年金基金を合わせて4つの関係団体がある。

それぞれの団体は、協会活動のなかから必然的に生まれた組織であり、各団体には協会の会員が参加しており、5つの団体が十分連携をとりながら業務を進めていくことが重要であることから、そのことを念頭に置いた組織運営がなされている。

各団体の役員には私病協の執行部より役員派遣を行い、各団体の事務局責任者が私病協の役員会へ出席することにより相互の業務の理解が深まるよう運営が行われている。

また5団体の職員の賃金及び労働条件については、人事評価制度を盛り込んだ独自の賃金体系を活用し、部分的には各団体の業態の違いからくる制約があるものの、基本的には共通体系で運用されている。

必要が生じれば、各団体の事務局責任者が集まり会議を開催し、各種規程について制度変更に伴う改定作業を行っている。今年度は施行予定の「同一労働同一賃金（パートタイム・有期雇用労働法）」に対応するべく、非常勤職員の給与規程、給与細則ならびに賞与規程について検討を行った。

また、5つの団体の全職員で組織している共済会「銀の会」、親睦団体「銅の会」は事業所からの補助と職員の拠出金で運営されている。各団体より職員を派遣し、2年任期で共済会の役員をつとめ運営している。

X 職員人事（令和2年4月1日現在）

A 京都私立病院協会

事務局長／津崎桂子

事務局員／竹内 誠（課長）、神田悦子、山口峻平、臂谷亮輔、松本結佳、吾郷晋一、田中大貴、
渋谷藍子

B 京都保健衛生専門学校

1 事務局

事務局長／佐藤真喜子

事務次長／磯田典子

事務主任／衣川美佳

事務局員／井越みちよ、上坂幹子、山内奈津子、石川東市、大萱信彦、竹本舞夢

2 教務

a 看護学科

1) 看護学科三年課程

教務部長／谷本千亜紀

教務主任／上野佳穂

教 職 員／内田洋子、大井ゆかり、川勝真由美、新納浩司、長岡宏子、鍋島純子、姫井智子、
姫田真弓、藤澤玉美、渡邊由美

b 臨床検査学科・臨床工学技士専攻科

教務部長並びに第二臨床検査学科教務主任兼務／小澤 優

1) 臨床検査学科

教務主任／小西靖志（第一臨床検査学科）

教 職 員／青木寿成、飴本久子、五十川團哉、木澤明宣、後藤直樹、中前雅美、林 敬子、
宮井 優

2) 臨床工学技士専攻科

教務主任／泉田洋志

教 職 員／飯田安彦、多田俊介、古谷仁志

C 京都府病院協同組合

事務局長／村上 衛

事務局員／松村浩史（事務局長補佐）、木股亜由美（課長）、石動 誠（課長）、奥村裕一郎（主任）、
堀内結衣、内牧成允、安田昌広、原田幸雄、松尾一毅、山口 望

D 京都府病院企業年金基金

常務理事／関本充治

事務職員／山本順子、山田真美

E （専）京都中央看護保健大学校

学 校 長／久保俊一（理事）

副学校長／石束佳子（評議員）

事務局長／土井直也（常務理事）

1 事務部

事務部長／出野 順（評議員）

事務次長／笹原明美

事務主任／若林典子

事務職員／宮本志乃、野村なつみ

2 教務部

a 看護学科

学 科 長／阿形奈津子

副 学 科 長／山本絵奈

教務部主任／上谷美幸

教 職 員／池田 恵、森田真帆、横関智恵、安原郁子、倉 桂子、清水由美、前川智子、
堺 真奈美、向田貞代

b 看護保健学科

学 科 長／池田万喜子

副 学 科 長／田淵眞由美、上山みゆき

教務部主任／岡田由岐子、荒卷富美

教 職 員／山本敏子、新屋智子、筒井恵美、福島淳哉、堀川眞知子、松本留美、川崎紀子、
小城智子、前田奈実

【保 險 部】

I 医療保険

A 医療保険をめぐる状況

当協会では入院基本料等をはじめとした各種施設基準の管理・運用を重点項目に挙げ、会員病院が新たな施設基準の取得や適切な基準の管理・運用ができるよう月報点検サービスなどを実施する等、点検助言等を行った。また、会員施設に対して施設基準の届出に関する相談および関係諸機関から公表されているニーズに沿った情報提供を行った。その他、施設基準等に関連した最新情報を随時、会員に提供できるよう、近畿厚生局および適時調査を受けた施設から得た情報を集約した。

医療保険に関わる当協会の取り組み全般は、事務長会および診療報酬委員会で担当した。事務局では会員病院からの医療保険に関する疑義に対して近畿厚生局京都事務所に照会を求める等して必要な情報提供に努めた。

令和2年4月に実施される診療報酬改定は、本体の改定率が+0.55%となった。今回の政府発表資料では「本体」という表現はなく、「全体での改定率は算出していない」としているが、薬価等を含めた全体でのマイナス改定である。

今回の改定では、特に「医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進」が重点課題に挙げられ、医療従事者の働き方改革の推進を診療報酬上で誘導する改定となった。今後の病院経営において医療機関は所在する地域の医療需要を的確に促え、その需要に対しどのような機能、専門性を持つのかを中長期的な視点から考えていくことが重要となっている。

B 入院基本料等施設基準

医療保険関係については、会員病院が各種施設基準の届出をするにあたり、基準に則った運用と適切な管理運営が行われるよう努めた。また、診療報酬改定に関する情報提供や質問等にも対応した。

1 各種施設基準に係る相談への対応

会員病院から医療保険制度全般について相談を受け付け、問題解決への助言を行うとともに、必要に応じて資料の提供等を行った。また、各種施設基準の届出および変更に際しての相談にも対応した。

2 実施状況報告書（月報）点検サービス

近畿厚生局京都事務所に提出が求められている実施状況報告書（入院基本料、入院時食事療養、リハビリ関係等）の点検サービスを実施した。点検は、各施設基準の届出ミス・漏れの早期発見と早期改善を目的としており、会員病院が近畿厚生局京都事務所に提出した報告書を使用して行っている。点検を希望する会員は同報告書を事務局に提出する。

C 生活保護法指定医療機関に対する個別指導への立会い

令和元年度も京都府および京都市による生活保護法指定医療機関に対する個別指導への立会いを行った。

主な指導内容としては、患者の治療状況や稼働能力に基づく今後の就労の可否に関する判断が中心で、そのほか社会復帰に向けてのアドバイスや行政手続き上の諸問題等について意見交換が行われている。

行政側は患者の受診頻度、療養態度について確認を行い、医学的な見地から主治医の意見を求めるほか、福祉事務所の嘱託医が審査を行う際に唯一の判断材料となる生活保護「医療要否意見書」の客観的判断を円滑に行うことができるように詳細な記載を求めている。

生活保護率については、長引く不況による経済状況の悪化に伴い、京都府・京都市とも上昇傾向にあり、生活保護費の中で医療扶助の割合は約50%となっている。

会員の実施日／

(京都府分) 10/25 1/17 1/31 2/21 2/28 計5施設

(京都市分) 12/12 2/13 計2施設

D 診療報酬委員会

当委員会では診療報酬全般に関わる情報収集と分析、各種調査・要望等を行い、会員施設が円滑な病院運営をすることができるよう活動に取り組んでいる。令和元年度は次期改定への要望書作成についての検討を行ったほか、大型連休に伴う診療報酬上の対応方法について意見交換を行った。令和2年度診療報酬改定における影響度調査を実施するべく、準備を進めている。

1 委員会

a 委員長：富士原正人（担当役員）

副委員長：仲田昌司（担当役員）

委員：篠田浩之、金岩孝也（～令和1.5）、寺田克己（令和1.6～）（以上、事務長会）、
福島朋樹（看護部長会）、橋元 誠（薬剤師部会）

b 開催日 7/23 計1回

2 主な活動

a 診療報酬改定の要望書作成についての検討

II 介護保険

A 介護保険をめぐる状況

令和元年度は、京都府内においても、介護療養型医療施設等の介護医療院への転換が本格的に進められた。一方で、今後の転換の方向性を未定としている施設もあり、当協会では会員施設の円滑な転換や安定的な施設運営に資するべく、引き続き情報提供等の支援を行っていくこととしている。また、今後、介護医療院も介護療養型医療施設と同じく梯子を外されることのないよう、介護医療

院が、地域包括ケアシステムにおいて、介護療養型医療施設と同様に医療必要度の高い要介護高齢者に対応するとともに、生活施設としての機能も担う重要な介護保険施設として、その存在意義を国に対して強くアピールしていく。

また、京都府内における介護サービス第三者評価については、令和元年度は介護療養型医療施設の受診は低調だったが、積極的に評価を受診してサービスの質の向上に取り組むことにより、職員のモチベーション向上等に繋がることから、会員施設には関連の居宅サービス事業所も含め積極的な受診を奨励している。

京都市からの委託事業である介護保険の新規認定調査事業は、令和元年度も多くの認定調査を実施しており、介護保険制度が円滑に運用されるよう努めている。

介護保険制度に係る法令遵守に関しては、京都府・京都市による実地指導に事務局が立会いを行うとともに、施設基準・介護報酬等に関する会員からの相談・質問に対応した。

<会員施設における介護療養型医療施設指定状況（令和2年3月31日現在、当協会把握数値）>

1 介護療養病床	13施設	788床
2 老人性認知症疾患療養病棟	2施設	113床
計 15施設		901床

<会員施設における介護医療院指定状況（令和2年3月31日現在、当協会把握数値）>

・ 9施設 1,705床

<実地指導立会い（平成31年4月1日～令和2年3月31日）>

・ 介護療養型医療施設	3施設
・ 介護医療院	1施設

B 介護保険委員会

当委員会は、介護と医療の密接な関係を重視する観点から、介護保険制度が医療に及ぼす影響を的確に把握・予測するとともに、介護保険制度下における問題点を解決し、介護サービス事業を行う会員が円滑に事業運営できるよう活動を行っている。

委員会では行政当局（京都府・京都市）及び京都府医師会の担当者も交え、現行の介護保険制度や療養病床再編（介護医療院を含む）等の諸問題について情報交換を行い、それぞれの立場から意見・要望を取り交わしていく中で、制度の適切な運用と安定的な運営が図られるよう努めた。

また、院内における身体拘束廃止に資する内容の研修会や、介護医療院及び介護療養型医療施設の適正な運営やサービスの質の向上に資する内容の研修会の企画・検討を行った。

1 委員会

a 委員長：久野成人（担当役員）

副委員長：近藤泰正、清水 聡（以上、担当役員）

委員：茨木孝二（担当役員）、中川正之（事務長会）、齊藤史雄（事務長会）、
長谷川寿子（看護部長会）、門真由美（看護部長会）、
川添チエミ（一般財団法人仁風会）、木下大作（長岡病院）、

松本恵生（京都市岩倉地域包括支援センター）、湯浅由美（西陣病院）、
長谷川智恵子（京都久野病院）

オブザーバー：南部慎一（京都府高齢者支援課）、遠藤洋一（京都市介護ケア推進課）
尾崎和雄（京都府医師会）、清水 紘（監事）

b 開催日：6/27 11/28 1/23 計3回

2 主な活動

a 療養病床再編（介護医療院を含む）の調査研究と対応の検討

b 地域包括ケアについての意見提言と対応

c 介護サービス第三者評価事業への意見・提言

d 研修会

3月5日 於：メルパルク京都

テーマ／「京都府地域包括ケア構想の概要について」

講師／豊島博子（京都府健康福祉部医療課医務・看護担当主幹兼係長）

テーマ／「身体拘束の廃止に向けて」

講師／田中志子（医療法人大誠会内田病院理事長）

*新型コロナウイルスの影響により中止

3月16日 於：メルパルク京都

テーマ／「京都府地域包括ケア構想の概要について」

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課医務・看護担当課長）

テーマ／「介護医療院（及び介護療養型医療施設）の人員・設備・運営基準・介護報酬について～実地指導結果を踏まえて～」

講師／澤井秀生（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課障害福祉・介護サービス担当課長）

野村美茄（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課）

*新型コロナウイルスの影響により中止

C 介護サービス第三者評価事業

介護サービス第三者評価は、介護サービス事業者のサービスの質の向上を促進するとともに、サービスを受ける利用者の選択の利便を図ることを目的としている。

京都府では関係団体、行政等で組織する「京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構」に当協会役員も参画して介護・福祉分野の第三者評価を推進しており、任意受診の府県においては全国トップの受診件数となっている。

当協会は介護分野の評価機関として、会員施設及び関連事業所の職員や元職員等に評価調査者、評価審査委員として協力を得、医療系の専門職を数多く擁する特徴を活かして第三者評価を実施しており、評価を通じて受診事業所の質の向上とモチベーションの向上に努めている。

令和元年度は5施設・事業所の訪問調査を実施した。また、当協会の評価調査者・審査委員による意見交換会を実施し、評価の質の向上にも努めた。評価調査者の養成も行い、評価調査者・審査

委員合わせて40名の体制となった。

1 評価調査体制

評価調査者（兼評価審査委員） 38名
評価審査委員 2名

2 訪問調査実績・評価審査委員会

訪問調査：

10月8日 嵯峨野病院（介護療養型医療施設）
10月28日 介護老人保健施設ケアコミュニティ淀（介護老人保健施設）
10月31日 桃仁会居宅介護支援事業所（居宅介護支援）
11月14日 あやべ協立診療所（通所介護）
12月2日 介護老人保健施設ぬくもりの里（介護老人保健施設）

計5事業所

評価審査委員会 12/5 1/20 1/21 1/22

3 研修会

a 令和元年度介護サービス評価調査者養成研修

9月27日、10月9日、12月12日、12月23日

受講者／2名（新規）

4 会議等

a 京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構総会 6/21

b 京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構理事会 5/29 3/25（文書審議）

c 京都介護・福祉サービス第三者評価ネットワーク会議 5/17 7/19 10/25 1/24

d 介護サービス第三者評価事業連絡会議（私病協） 9/11 参加者／20名

内容／介護サービス第三者評価事業の実施要領の確認、介護サービス共通評価項目等に関する意見交換

D 京都市新規介護認定調査事業

当協会では京都府より介護保険法第24条の2第1項に規定する指定市町村事務受託法人の指定を受けて、京都市を中心とした市町村からの依頼により、会員施設の介護支援専門員等の協力を得て京都市内での認定調査を実施している。

令和元年度は、38名（令和2年3月末時点）の調査体制で年間4千件以上の調査を実施するとともに、調査員を対象とした研修を開催して調査の質の維持・向上にも努め、認定調査を通じて介護サービスの利用を希望する方々の援助に努めている。

1 調査実施体制（令和2年3月31日現在）

認定調査員 38名（登録職員）

2 認定調査実績

平成31年 4月 = 376件

令和元年 5月 = 349件 6月 = 435件 7月 = 393件 8月 = 375件
9月 = 377件 10月 = 371件 11月 = 405件 12月 = 403件
令和2年 1月 = 357件 2月 = 344件 3月 = 386件 計4,571件

3 その他の取り組み

2月20日 要介護認定調査員研修 於：私病協会議室 参加者／15名

テーマ／「適切な要介護認定調査のために」

講師／川添チエミ（一般財団法人仁風会財団本部介護保険・企画・教育・研修担当部長、主任介護支援専門員）

【地域医療部】

I 地域医療構想への取り組み

A 地域医療構想をめぐる状況

京都府における地域医療構想は、平成29年3月に地域包括ケアシステムの一環として地域医療構想を位置付けた「京都府地域包括ケア構想」が策定され、平成30年4月からの京都府保健医療計画に盛り込まれた。構想策定には、京都府医療審議会地域医療構想策定部会に当協会長が参画した。

京都府内の各構想区域の地域医療構想調整会議では、平成30年度より京都府地域包括ケア構想の達成に向けた協議が始まり、各調整会議には地域の病院が主体的に参加している。特に病院数の多い京都市域地域医療構想調整会議には当協会から当協会長・副会長の3名が参画するとともに、京都市域を4ブロックに分けて病院が参加する意見交換会が開催されている。

病床機能報告の各病棟の医療機能の選択の参考になる基準（定量的基準）の検討では、平成30年10月に設置された京都府医療審議会病床機能区分検討ワーキングに参画し、当協会から提案した診療報酬基準に基づく重症度及び大規模病院の病棟構成の特徴を配慮した定量的分析が京都方式として採用された。

公立病院・公的医療機関等は、それぞれ「新公立病院改革プラン」「公的医療機関等2025プラン」を策定し、民間医療機関との役割分担を踏まえ、公立病院・公的医療機関等でなければ担えない分野へ重点化することが求められたが、厚生労働省は見直しが十分に進んでいないとされ、令和元年9月に、2025年に担う役割や機能別病床数の再検証を要請する424の公立・公的医療機関を公表した。今後、民間病院の診療実績データ等の公表も控えており、民間病院にも再編・統合の議論が波及することが予想される。

当協会では京都府、京都市、医療関係団体との連携を密にしながら京都府における医療提供体制が後退することのないよう地域医療構想の課題に取り組んでいる。

B 地域医療構想検討委員会

地域医療構想は、地域の将来の医療需要の推計に基づき、病床の医療機能分化を進めるものであり、病院はもとより地域医療に大きな影響を及ぼす重要課題として、当協会は平成27年6月に正副会長で構成する地域医療構想検討委員会を設置した。委員会では国の動き、京都府医療審議会・各圏域の地域医療構想調整会議における検討状況を集約・把握して対応を協議し、折に触れて京都府・京都市と意見交換、意見具申をしている。

また、厚生労働省主催の医療政策研修会に当協会が京都府・京都府医師会と参加し、地域医療構想等の取組の推進に資する情報収集を行った。

会員施設には、全職員が地域で求められる病床機能を担うために、職能別及び課題別の会議・研修会で地域医療構想、地域包括ケアシステムに関する説明を行い、その実現に向けての意識定着に取り組んだ。

1 委員会

委員長：清水鴻一郎

委員：久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、岡田 純、小森直之、石丸庸介、
藤澤明生

開催日 政策委員会開催時に検討

2 主な活動

- a 京都市域地域医療構想調整会議への役員派遣（清水鴻一郎、久野成人、武田隆久）
- b 都道府県医療政策研修会への参加
 - 令和元年度第1回 6月7日 於：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター（清水鴻一郎）
 - 令和元年度第2回 8月30日 於：ベルサール新宿セントラルパーク（武田隆久）
 - 令和元年度第3回 2月14日 於：ベルサール半蔵門（津崎桂子）
- c 京都府及び京都市との意見交換・連携
- d 職能別及び課題別会議・研修会、会報誌「京都私立病院報」、ホームページ等での情報提供

Ⅱ 救急・休日・時間外診療体制の推進

A 京都府下における二次病院群輪番制

1 京都市域二次病院群輪番体制

京都市域（乙訓2市1町含む）における二次救急医療体制の充実を図る制度として発足後37年が経過し、参加病院をはじめ関係医療機関に定着している。令和元年度についても京都市域の参加病院が共同連携し、輪番制方式により休日・夜間等における救急患者の医療の確保・充実に努めてきた。

令和元年度は57病院の参加を得、うち小児協力病院については10病院による体制で運営が行われた。

担当役員／菅 知行（～令和1.5）、清水史記（令和1.6～）

1) 協力病院一覧（○印は小児も担当 *印は会員外病院）

Aブロック＝北区・上京区・左京区

愛寿会同仁 賀茂 京都大原記念 京都警察 京都下鴨 京都博愛会 京都民医連あすかい
富田 西陣 ○日本バプテスト 室町 洛陽

Bブロック＝右京区・西京区・向日市・長岡京市・大山崎町

泉谷 太秦 内田 河端 ○京都桂 ○京都民医連中央 シミズ 新河端 千春会 長岡京
西京都 ○三菱京都 向日回生 洛西シミズ 洛西ニュータウン ○*済生会

Cブロック＝中京区・下京区・南区

明石 がくさい 吉祥院 ○*京都市立 京都回生 京都九条 京都武田 京都南 西京
十条武田リハビリテーション 新京都南 相馬 ○武田 堀川 吉川 洛和会丸太町

Dブロック＝東山区・山科区・伏見区

愛生会山科 ○医仁会武田総合 大島 金井 ○*京都医療センター 京都久野 共和
蘇生会総合 なぎ辻 原田 伏見桃山総合 むかいじま ○洛和会音羽

2) 当システムを利用した入院・外来別患者搬入状況

	令和元年度	平成30年度
入院	1,226名	1,216名
外来	4,100名	4,326名
計	5,326名	5,542名

搬入されてきた患者が輪番制度の利用によるものか判別できない場合があり、明らかな患者のみを集計したため、実際の搬入患者数はこれを上回るとされる。

3) 補助金（会員病院への交付総額）

平成31年4月～令和2年3月…65,080,000円

平成30年4月～平成31年3月…63,648,000円

1 当番日あたりの運営補助金は、基本32,000円（日・祝日の夜間は64,000円）、年末年始（12/29～1/3）については、昼間は52,000円、夜間は104,000円であった。（平成30年度と同額）

4) 輪番編成会議 8/21 2/10

参加病院による輪番当番の編成、輪番当番病院心得・業務の確認徹底の他、京都市担当者による補助金申請についての説明が行われた。

2 山城北二次病院群輪番体制

平成7年4月より山城北医療圏（宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町）を対象とした二次病院群輪番制が発足し、25年が経過した。各自治体、財政難による影響もあり、関係市町村での補助金の確保が難しい状況になりつつあるが、令和元年度についても関係医療機関の協力により円滑な運営が行われた。

担当役員／石丸庸介

1) 診療日／日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

2) 診療時間／昼間 午前8時～午後6時 夜間 午後6時～翌朝午前8時

3) 協力病院一覧（*印は会員外病院）

宇治徳洲会 京都岡本記念 都倉 宇治武田 京都きづ川 *国立病院機構南京都
久御山南 男山 八幡中央 田辺中央

4) 当システムを利用した入院・外来別患者搬入状況

	令和元年度	平成30年度
入院	137名	98名
外来	335名	347名
計	472名	445名

京都市域二次病院群輪番制と同様に、実際の搬入患者数はこれを上回るとされる。

5) 補助金（会員病院への交付総額）

平成31年4月～令和2年3月…10,101,440円

平成30年4月～平成31年3月…9,888,320円

1 当番日あたりの運営費補助金は71,040円で、年末年始（12/29～1/3）については、111,040円であった。（平成30年度と同額）

6) 輪番編成会議 8/26 2/18

内容は京都市域と同様。宇治市担当者を交えて開催した。

B 京都府周産期医療情報システム

総合周産期母子医療センターは当該システムを運営する基幹病院として京都第一赤十字病院が指定を受けており、京都府全域からの周産期医療情報を常時一元的に把握して、母体・新生児の生命を守るネットワーク事業の核となっている。現在は国の整備指針による必要病床数や医療従事者数を満たし、適切な医療提供体制が確保されているが、NICU 病床については、病院間の連携による、最適化を図る必要が出てきている。府下の医療圏を北部と南部のブロックに分け、高度医療を提供するサブセンター（2病院）、救急搬送を受け入れる二次病院（16病院）がそれぞれ指定されており、京都府における救命率の向上に貢献している。また、平成30年度には、周産期医療体制を強化するため、京都府、京都第一赤十字病院、京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院の4者間において「京都府周産期医療体制強化に関する協定」が締結されている。

当協会では、体制整備に必要な調査および情報システムなど周産期医療体制の確立に必要な事項について協議する京都府周産期医療協議会及び京都府周産期医療協議会部会に委員を派遣し、協会の意向を申し伝えている。

同協議会では、診療体制の整備された分娩環境や未熟児に対する需要の増加に応えるため、地域において妊娠、出産から新生児に至る高度専門的な医療を効果的に提供する、総合的な周産期医療体制が整備されることを目的に開催されている。また、同部会では、協議会にて検討された後方搬送受入協力病院制度について、各周産期母子医療センターの関係者が一堂に会する機会を設け、同システムの円滑な運用を図った。

令和元年度京都府周産期医療協議会 10月30日 於：京都ガーデンパレス（石丸庸介）

C 京都府精神科救急医療システム

京都府では、北部地域と南部地域において、平日の夜間、土日、祝日に精神科医療を必要とする患者を対象に、精神科救急医療システムが稼働している。精神科救急医療に関する電話相談や病院紹介、関係機関との連絡調整にあたる窓口として、精神科救急情報センターが24時間体制で運営され、必要な患者について基幹病院が対応し、京都精神病院協会加盟病院が支援病院として協力している。システムの対象外となるケースは、アルコール・薬物依存・シンナー・覚醒剤等の中毒性疾患による酩酊や依存状態のほか、疾患ではなく状況が緊急性を帯びる場合（認知症・精神遅滞・人

格障害の一部)、身体的治療が優先される状態等の場合である。

北部のシステムは綾部市、京丹波市以北の地域が対象で平成21年度以降は、北部と南部の2箇所
で運営されていた救急情報センターを京都市こころの健康増進センターに一元化し、北部地域の基
幹病院は従来通り舞鶴医療センターが担当している。

南部は京都府と京都市の協調事業で、対象は北部以外の地域となっている。情報センターは京都
市こころの健康増進センターに置かれ、基幹病院は府立洛南病院が担当する。

令和元年度についても平成30年度から5年間を計画年度とする保健医療計画に沿って、身体疾患
と精神疾患を併せ持つ患者の医療提供体制を整備するべく、精神科救急医療連携強化事業が山城北
医療圏で試験的に実施されている。本事業では身体合併症患者に係る事例検討会も開催され、関係
機関から代表が出席し、事業の円滑な運営を図ることを目的に検討・意見交換が行われている。

京都府北部精神科救急医療システム連絡調整会議 2月6日 於:中丹東保健所(武田隆久)

京都府南部精神科救急医療システム連絡調整会議 3月23日 於:職員会館かもがわ

*新型コロナウイルスの影響により中止 (武田隆久)

D 京都府救急医療情報システム

京都府では、病院や診療所・歯科診療所、助産所及び薬局等に関する各種情報を収集し、府民に
健康で充実した生活を送ることができるよう、総合的な健康医療情報を提供するホームページとし
て、京都健康医療よろずネットを開設している。同時に救急医療情報システムも一体的に運用して
おり、休日等に受診することができる身近な医療機関情報等も検索・閲覧可能としている。

本システムは、厚生労働省による広域災害システム(広域災害発生の際に、医療機関の被災状況、
被害者要請や医療スタッフの要請・提供などの情報を収集・提供し、被災地域の医療活動を支援す
る)に対応している。平成20年度に実施された新システムの導入後、インターネットにより救急情
報以外の医療機関情報等を検索する機会が増加したため、府民からのアクセス件数が増加し、概ね
150,000件前後で推移している。

京都健康医療よろずネット：<http://www.mfis.pref.kyoto.lg.jp/ap/qq/men/pwtpmenuult01.aspx>

Ⅲ 救急医療への取り組み

A 救急医療をめぐる状況

少子高齢社会が進む中、とりわけ高齢者に対する救急の割合が圧倒的な増加傾向にあり、今後は
有病率の高い癌の治療及びそのターミナルの問題と、脳卒中、骨折、肺炎など、高齢者の急病変化
に対する高齢者救急への対応が喫緊の課題となっている。

こうした中でも京都府下の救急医療体制は各医療圏の会員病院の協力により他府県と比べても安
定した体制を維持している。しかし、安定的な救急医療体制の確保には行政からの支援策(補助金)
が必須であるが厳しい財政状況を理由に、今後見直される可能性もありうる。京都府下では、京都
市域、山城北圏域において病院群輪番制が稼働しており、現在まで大きなトラブルもなく、その役

割を果たしている。京都市では、市財政が大変厳しいことを理由とし、平成21年度以降は輪番協力病院への補助金の減額措置が執られている。救急医療体制の整備には、医師・看護師等の医療スタッフを配置することが絶対条件であり、その配置に要する人件費等の大半は医療機関からの持ち出しとなっている。こうした大変厳しい状況下でも地域住民の生命と安全を守るという使命感で地域の救急医療の中心を担っているのは民間病院であり、この献身的な取り組みが行政や地域住民から評価されるよう、継続した周知活動を行う必要がある。

最近ではテレビや新聞等による救急医療をテーマとした関連記事が頻回に渡って報道されるようになり、救急医療現場の厳しい状況が一般市民にも情報として入ってくる機会が増えたこと、また、近年、日本を観光などで訪れる外国人旅行者が増加し、医療現場においては外国人患者との言語コミュニケーションや医療費等に関するトラブルが課題となっていることから、救急医療への関心は浸透しつつある。当協会では医療関係団体と協議しながら救急医療に関する様々な課題の解決を目指し、検討を継続している。

B 救急医療検討委員会

委員構成は救急担当理事と会員病院の代表（医師）、事務長会、看護部長会の代表で、病院の救急医療全般に係る諸問題について検討している。

また、平成25年度より京都府医師会が災害時の医療体制整備を目指して創設した「JMAT 京都」には会員病院医師の登録募集及び病院の窓口登録、研修会の案内や取りまとめを行う等、全面的に協力を行った。

1 委員会

委員長：武田隆久（担当役員）

委員：富士原正人、菅知行（～令和1.5）、清水聡（令和1.6～）、
清水史記（令和1.6～）（以上、担当役員）、安田冬彦（洛和会音羽病院）、
西海和成（事務長会）、末廣健児（事務長会）、南京子（看護部長会）、
大山清美（看護部長会）

開催日 10/30 12/24 計2回

2 主な活動

a 第18回京都救急医療研究会の開催（共催：京都府医師会、京都府病院協会）

2月25日 於：京都府医師会館

*新型コロナウイルスの影響により中止

b JMAT 京都への病院窓口及び医師登録等

病院登録／34病院 医師登録／277名

C 交通事故医療

自賠責保険をめぐっては、京都府医師会（京都私立病院協会、京都府病院協会含む）と日本損害保険協会近畿支部、損害保険料率算出機構京都調査事務所の三者による京都府交通事故医療連絡協

議会を開催し、自賠責ガイドラインの採用医療機関の増加に向けて協議が進められている。協議会及び自賠責の研修会は2年に1度開催されており、令和元年度は開催年に当たるため、協議会が開催され、新基準の移行状況の報告と研修会の開催について検討が行われた。

また、診療費請求をめぐる当事者間の紛争の仲裁・解決に当たる「苦情処理委員会」が設置されており、案件が出た場合に開催をしている（当協会から委員2名を派遣）。

1 京都府交通事故医療連絡協議会

当協会からの派遣委員：武田隆久、菅 知行（以上、担当役員）

協議会開催日 9/18

自賠責研修会 1/20 参加者：117名

苦情処理委員会：武田隆久、菅 知行（以上、担当役員）

Ⅳ 医療安全対策への取り組み

A 医療安全対策をめぐる状況

平成26年6月の医療法改正に伴い、医療事故が発生した医療機関が院内調査を行い、その調査報告を第三者機関（医療事故調査・支援センター）が収集・分析することで再発防止につなげる仕組み（医療事故調査制度）が医療法に位置付けられ、平成27年10月から施行された。

本制度の目的はあくまで「当該病院等に勤務する医療従事者が提供した医療に起因し、又は起因すると疑われる死亡又は死産であって、当該管理者が当該死亡及び死産を予期しなかった」医療事故事例を収集し医療界全体の安全を向上させることにあり、従来の医療事故の定義も異なれば、責任追及を目的としていない。かつて医師法21条の誤った解釈と運用により、警察への届出、医療過誤による業務上過失致死罪の立件件数が激増し、外科・産科をはじめ多くの医師が去った医療崩壊が再び起こることがあってはならない。

これを踏まえ、当協会では会員施設において本制度の正しい理解と対応が図られるよう、従来から実施している医療安全対策に資する研修を継続して企画・開催しているほか、本制度に関する情報収集を積極的に行い、会員施設から本制度の内容、医療事故の報告対象に係る相談を受け付ける「医療事故調査制度相談窓口」を平成27年に開設し、当協会担当役員と事務局担当者によるサポートを行っている。

今後も医療事故調査制度の動向を注視しながら、当協会として必要な対応を行い、医療安全の向上に努めることにしている。

B 医療安全対策委員会

医療機関における医療事故の発生が各方面で取り上げられ、患者からの医療の質・安全に対する社会的な要求が高まっている中、当委員会では会員施設における先進的な医療安全対策システムの構築に向けた支援を行ってきた。

また、医療法施行規則が平成14年10月に一部改正されたことに伴い、全ての病院及び有床診療所

について、4項目の医療安全管理体制の確保が義務付けられたが、その中の1つに医療に係る安全管理のための職員研修の実施が挙げられており、当委員会では会員施設の職員を対象とした研修会を毎年企画開催している。令和元年度の研修会では、初級者向けに基礎的な医療安全対策に関する研修会を開催した。その他の取り組みとして、医療安全対策マニュアルの改訂版を発刊し、会員施設へ提供した。

1 委員会

委員長：小森直之（担当役員）

副委員長：武田隆久（担当役員）

委員：池内研二（事務長会 ～令和1.5）、坂本裕里（事務長会）、
黒田正博（事務長会 令和1.6～）、川上智子（看護部長会 ～令和1.5）、
坂田 薫（看護部長会 令和1.6～）、益野秀樹（薬剤師部会）、
渡里 弘（放射線技師部会）、増田哲也（臨床検査部会）、
尾谷雅章（リハビリテーション部会）、佐伯美和（栄養士部会 ～令和1.5）、
赤尾 志（栄養士部会 令和1.6～）、藤井 耕（臨床工学技士部会）

開催日 6/24 9/30 12/16 3/2（中止） 計3回

2 主な活動

a 研修会

新人職員向け

12月16日 於：メルパルク京都 参加者／112名

テーマ／「京都府地域包括ケア構想の概要」

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課医務・看護担当課長）

テーマ／「医療の組織人として知っておきたい医療安全の基礎知識」

講師／有山真智子（京都桂病院医療安全管理室室長）

中堅職員向け

3月2日 於：メルパルク京都

テーマ／「京都府地域包括ケア構想の概要」

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課医務・看護担当課長）

テーマ／「チームトレーニングの結果を現場で出そう！－HOW TO BE TeamSTEPS－」

講師／辰巳陽一（近畿大学病院安全管理部・医療安全対策室近畿大学医学部血液膠原病
内科教授）

*新型コロナウイルスの影響により中止

b 医療安全対策マニュアル改訂版の発行

3 その他の取り組み

- ・医療安全対策の促進に向けた情報収集
- ・医療事故調査制度に係る情報収集、相談窓口の運営

V 感染症対策への取り組み

A 感染症をめぐる状況

当協会では感染症対策委員会が中心となり、感染症に関する研修会の開催、感染症関連のマニュアル作成、院内感染対策の相談対応、感染症に係る調査、感染症発生動向の情報提供等を行い、会員施設における感染症への対応・対策への普及啓発に努めている。平成29年度からは、高齢化の進行と要介護者の増加に伴い、褥瘡対策が重要課題となっている中、会員施設において高齢者のADLを保ちQOLを維持するケアの向上に資するべく、当委員会が褥瘡対策に関する取組も行っている。さらには、京都府・京都市が設置する感染症対策関連の各種審議会に当協会の役員が参画し、患者及び医療従事者の安心・安全を守るべく意見・提言を行っている。

令和元年度は、11月に中国湖北省武漢市で新型コロナウイルス（COVID-19）が発生し、1月には日本国内で1例目の感染者が報告された。新型コロナウイルスは全世界へ拡大し、3月には世界保健機関（WHO）がパンデミックを宣言した。日本政府は感染拡大を受け、イベント・移動の自粛、学校の休校を要請する事態に至った。京都府内では1月30日に1例目の感染者が報告された。

罹患者や陽性者が出た医療機関では、救急や外来診療を中止して院内を消毒する対応に迫られ、濃厚接触とされた医療従事者が一定期間の自宅待機を余儀なくされるなど、医療の継続が困難となった。また、相次ぐ疑い例の患者への対応により医療従事者が疲弊するとともに、マスク、手指消毒薬、衛生材料の逼迫により、医療従事者の不安・危険が増大することとなった。

オーバーシュート（爆発的急増）が現実となった場合、感染者の入院医療提供体制や医療連携体制などをどのように構築するのか、院内の安全をどのように確保して診療を継続するのか、極めて困難な問題に直面している。

感染症を取り巻く環境は絶えず変化しており、常に最新の知識習得と情報収集に努め、不測の事態に的確な対応ができるよう備えておく必要がある。

B 感染症対策委員会

感染症に係る諸問題への対応と院内感染対策を講じるため、当協会役員、看護部長会・臨床検査部会からの派遣委員、会員内の専門医師・認定看護師による構成で感染症対策委員会を組織している。

令和元年度は、抗菌薬の適正使用に関する研修会を開催し、医師・薬剤師のみならず全ての職種が抗菌薬の適切な選択と使用について正しい知識を共有することで、その濫用防止の啓発を行った。また、同研修会に合わせ、令和元年9月に「抗菌薬適正使用マニュアル」の改訂版を作成した。感染症対策委員会では、平成29年度より皮膚・排泄ケア認定看護師を委員に加えて褥瘡対策にも取り組んでおり、令和元年度は会員からの褥瘡対策に係る相談への対応、褥瘡対策に係る見学受入に関する調査の実施、褥瘡対策に積極的に取り組む病院への見学受入の協力要請等、課題を抱える病院に褥瘡予防・ケアの知識・技術の普及を促進した。

京都府地域包括ケア構想の内容や進捗状況についても意見交換を行い、2025年に向けて必要な病

床機能の分化・連携等への理解を深めた。

1 委員会

委員長：清水 聡（担当役員）

副委員長：清水史記（担当役員）

委員：山田 豊（京都民医連中央病院）、

浅野育子（京都民医連あすかい病院）（以上、薬剤師部会派遣）、永野裕子（吉川病院）、

谷口文代（京都桂病院）（以上、看護部長会派遣）、植村陽子（三菱京都病院）、

深澤武志（相馬病院）（以上、臨床検査部会派遣）

開催日 5/9 7/4 9/12 11/7 1/9 3/5（中止） 計5回

2 主な活動

a 研修会

9月12日 於：TKP 京都四条駅前カンファレンスセンター 参加者/81名

テーマ/「京都府地域包括ケア構想の概要」

講師/真下信男（京都府健康福祉部医療課医務・看護担当課長）

テーマ/「草の根レベルで AMR 対策について考える～一人ひとりに何が出来るか」

講師/山田 豊（京都民医連中央病院感染症科科長・総合内科医長・ICD）

3月5日 於：TKP 京都四条駅前カンファレンスセンター

テーマ/「京都府地域包括ケア構想の概要」

講師/真下信男（京都府健康福祉部医療課医務・看護担当課長）

テーマ/「褥瘡治療～傷が治る仕組みと軟膏の使い方～」

講師/藤井弘子（三菱京都病院皮膚科医長）

植村陽子（三菱京都病院皮膚・排泄ケア認定看護師）

*新型コロナウイルスの影響により中止

b 褥瘡対策に係る見学の受入に関するアンケート調査の実施

c 抗菌薬適正使用マニュアルの改定

d 感染対策・褥瘡対策に係る相談窓口対応

e 日本感染症学会主催院内感染対策講習会への派遣研修

1月15日～16日 於：TKP ガーデンシティ大阪リバーサイドホテル

研修受講者/会員施設より看護師1名

1月22日～23日 於：TKP ガーデンシティ大阪リバーサイドホテル

研修受講者/会員施設より医師1名、薬剤師1名、看護師1名

f 調査結果、毎月の感染症発生動向・感染症行政に関する情報提供（京都私立病院報）

Ⅵ 京都式地域包括ケアシステムの推進

少子高齢化、人口減少社会の中で、京都府では高齢者が介護や療養が必要になっても住み慣れた地

域で、24時間・365日安心して暮らせる「京都式地域包括ケアシステム」を実現するべく、その推進組織である「京都地域包括ケア推進機構」において行政や医療・介護・福祉関係等の機関・団体が連携・協働し、様々なプロジェクトが実施されている。

機構には当協会からも理事として参画し、プロジェクトの一環として平成24年1月から開始された「在宅療養あんしん病院登録システム」の運用推進に関わるとともに、平成23年度から実施している「府民リハビリテーション啓発支援事業」では、在宅医療・生活を支える病院の立場として積極的に活動を展開した。

また、認知症総合対策として京都府が平成25年度に策定した「京都式オレンジプラン」から始まり平成30年3月に「新・京都式オレンジプラン」へ改定された後も、その施策の一つである医療関係者の資質の向上を図るべく、京都府内病院に勤務する医療関係者の認知症対応力向上のための研修事業（集合研修及び訪問研修等）を京都府から受託実施している。平成28年度からは京都市からも委託を受けて京都市内病院への訪問研修を開始した。

平成26年度からは消費増税分を財源とした「京都府地域医療・介護総合確保基金」が創設され、当協会では基金事業として医療従事者の勤務環境改善促進、医療従事者の確保・定着・資質向上、病院における在宅医療、介護の人材育成・連携に資する事業を平成27年度から実施している。平成30年度からは、全職員が地域で求められる病床機能を担うために、職能別及び課題別の会議・研修会で地域医療構想、地域包括ケアシステムに関する説明を行い、その実現に向けての意識定着にも取り組んだ。

A 在宅療養あんしん病院登録システム

「在宅療養あんしん病院登録システム」は、在宅で療養生活を送る65歳以上の高齢者が、かかりつけ医の支援により病院を事前に登録することで、体調不良時に病院への早期アクセス・早期治療ができ、早期退院の実現に繋げ、在宅療養を維持することを目的とするシステムである。

当該システムが機能するためには、会員病院による在宅療養あんしん病院（以下、「あんしん病院」とする）への参画が必要不可欠であるが、134病院（令和2年3月31日時点）があんしん病院として指定されており、その大半を占める会員施設の協力のもとで、在宅高齢者の安心に寄与するべく尽力している。令和2年3月末時点での累計登録件数は14,415件である。

令和元年度も引き続き、システム登録者の入院等の利用状況、退院時の患者へのシステムの紹介や院内でのシステムの周知の状況等を把握し、システムの普及や改善に結びつけるためのアンケート調査を実施した。

登録は伸び悩んでいるが、今後更なる高齢者の増加に伴い、地域包括ケアにおいて必要なシステムであるという認識で、当協会としても更なる制度の普及・推進に努めている。

1 京都地域包括ケア推進機構への参画

京都地域包括ケア推進機構理事：清水鴻一郎

在宅療養あんしん病院登録システム運営委員会：久野成人、富士原正人

2 在宅療養あんしん病院登録システムに係る利用状況調査の実施（令和元年10月～12月）

B 府民リハビリテーション啓発支援事業

平成23年度より京都地域包括ケア推進団体等交付金事業として「府民リハビリテーション啓発支援事業」を実施しており、令和元年度も継続して事業を実施した。

本事業は、要介護者・要支援者が増加する中で、リハビリテーション不足地域に会員施設の医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士で構成するキャラバン隊を派遣して当該地域にリハビリテーションの啓発を行い、高齢者の在宅療養生活の継続に資することを目的としている。

令和元年度は、宮津市・福知山市・綾部市・京丹波町・南丹市・笠置町・南山城村の7市町村13包括14箇所延べ320人に対し、リハビリテーション専門職が運動機能の維持・向上、認知症予防、誤嚥予防のための訓練や体操を行い、身体状況に応じた効果的なリハビリテーションの方法をアドバイスした。また、啓発DVDを地域の担当者等に向けて、延べ31人に伝達講習を実施し、継続した支援を行うための体制づくりにも尽力した。

1 府民リハビリテーション啓発支援事業検討委員会

委員：富士原正人、武田隆久、岡田 純（以上、担当役員）、西村ひろみ（～令和1.12）、
田村 篤（令和2.1～）、織田泰匡、田後裕之、山本佐知子（以上、リハビリテーション部
会運営委員会）

開催日 検討委員会 6/21 2/18 計2回

2 事業実施実績

a 京都府北部および南部の地域包括支援センターに地域のリハビリテーションの提供状況に関するアンケート調査を実施

b 啓発キャラバン隊の募集・登録

登録者：医師3名、看護師20名、理学療法士88名、作業療法士26名、言語聴覚士16名 計153名

c 啓発キャラバン隊の派遣状況

9月24日	京丹波町・綾部市	キャラバン隊派遣／13名	
		於：JA 京都瑞穂支店会議室	参加者／29名
		於：宮代コミュニティーセンター	参加者／28名
10月10日	福知山市	キャラバン隊派遣／14名	
		於：多保市公会堂	参加者／26名
		於：菟原下一公民館	参加者／22名
10月21日	宮津市	キャラバン隊派遣／13名	
		於：日置浜公民館	参加者／22名
		於：地域ささえあいセンター	参加者／23名
11月11日	福知山市	キャラバン隊派遣／13名	
		於：堀会館	参加者／21名
		於：成和コミュニティーセンター	参加者／24名
11月25日	綾部市	キャラバン隊派遣／13名	
		於：志賀郷公民館	参加者／34名

	於：健康ファミリーセンター	参加者／10名
12月11日 南丹市	キャラバン隊派遣／14名	
	於：生畑地区生活改善センター	参加者／18名
	於：八木町野条公民館	参加者／18名
1月29日 笠置町・南山城村	キャラバン隊派遣／14名	
	於：つむぎてらす	参加者／34名
	於：月ヶ瀬ニュータウン集会場	参加者／11名

合計320名に啓発を実施

内 容（基本プログラム）／

- ・作業療法士による頭の体操
- ・理学療法士によるロコモーショントレーニング
- ・言語聴覚士による嚙下体操
- ・体力測定
- ・理学療法士による痛みやしびれについての説明と肩こり・腰痛・膝痛予防体操
- ・アンケート記入

d 啓発支援 DVD の伝達講習

9月24日 京丹波町	受講者／1名
綾部市	受講者／5名
10月10日 福知山市	受講者／6名
10月21日 宮津市	受講者／1名
11月11日 福知山市	受講者／7名
11月25日 綾部市	受講者／3名
12月11日 南丹市	受講者／4名
1月28日 笠置町	受講者／1名
南山城村	受講者／3名

合計31名に講習を実施

e 令和元年度京都式地域包括ケア取組発表会への参加

2月13日 於：京都府医師会館（臂谷亮輔）

C 病院認知症対応力向上事業

平成25年度より、京都府から受託し（平成28年度からは京都市からも受託）、京都府内の病院に勤務する医療従事者が認知症に関する幅広い知識やスキルを習得するとともに、病院内外における認知症対応力の強化や、医療・介護の連携の重要性を理解すること等を目的とした病院認知症対応力向上研修を実施している。

令和元年度は、厚生労働省の定めるカリキュラムに基づく認知症対応に係る基礎的な内容の研修（集合研修、訪問研修）や、過去に訪問研修を実施した病院のフォローアップ研修（訪問研修フォロー

アップ)、病院の医療従事者が介護関係者の認知症ケアに対する考え方等を学ぶとともに、認知症対応の医療・介護関係者の共通認識を深め、医療・介護の連携強化を図るための研修（認知症対応に関わる医療・介護連携強化研修）を実施した。

なお、事業の実施にあたっては、認知症サポート医・認知症看護認定看護師をはじめ認知症に造詣が深い多様な職種で構成する病院認知症対応力向上事業検討委員会を設置し、研修事業についての企画・運営を行った。

1 病院認知症対応力向上事業検討委員会

a 委員・オブザーバー

委員

武田隆久、富田哲也、畑 典男、近藤泰正（以上、担当役員）、
澤田親男（北山病院院長・認知症サポート医）、
松岡照之（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学学内講師・認知症サポート医）、
西村伊三男（川越病院副院長・認知症サポート医）、
西村幸秀（京都九条病院介護事業部長統括医師・認知症サポート医）、
辰巳弥生（宇治おうばく病院看護師長・認知症看護認定看護師）、
山田亜由美（京都民医連中央病院病棟看護師長・認知症看護認定看護師）、
山出健博（長岡病院心理課主任補佐・臨床心理士）、
矢田部信行（いわくら病院地域連携室室長・精神保健福祉士）、
竹内嘉代（宇治おうばく病院・作業療法士）、
川添チエミ（一般財団法人仁風会財団本部介護保険・企画・教育・研修担当部長 主任介護支援専門員）

オブザーバー

中村早苗（京都府健康福祉部高齢者支援課・京都地域包括ケア推進機構課長補佐）
藤田大樹（京都府健康福祉部高齢者支援課・京都地域包括ケア推進機構主事）
黒木阿紀子（京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室地域包括ケア第二係長）
谷本 匡（京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室地域包括ケア第二係員）

b 開催日 7/8 2/25 計2回

2 事業実施実績

a 集合研修

京都府内の全ての病院の全職種を対象に、令和元年度は京都市内で5回、北部で1回、南部で1回実施した。毎回、認知症サポート医や認知症看護認定看護師など多職種の講師による講義と演習（事例検討等）を行い、全体で375名が受講した。

7月31日 於：メルパルク京都 受講者／44名

研修内容／厚生労働省の定めるカリキュラムにもとづく認知症の目的・対応力・連携の講義と、グループワーク形式による事例検討（以下、全日程で同様の内容）

講師／澤田親男（北山病院院長・認知症サポート医）

坂井加津美（北山病院看護介護部長・看護師）

川添チエミ（一般財団法人仁風会財団本部介護保険・企画・教育・研修担当部長
主任介護支援専門員）

9月30日 於：メルパルク京都 受講者／99名

講師／松岡照之（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学学内講師・認知症
サポート医）

山田亜由美（京都民医連中央病院病棟看護師長・認知症看護認定看護師）

矢田部信行（いわくら病院地域連携室室長・精神保健福祉士）

10月25日 於：サンプラザ万助（福知山市） 受講者／24名

講師／西村幸秀（京都九条病院介護事業部長統括医師・認知症サポート医）

西岡さおり（綾部市立病院・認知症看護認定看護師）

山出健博（長岡病院心理課主任補佐・臨床心理士）

11月5日 於：メルパルク京都 受講者／82名

講師／西村伊三男（川越病院副院長・認知症サポート医）

辰巳弥生（宇治おうばく病院看護師長・認知症看護認定看護師）

矢田部信行（いわくら病院地域連携室長・精神保健福祉士）

12月9日 於：宇治市産業会館 受講者／18名

講師／松岡照之（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学学内講師・認知症
サポート医）

辰巳弥生（宇治おうばく病院看護師長・認知症看護認定看護師）

竹内嘉代（宇治おうばく病院・作業療法士）

1月9日 於：メルパルク京都 受講者／56名

講師／西村伊三男（川越病院副院長・認知症サポート医）

山田亜由美（京都民医連中央病院病棟看護師長・認知症看護認定看護師）

竹内嘉代（宇治おうばく病院・作業療法士）

2月12日 於：メルパルク京都 受講者／52名

講師／澤田親男（北山病院院長・認知症サポート医）

坂井加津美（北山病院看護介護部長・看護師）

山出健博（長岡病院心理課主任補佐・臨床心理士）

b 訪問研修

令和元年度は京都市内の6病院で研修を実施した。各病院とも集合研修と同様の内容を2回に分けて実施し、1日目は認知症の目的・対応力・連携に関する講義、2日目はグループワーク形式による演習（事例検討等）を行い、全体で1日目は219名、2日目は179名が受講した。

（京都市内の病院）

・北区の病院

1日目 10月1日 受講者／21名

講師／澤田親男（北山病院院長・認知症サポート医）
坂井加津美（北山病院看護介護部長・看護師）
井上 基（北山病院相談室部長・精神保健福祉士）

2日目 11月5日 受講者／18名

講師／1日目と同様

・上京区の病院

1日目 10月31日 受講者／51名

講師／松岡照之（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学学内講師・認知症サポート医）

辰巳弥生（宇治おうばく病院看護師長・認知症看護認定看護師）

矢田部信行（いわくら病院地域連携室長・精神保健福祉士）

2日目 11月29日 受講者／47名

講師／1日目と同様

・左京区の病院

1日目 9月5日 受講者／22名

講師／西村幸秀（京都九条病院・認知症サポート医）

山田亜由美（京都民医連中央病院病棟看護師長・認知症看護認定看護師）

竹内嘉代（宇治おうばく病院・作業療法士）

2日目 10月11日 受講者／19名

講師／1日目と同様

・右京区の病院

1日目 10月1日 受講者／15名

講師／澤田親男（北山病院院長・認知症サポート医）

坂井加津美（北山病院看護介護部長・看護師）

井上 基（北山病院相談室部長・精神保健福祉士）

2日目 11月5日 受講者／10名

講師／1日目と同様

・西京区の病院

1日目 10月10日 受講者／77名

講師／西村伊三男（川越病院副院長・認知症サポート医）

川瀬美奈子（川越病院・看護師）

西村陸美（川越病院・精神保健福祉士）

2日目 12月12日 受講者／57名

講師／1日目と同様

・伏見区の病院

1日目 9月12日 受講者／33名

講師／西村伊三男（川越病院副院長・認知症サポート医）
田中雅子（川越病院看護部長・看護師）
西村睦美（川越病院・精神保健福祉士）

2日目 1月16日 受講者／28名

講師／1日目と同様

c 訪問研修フォローアップ

過去に訪問研修を実施した京都市以外の3病院で標記の研修を実施した。各病院とも1日目は認知症対応に関する個別の課題等を抽出するためのヒアリング等を実施し、2日目は1日目で把握した課題等を踏まえ、講師が研修内容を企画し、病院ごとに異なる内容で研修を実施した。

・南丹圏域の病院

1日目 9月5日 受講者／26名

講師／西村伊三男（川越病院副院長・認知症サポート医）

田中雅子（川越病院看護部長・看護師）

矢田部信行（いわくら病院地域連携室長・精神保健福祉士）

研修内容／事前アンケート結果に対する解説や、病院個別の課題等を抽出するための個人ワーク及びグループワーク、ヒアリング等（以下、全ての病院で同様の内容で実施）

2日目 12月5日 受講者／35名

講師／1日目と同様

研修内容／認知症の方の過ごしやすい環境づくりや、多職種カンファレンス、意思決定支援、当該病院における困難事例への対応方法（円滑なコミュニケーションの方法、徘徊する患者や易怒性の高い患者への対応、在宅での服薬管理等）等についての講義

・中丹圏域の病院

1日目 10月19日 受講者／27名

講師／西村幸秀（京都九条病院介護事業部長統括医師・認知症サポート医）

山田亜由美（京都民医連中央病院病棟看護師長・認知症看護認定看護師）

山出健博（長岡病院心理課主任補佐・臨床心理士）

2日目 3月7日

講師／1日目と同様

*新型コロナウイルスの影響により中止

・山城北圏域の病院

1日目 11月9日 受講者／27名

講師／松岡照之（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学学内講師・認知症サポート医）

辰巳弥生（宇治おうばく病院看護師長・認知症看護認定看護師）

竹内嘉代（宇治おうばく病院・作業療法士）

2日目 1月11日 受講者／23名

講師／1日目と同様

研修内容／認知症やせん妄の基礎知識、転倒・転落防止の安全グッズの活用方法、認知症患者に対する食事提供時の工夫、BPSDへの対応方法など、当該病院での実際の事例を踏まえた具体的な対応方法等についての講義

d 認知症対応に関わる医療・介護連携強化研修

令和元年度は、綾部市域の病院・介護サービス事業所の職員等を対象に研修会を開催した（山城南圏域でも同様の研修会を開催する予定で、企画・検討したが、新型コロナウイルスの影響により開催を中止した。）。研修会の開催に向けては、事前に打ち合わせ会議を実施し、当協会の検討委員が、地域の病院や介護サービスの関係者、保健所の認知症施策担当者等と意見交換（ヒアリング）を行い、地域における認知症患者の医療・介護連携における課題等を把握し、把握した課題等を踏まえて、研修会の内容を決定した。

研修会では、研修開催地域における認知症に係る取り組み（認知症初期集中支援チーム等）についての講義や、地域において病院と介護関係者が連携して認知症の方を支援した事例について、当該事例にかかわった病院・介護関係者からの報告、認知症への対応に関して、病院、介護サービス事業所、行政機関それぞれの立場で日頃より課題と感じていることや、他の職種や事業所に対して期待すること等について活発に意見交換を行い、地域全体で早期より認知症の方を支援するとともに、医療・介護サービスを切れ目なく提供する体制を構築するべく、医療・介護関係者の相互の連携をより深める場となった。

・綾部市域

事前打ち合わせ会議 10月9日 於：綾部市立病院 出席者／15名

研修会 2月8日 於：綾部市立病院 出席者／51名

講師／大島けい子（綾部市福祉保健部高齢者支援課課長補佐）

事例報告／河合敬子（京都協立病院リハビリテーション課主任・理学療法士）

大槻 亘（京都協立病院よりそい支援連携室課長・医療ソーシャルワーカー）

山口万紀（ふらむはあとリハマネジメント綾部管理者・主任介護支援専門員）

ファシリテーター／川添チエミ（一般財団法人仁風会財団本部介護保険・企画・教育・研修担当部長・主任介護支援専門員）

辰巳弥生（宇治おうばく病院看護師長・認知症看護認定看護師）

・山城南圏域

事前打ち合わせ会議 1月29日 於：学研都市病院 出席者／15名

研修会 3月14日 於：学研都市病院

*新型コロナウイルスの影響により中止

e 認知症対応力向上研修（集合研修・訪問研修）受講後の取組・成果に関するアンケートの実施

平成30年度の集合研修に特に多くの職員が受講した9病院において、研修受講後の各病院での取組、成果に関するアンケート調査を実施した。また、平成30年度に訪問研修を実施した6病院においても同様の調査を実施した。集合研修、訪問研修ともに受講前に比べて認知症の方への対

応や理解が進み、認知症の方の入院受け入れや多職種連携の意識が高まっていることが確認できる結果となった。

f 病院看護師のための認知症ケア講座

病院において身体疾患を有する認知症患者への対応力の向上が求められている中、認知症ケアの要である看護師を対象に、認知症患者のアセスメントや看護方法等の知識等を習得することを目的として開催した。なお、本講座は厚生労働省から診療報酬の認知症ケア加算2の施設基準の該当研修として認められている。両協会加盟病院から1日目には155名の看護師が受講し、2日目には154名の看護師が受講した。両日全ての講義を受講した154名が修了した。

9月25日 於：からすま京都ホテル 参加者／155名（61病院）

解 説

テーマ／「京都府地域包括ケア構想の概要」

講 師／真下信男（京都府健康福祉部医療課医務・看護担当課長）

第1章（90分） *休憩時間を除く（以下同様）

テーマ／「認知症の原因疾患と病態・治療」

講 師／澤田親男（北山病院院長・認知症サポート医）

第2章（140分）

テーマ／「入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術」（演習含む）

講 師／井上桂子（京都岡本記念病院・認知症看護認定看護師）

9月26日 於：からすま京都ホテル 参加者／154名（61病院）

第3章（120分）

テーマ／「コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法」（演習含む）

講 師／山田亜由美（京都民医連中央病院病棟看護師長・認知症看護認定看護師）

第4章（120分）

テーマ／「行動・心理症状（BPSD）、せん妄の予防と対応法」（演習含む）

講 師／辰巳弥生（宇治おうばく病院看護師長・認知症看護認定看護師）

第5章（80分）

テーマ／「認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援」

講 師／松岡照之（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学学内講師・認知症サポート医）

D 病院地域包括ケアシステム強化事業

当事業では、地域包括ケアシステムの推進に向けて、地域における病病・病診、医療・介護連携の更なる強化や、医療・介護の様々な知識・スキルを持ち幅広い視点で柔軟に地域包括ケアを担うことのできる病院職員の育成を図るべく、病院以外の関係者や各職種の行う取り組みを含めた様々な医療・介護提供体制等について、講義や病院以外の関係者も交えた活発な意見交換等を通じて理解を深めるための研修を実施している。

本事業の実施にあたっては、検討委員会を立ち上げ、研修の企画及び運営等について検討を行った。

1 病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員会の設置・開催

a 委員

久野成人、近藤泰正（以上、当協会役員）、川添チエミ（嵯峨野病院居宅介護支援事業所）、
甲田由美子（京都民医連中央病院）、勝尾一史（京都岡本記念病院）、
松本恵生（京都市岩倉地域包括支援センター）、日沖義治（京都博愛会病院）、
大島恭子（武田病院）、矢田部信行（いわくら病院）、柴田拓哉（京都久野病院）

b 開催日

7/11 2/26 3/19 計3回

2 主な活動

a 地域包括ケア推進人材育成推進研修

地域包括ケアシステムの推進に向けて病院以外の各職種や関係機関が行っている取り組みを含めた様々な医療・介護提供体制等について、病院以外の関係者を交えた講義や実践的なグループディスカッション等を通じて理解し、幅広い知識・スキルをもって地域包括ケアシステムの推進により貢献できる病院職員を育成するべく、6回シリーズの標記研修を行った。

①10月28日 於：メルパルク京都 参加者／104名

*京都地域包括ケア推進機構の「あんしん病院と地域の医療・介護関係者連携推進研修会」
との合同開催（本研修への参加者を含め、全体で225名が参加）

1) テーマ／「地域包括ケアシステムの推進について～京都府地域包括ケア構想（地域医療
ビジョン）の概要～」

講 師／真下信男（京都府健康福祉部医療課医務・看護担当課長）

2) テーマ／「在宅療養あんしん病院登録システムの概要について」

講 師／山内拓也（京都地域包括ケア推進機構事務局）

3) テーマ／「在宅療養あんしん病院登録システム等を活用した入退院支援の状況について」

講 師／①高杉華晋（洛陽病院管理部地域医療連携室主任）

②村上喜美恵（宇治病院法人連携部部長）

③久須窪充仁（堀川病院地域医療連携室副室長）

天野志津子（堀川病院地域医療連携室退院支援看護師）

②11月25日 於：登録会館 参加者／98名

1) テーマ／「認知症のある患者等の意思決定支援について」

講 師／長谷川美智子（京都民医連中央病院看護師長・老人看護専門看護師）

2) テーマ／「病院で行うアドバンス・ケア・プランニング（人生会議）」

講 師／田中 誠（たなか往診クリニック院長）

③12月18日 於：メルパルク京都 参加者／94名

テーマ／「地域包括ケアシステム等の推進に向けた取り組みについて（医療ソーシャル
ワーカーの立場から）」

講 師／南本宜子（済生会京都府病院福祉相談室長）

④ 1月30日 於：メルパルク京都 参加者／90名

1) テーマ／「介護保険制度における施設・居住系サービス等の活用について」

講 師／川添チエミ（嵯峨野病院居宅介護支援事業所福王子在宅事業部在宅管理者）

2) テーマ／「精神疾患の理解と支援方法について」

講 師／矢田部信行（いわくら病院地域連携室長）

⑤ 2月6日 於：登録会館 参加者／87名

テーマ／「在宅復帰に向けて多職種でかかわる家屋訪問等に関する事例検討等」

講 師（ファシリテーター）／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

※ 1～4日目は、講義内容等に関するグループワークを実施。また、病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員2名がファシリテーターを担当。

* 6日目（3月11日）は新型コロナウイルスの影響により中止

b 地域連携強化推進研修

病院の地域連携担当者等多職種と、病院以外の介護保険施設・居宅サービス事業所等の関係者が一同に会し、活発な意見交換等の実施により、地域包括ケアシステムの推進に向けた共通認識を深め、円滑な医療・介護連携及び病病・病診連携を図ることを目的に、前期（9～11月）と後期（1～3月）に分けて研修を開催した。

前期 1日目 10月11日 於：登録会館 参加者／36名

1) テーマ／「いつか来るその時のために（私の思い）」

講 師／清水義博（京都岡本記念病院副院長）

2) テーマ／「舞鶴市における医療・介護連携の現状」

講 師／尾橋淳子（舞鶴市福祉部高齢者支援課主査）

2日目 11月7日 於：メルパルク京都 参加者／35名

テーマ／「臨床倫理4分割法を用いたグループワーク等（退院時カンファレンスを模した実践的な内容等）」

講 師／川島篤志（市立福知山市民病院総合内科医長）

3日目 12月23日 於：メルパルク京都 参加者／34名

内 容／①研修1日目、2日目の振り返り

②入退院時の連携に関し、自施設の状況や自らの職種の立場で行う取組等についてのグループワーク

講 師（ファシリテーター）／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

後期 1日目 1月24日 於：TKP 四条烏丸カンファレンスセンター 参加者／36名

2日目 2月20日 於：メルパルク京都 参加者／32名

* 前期・後期ともに、各日程同じテーマ・講師で開催。

* 全日程でグループワークを実施。また、1日目、2日目は病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員2名がファシリテーターを担当。

*後期3日目（3月30日）は新型コロナウイルスの影響により中止

c 京都府内病院地域連携室窓口一覧名簿の運営

円滑な入退院時の調整、および在宅医療・介護の連携体制を強化すること等を目的として、平成27年度「在宅医療・介護連携体制支援事業」にて立ち上げた上記名簿閲覧サイトの運営を行った。

E 地域連携型在宅医療支援病院事業

少子高齢化社会に向けて、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な訪問診療を提供することが重要である。

京都府は、病院が訪問診療を行うことを目的として、院外関係者も含めた病診連携、病介連携を円滑に行なうための多職種研修を実施した京都市以外に所在する会員病院（以下、市外会員病院）に対し、その研修に要する経費の一部を補助する事業「地域連携型在宅医療支援病院事業」を平成30年度に策定した。2年目となる令和元年度においても当協会が事業実施を受託し、市外会員病院における地域の各種団体と連携を図り在宅医療人材の育成及び拠点整備等を行う病院の支援を行った。

対象施設	3施設
各施設での研修費用総額	2,083,902円
補助金額	2,517,864円（事務経費含む）

VII 人材確保・定着への取り組み

民間病院における看護師不足が一層深刻化する中、京都私立病院協会では、京都府・京都市に対し、看護職員の潜在化を防止するとともに、再就業支援のための予算措置を要望し続けている。その結果、京都市では平成23年度に離職後の看護職員（以下、「退職看護職」とする）の再就業のための研修を病院が実施した経費を補助する「離職看護師能力再開発事業」が策定され、当協会が運営事務を受託している。

京都府では平成24年度に退職看護職の再就業を支援する「看護人材確保支援事業」（現「看護人材早期復職支援事業」）が策定されるとともに、医療・介護・福祉の関係団体、行政で運営している「きょうと介護・福祉ジョブネット」の「看護職確保プロジェクトチーム」も継続発展して設置され、これらの事業実施・運営事務も受託し、各種事業を展開してきた。

令和元年度も引き続き、京都府地域医療介護総合確保基金事業として、医師事務作業補助者の養成（医療従事者勤務環境改善体制整備事業）、潜在薬剤師の復職支援（医療従事者確保強化事業：きょうと薬剤師サポートネット）、看護補助者の確保にも取り組んだ。

平成27年1月からは、「京都府医療勤務環境改善支援センター」に係る事業を京都府から受託し、当協会事務局の向かい側にセンターを開設している。また、センターの開設に伴い、京都労働局より

「医療労務管理相談コーナー」も運営を受託している。病院事務長経験者の勤務環境改善推進員と常勤の社会保険労務士を配置して府内医療機関での勤務環境改善を推進することにより、人材確保・定着に寄与するべく、個別支援・相談対応等を行っている。勤務環境改善を行うために必須である経営改善に資する研修はセンター発足時から継続して開催しており、平成29年1月からは、医療勤務環境改善マネジメントシステム推進のための「京都いきいき働く医療機関認定制度」を推進している。(各々詳細別記)

A 京都府医療勤務環境改善支援センター事業

平成26年6月の医療法改正により、医療機関の管理者が勤務環境改善の措置を講じることが求められ、都道府県で医療機関の勤務改善を促進するための支援をするべく、拠点機能を持つ医療勤務環境改善支援センターの設置が義務づけられた。これに伴い、京都府は平成27年1月に「京都府医療勤務環境改善支援センター」(以下、「センター」)を設置し、当協会がセンターの運営を受託した。

センターの業務内容は、勤務環境改善に取り組む医療機関への個別支援・相談対応、勤務環境改善に関する研修会の実施、医療環境マネジメントシステムの普及・導入支援活動等が挙げられる。

令和元年度は、府内の会員病院を中心に病院訪問の実施、医療従事者の確保・定着に資するための研修として「医療従事者確保・定着のための経営・勤務環境改善研修」を病院の理事長・院長・事務長・看護部長をはじめ経営・労務の管理職を対象に全3回開催した。その他、必要に応じてセンター常駐の社会保険労務士、勤務環境改善推進員による個別相談対応等を行った。

また、病院職員のモチベーション向上や人材確保・定着に資することを目的とし、府内の病院が雇用の質向上に取り組むことを宣言・公表して、勤務環境改善に取り組む病院をセンターが認定を行う「京都いきいき働く医療機関認定制度」について宣言病院、基本認定取得病院ともに着実に増えており、平成元年6月より上位認定①を開始し、認定取得に向けてさらなる支援を行っている。

他にも、医療機関が医師等の労働時間短縮を目的とした機器の導入費用を特別償却の対象とするための内容確認や、当センターの取り組みを全国的な学会の場で発表し、他の都道府県に周知する等、幅広く活動を行っている。

1 京都府医療勤務環境改善支援センター運営委員会

a 委員 (*はオブザーバー)

清水鴻一郎、石丸庸介、清水 聡、清水史記、真鍋由美 (以上、担当役員)、山田正明、古田智史 (以上、事務長会)、高橋鈴子、寺才元泰代 (以上、看護部長会)、馬瀬久宜 (薬剤師部会)、滋岡嘉弘 (勤務環境改善推進員)、松尾治樹 (京都府健康福祉部医療課主幹兼係長)*、緒林祐祐 (京都府健康福祉部医療課副主査)*、山中広嗣 (京都労働局雇用環境・均等室室長補佐)*

b 開催日 7/26 12/20 3/24 計3回

2 事業実施実績

a 医療従事者確保・定着のための経営・勤務環境改善研修（3回）

9月19日 於：メルパルク京都 参加者／141名

※本研修会は【厚生労働省医政局医療経営支援課 医療勤務環境改善推進室からの通知に基づく研修会】として開催。

テーマ ①「労働時間法制の見直し等について」

②「医師の働き方改革と京都府の取り組みについて」

講師 ①黒川仁晴（京都労働局労働基準部監督課地方労働基準監察監督官）

②丸毛信樹（京都府健康福祉部医療課課長）

10月3日 於：登録会館 参加者／70名

テーマ 「医療側から見た働き方改革について」

講師 馬場武彦（医師の働き方改革の推進に関する検討会委員・社会医療法人ペガサス理事長）

11月21日 於：登録会館 参加者／33名

テーマ 『動き始めた2040年の展望、その手前の三位一体改革』

～「健康寿命延伸プラン」と「医療・福祉サービス改革プランが目指すもの」～

講師 石井孝宜（石井公認会計士事務所所長・公認会計士）

b 病院訪問（30病院）

c 「京都いきいき働く医療機関認定制度」の運用（令和2年3月末時点）

いきいき働く医療機関宣言 85病院

いきいき働く基本認定病院 40病院

d 京都府医療勤務環境改善支援センター news の発刊（毎号500部）

e 医療機関からの個別相談対応 54件

f 医療機器導入における特別償却制度の対応 2件

g 学会発表

第69回日本病院学会 8月1日～2日

於：札幌コンベンションセンター・札幌市産業振興センター

（武田隆久、石丸庸介、津崎桂子、吾郷晋一）

第61回全日本病院学会 in 愛知 9月28日～29日

於：名古屋国際会議場（武田隆久、石丸庸介、竹内 誠、臂谷亮輔）

h 支援体制強化のための研修会等への参加

都道府県医療勤務環境改善担当課長会議 5月20日 於：厚生労働省（津崎桂子）

医療勤務環境改善支援センターアドバイザー向け研修会 6月28日

於：AP 品川（臂谷亮輔、吾郷晋一）

医療勤務環境改善支援センターブロック研修会 10月18日

於：TKP 新大阪ビジネスセンター（臂谷亮輔、吾郷晋一）

B 医療労務管理支援事業

本事業は労働局の委託事業で医療勤務環境改善支援センターを運営している当協会が受託し、医療労務管理相談コーナーを開設して医療管理アドバイザーを配置し、労務管理全般に対する相談、労働基準関係法令に関する照会、勤務環境改善計画の策定、実施、評価等を支援し、相談対応を行った。また、京都労働局、公益社団法人京都府看護協会の共催で医療勤務環境改善研修会を開催し、医療機関による積極的な勤務環境改善の促進に努めた。

1 事業実施実績

a 医療勤務環境改善研修会「多職種の働き方改革について」

(共催：京都労働局、公益社団法人京都府看護協会)

北部地域開催 7月18日 於：サンプラザ万助 参加者／95名

京都市内・南部地域開催 12月12日 於：メルパルク京都 参加者／92名

※両日とも同様の内容で開催

基調講演／「医療機関における働き方改革と勤務環境改善の取組み」

講師／深澤理香（深澤社会保険労務士事務所特定社会保険労務士）

事例発表／事務部門 上田敏勝（京都第二赤十字病院事務部長）

看護部門 坂田 薫（京都民医連中央病院看護部長）

b 周知・広報活動

C 看護人材早期復職支援事業

当協会役員と会員施設で看護人材確保を担当する看護・事務担当者、京都府で構成する看護人材確保支援事業検討委員会を設置し、退職看護職の登録制度（つながりネット）の推進と就業支援の方策を検討し、具体的事業の企画・検討を行った。

京都府内の病院を中心に退職看護職の登録推進に努めるとともに、令和元年度も新規登録者の増加のために京都市域のファミリー世帯に配架される生活情報誌への記事広告掲載に加え、SNSを活用しての広報を強化し、登録に一定の成果を上げた。登録看護職には、セミナー・交流会の毎月開催、見学ツアーの開催、関係団体や病院等が行う再就業支援講習の紹介により、キャリア維持と就業意欲の高揚に努め、当協会専属の就業支援コーディネーターが登録看護職に寄り添って相談対応や情報提供等、再就業のための様々な支援を行った。

さらには、きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム（以下、「看護職確保プロジェクトチーム」とする）と連携し、医療・介護・福祉業界が一体となって登録制度の推進と就業支援に取り組んだ。休職中の登録看護職で再就業の意志のある者には、当協会無料職業紹介メデイワークセンターや京都府ナースセンターなど、安心して利用できる職業紹介機関に繋げ、登録看護職のライフスタイルや希望に沿った再就業先を斡旋した。その結果、令和元年度は新たに100名の登録に繋げ（累計935名）、そのうち27名（累計264名）の再就業を実現した。

1 看護人材早期復職支援事業検討委員会

a 委員（*はオブザーバー）

富士原正人、武田隆久、茨木孝二（以上、担当役員）、海藻 達（事務長会）、
北村周士（医療法人三幸会理事）、植村ひかる（田辺中央病院看護部長）、
田中和也（医療法人清仁会本部人事部副部長）、山本美紀（武田病院看護部長）、
豊島博子（京都府健康福祉部医療課医務・看護担当主幹兼係長）*、
村田綾香（京都府健康福祉部医療課医務・看護担当主事）*

b 開催日 11/12 3/16 計2回

2 事業実施実績

a 就業支援コーディネーターを配置し、会員施設、関係団体、関係施設に退職看護職の登録制度推進の普及活動、つながりネット登録看護職の現状把握、相談対応、就業支援等を実施

就業支援コーディネーター：渋谷藍子

b 登録看護職対象セミナー・交流会の開催

（*以下の回数は平成24年度からの通算）

第81回 4月15日 於：私病協会議室 参加者/22名

テーマ/「ちょっと気になる排泄支援とは？」

講師/山下和典（作業療法士/メディアケア・リハビリ訪問看護ステーション京都）

第82回 5月21日 於：私病協会議室 参加者/26名

テーマ/「ストレスとうまくつきあっていますか？～こころのセルフケアを考えましょう」

講師/片桐陽子（臨床心理士/栄仁会京都駅前メンタルクリニック復職トレーニング専門
デイケアバックアップセンター・きょうと）

第83回 6月18日 於：私病協会議室 参加者/26名

テーマ/「症例から振り返る～褥瘡の予防ケア～」

講師/植村陽子（皮膚排泄ケア認定看護師/三菱京都病院）

第84回 7月9日 於：私病協会議室 参加者/28名

テーマ/「症例から振り返る～褥瘡治療について～」

講師/植村陽子（皮膚排泄ケア認定看護師/三菱京都病院）

第85回 8月21日 於：私病協会議室 参加者/20名

テーマ/「緩和ケアを知ろう～ホスピスでの緩和ケアについて～」

講師/石坂絵美（緩和ケア看護認定看護師/薬師山病院）

特別講座 9月6日 於：（専）京都中央看護保健大学校 参加者/7名

テーマ/「看護実践に役立つボディメカニクスの基礎を学ぼう！」

講師/池田万喜子（看護保健学科副学科長/（専）京都中央看護保健大学校）

第86回 9月17日 於：私病協会議室 参加者/31名

テーマ/「認知症高齢者のコミュニケーション方法について」

講師/山田亜由美（認知症看護認定看護師/京都民医連中央病院）

第87回 10月17日 於：私病協会議室 参加者／30名

テーマ／「がん化学療法看護における意思決定支援」

講師／小杉雅美（がん化学療法看護認定看護師／田辺中央病院）

第88回 11月13日 於：私病協会議室 参加者／22名

テーマ／「訪問看護師が行う意思決定支援」

講師／山本かおり（訪問看護認定看護師／訪問看護ステーションみなみ）

第89回 12月19日 於：私病協会議室 参加者／18名

テーマ／「輸液・シリンジ等を安全に使用するために～トラブル事例の体験型研修～」

講師／濱田祐吾（テルモ株式会社 安全情報管理部）

第90回 1月23日 於：私病協会議室 参加者／20名

テーマ／「アロマオイルを美容から抗菌までライフスタイルに彩りを」

講師／齋藤国子（AHCP アロマセラピスト・看護師／大島病院）

第91回 2月25日 於：私病協会議室

テーマ／「職業感染対策～働く環境、どこが危ない？～」

講師／谷山絵梨子（感染管理認定看護師／三菱京都病院）

*新型コロナウイルスの影響により中止

第92回 3月11日 於：私病協会議室

テーマ／「はじめてのアンガーマネジメント」

講師／井上泰世（株式会社ナースハート）

*新型コロナウイルスの影響により中止

c 病院、医療・介護・福祉関係団体等が行う再就業支援のための研修等の受講機会の提供

紹介件数／8件

参加人数／20名

d パソコン版及び携帯端末版 Web サイトの運用促進

e 京都病院学会等でのリーフレット・チラシ配布

f 登録看護職の再就業に係るアンケート調査の実施及び課題分析

g 登録看護職へのメルマガ配信

配信実績／29通

h 再就業希望者への就業斡旋機関（メディワークセンター、ナースセンター、福祉人材・研修センター、ハローワーク）の紹介

i つながりネット登録者、再就業者実績（令和2年3月31日現在）

登録者／100名（累計935名） 再就業者／27名（累計264名）

D きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム

看護職確保プロジェクトチームでは、きょうと介護・福祉ジョブネットに参画する医療・介護・福祉の各団体、行政が協働して「看護人材早期復職支援事業」での退職看護職の登録制度（つなが

りネット)の推進や再就業支援に取り組み、オール京都体制での看護職確保に取り組んでいる。

令和元年度の看護職確保プロジェクトチームにおいても、各団体・行政が協力してつながりネットの登録推進・普及活動に努めた。毎月の登録看護職対象のイベント・交流会には当プロジェクトチームのメンバーも参加し、登録看護職から再就業への不安や現状の悩み等を聞き、再就業の意欲が沸くように励ましやサポートを行った。また、Webサイト上では毎月、様々な看護現場で働く看護職の働き方・仕事の魅力を発信や、介護・福祉施設・事業所の見学受入施設一覧を掲載もしており、こうした取組を通じて介護・福祉業界への関心も向くように努めている。

1 きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム

a 委員 (*はオブザーバー)

茨木孝二 (担当役員)、松下智子 (京都府老人福祉施設協議会)、
吉田知壽留 (京都市老人福祉施設協議会)、小崎辰也 (京都府介護老人保健施設協会)、
廣幡頭一 (京都知的障害者福祉施設協議会)、野々口義也 (京都府社会福祉協議会)、
林 千鶴子 (京都府看護協会)、山本かおり (京都府訪問看護ステーション協議会)、
中原理恵 (京都西陣公共職業安定所)、
豊島博子 (京都府健康福祉部医療課医務・看護担当主幹兼係長)*、
村田綾香 (京都府健康福祉部医療課医務・看護担当主事)*、
水足麻衣子 (京都府健康福祉部介護・地域福祉課)*

b 開催日 8/5 1/31 計2回

2 事業実施実績

a 医療・介護・福祉の看護現場の魅力発信 (Webサイト上で公開)

平成31年4月 小規模多機能ホームまごころ城陽
令和元年5月 田辺記念病院
令和元年6月 京丹後市立弥栄病院
令和元年7月 高齢者介護施設上桂
令和元年8月 訪問看護ステーションみなみ
令和元年9月 平成老人保健施設
令和元年10月 乙訓ひまわり園
令和元年11月 悠育助産院
令和元年12月 介護老人福祉施設にしがも舟山庵
令和2年1月 訪問看護ステーションゆりかもめ
令和2年2月 介護老人保健施設シミズふないの里
令和2年3月 社会福祉法人よさのうみ福祉会つむぎ 計12名

b 多様な看護現場の見学機会の提供、職場見学ツアーの実施

職場見学会参加者数/5名 (3施設・事業所)

c ジョブネット参画団体・事業者が実施する看護職対象イベントの情報提供

看護職対象イベント掲載件数/8件

d メディアを活用した介護・福祉現場の特徴・働き方・魅力の発信
リビング京都掲載 10月5日、2月1日

*看護人材早期復職支援事業と重複する内容は省略

E 京都市離職看護師能力再開発事業

看護職員の資格を持ちながら仕事に就いていない離職看護師の数は、厚生労働省によると全国で約60万人以上いると予想されている。子育てや家事との両立が難しい、ブランクがあり不安、看護内容や労働時間への不満など、看護師として働いていない理由はさまざまであるが、近年ワークライフバランスの充実に取り組む病院もあり、離職看護師の再就業が期待されている。

京都市は離職看護師の再就業を支援し京都市内の医療機関の看護師確保に資するため、病院が実施した研修に要する経費の一部を補助する「離職看護師能力再開発事業」を平成24年度より実施している。8年目となる令和元年度も事業実施を当協会が受託し、離職看護師能力再開発研修を実施した市内会員施設への再就業支援に努めた。

対象施設	3施設
各施設での研修費用総額	140,311円
補助金額	500,000円（事務経費含む）

F これからの社会保障を考えるセミナー

2025年に向けての医療・介護提供体制の構築に対応し得る組織づくりと医療従事者の確保・定着は、病院経営者・経営に携わる管理職としての重要な役割であり、病院の理事長・院長・事務長・看護部長をはじめ、経営・労務の管理職を対象として、地域医療構想、地域包括ケアシステムの実現に必要な病床機能の充実・転換を図るために、医療政策の今後の方向性や経営改善を考え、医療従事者の確保・定着にもつなげる研修を開催した。

Part 1 6月22日 於：TKP 京都四条駅前カンファレンスセンター 参加者／73名

テーマ／「働き方改革とこれからの医療提供体制」

講師／北波 孝（厚生労働省医政局総務課長）

Part 2 10月19日 於：TKP 京都四条駅前カンファレンスセンター 参加者／69名

テーマ／「2040年を見据えた社会保障の課題と展望～全世代型社会保障の今後～」

講師／伊原和人（厚生労働省政策統括官（総合政策担当））

Part 3 3月8日 於：京都烏丸コンベンションホール 参加申込者／262名

テーマ／「令和元年度診療報酬改定について」

講師／森光敬子（厚生労働省保険局医療課長）

*新型コロナウイルスの影響により中止（参加申込者には資料を提供）

Part 4 3月27日 於：私病協会議室 参加申込者／250名

テーマ／「令和元年度診療報酬改定への対応」

講師／中林 梓（株式会社 ASK 梓診療報酬研究所所長）

*新型コロナウイルスの影響により無観客で当日収録した講演を動画配信
参加申込者に資料を提供

G 医療従事者勤務環境改善体制整備事業

医師が診療業務に専念できる勤務環境を確保し、医療の質向上を図るべく、医師が行う業務のうち、カルテの入力・診断書や退院サマリーの作成等の事務的作業を代行する医師事務作業補助者の養成を目的とした事業として「医師事務作業補助研修会」を実施した。研修終了者には診療報酬の医師事務作業補助体制加算の施設基準に定める32時間の研修要件を修了したことを証明する修了証を交付した。

1 医師事務作業補助者研修運営委員会

a 委員

武田隆久、仲田昌司（以上、担当役員）、宝輪克博、西海和成、廣瀬良太、
荒井達雄（以上、事務長会）

b 開催日 1/9 3/12（中止） 計1回

2 事業実施実績

a 医師事務作業補助者研修会

本研修では、医師の負担を軽減し、勤務環境の改善を図るため、各医療機関が医師の事務作業を代行する医師事務作業補助者を配置することができるように養成研修を実施した。

受講者／73名 修了者／69名

1日目 6月16日 9：00～18：20 於：メルパルク京都

研修内容 第4章「保険診療概要」

講師：仲田昌司（三菱京都病院事務長）

第1章「医師事務作業補助者のあり方と接遇・個人情報の保護」

講師：枝光尚美（大阪母子医療センター診療情報管理室室長）

2日目 6月23日 9：00～18：50 於：登録会館

研修内容 第3章「医療情報システムと電子カルテ（診療録の記載・管理・がん登録含む）」

講師：井關博喜（洛和会ヘルスケアシステム本部医療情報部次長）

第7章「医療安全」

講師：南川哲寛（京都岡本記念病院副院長）

第6章「感染対策」

講師：清水 聡（京都南病院理事長）

3日目 6月30日 9：00～18：50 於：登録会館

研修内容 第5章「医師法、医療法、薬事法、健康保険法等の関連法規の概要」

講師：藪本恭明（大阪国際総合法律事務所弁護士・医師）

第8章「薬剤の基礎知識（処方箋の知識）」

講師：守谷まさ子（綾部ルネス病院薬剤科長）

第6章「医学一般」

講師：石丸庸介（田辺中央病院理事長）

第9章「検査一般の知識（放射線部門）」

講師：茶谷和真（田辺中央病院放射線科科長）

4日目 7月7日 9：00～18：30 於：登録会館

研修内容 第10章「診断書・証明書等の実務」

講師：中山和則（筑波メディカルセンター病院副院長・事務部長）

第9章「検査一般の知識（臨床検査部門）」

講師：増田信弥（京都民医連中央病院検査技術課課長）

第2章「診療支援業務と配置部署における診療の流れ」

講師：北岡有喜（京都医療センター医療情報部部长）

補講 8月20日 9：00～18：30 於：私病協会議室

第10章「診断書・証明書等の実務」

第9章「検査一般の知識（臨床検査部門）」

第2章「診療支援業務と配置部署における診療の流れ」

H 医療従事者確保強化事業

不足する病院医療従事者（薬剤師・看護補助者等）の人材確保を図るべく平成27年度より医療従事者確保強化事業を実施している。病院薬剤師等医療人材育成・確保事業では、退職薬剤師の登録制度の普及と病院への就業実現のための支援に努めている。本事業では令和元年度も、将来の病院薬剤師を確保するべく薬学部学生向けのチラシを薬剤師養成大学へ送付したほか、生活情報誌やメディアサイトに記事広告を掲載するとともに、きょうと薬剤師サポートネットの公式 Facebook の運営、LINE を活用した広告展開する等、登録制度の普及に努めた。当協会薬剤師部会運営委員会と連携して、休職中・薬学部学生の登録薬剤師のためのセミナーを定期開催するとともに、見学受入施設への見学を積極的に勧めて就労意欲を高め、就労支援に繋げる等、病院薬剤師の魅力を発信し続けた。その結果、25名がサポートネットに登録した。また、看護補助者確保推進事業では、過去に看護補助者であった者や未経験の者に対して看護補助者の業務内容、働きがい等を広く発信し、病院への就業意欲促進に努めた。本事業では令和元年度も、一般市民を対象とした講習会を開催し看護補助者で働く事についての魅力発信に努めた。カリキュラムには現役の看護補助者による講義を取り入れ、参加者からの質疑にも対応するなどして、就業する上での不安軽減を図った。加えて、病院見学会も企画し、看護補助者の業務への理解を深める環境を整えた。結果、25名が講習会に参加した。

1 病院薬剤師等医療人材育成・確保事業

1) 医療従事者確保強化事業検討委員会

a 委員

畑 典男、茨木孝二（以上、担当役員）、浅野育子、大津山裕美子、佐藤和生、

沼田多重（以上、薬剤師部会）

b 開催日 8/28 11/14 計2回

2) 事業実施実績

- a 関係団体、病院等関係施設への退職薬剤師の登録制度推進の周知活動
- b パソコン版及び携帯端末版 Web サイトの運用促進
- c 登録推進リーフレット、ポスターの配布
- d 薬学部学生向けチラシ、ノベルティボールペンの作成、配布による普及活動
- e 未就業（潜在）薬剤師への広報

リビング京都への記事広告の掲載 10月5日、2月1日

f 登録薬剤師のためのセミナー・交流会の開催

第37回 5月27日 於：私病協会議室 参加者／5名

テーマ／「病棟業務について」

講師／益野秀樹（京都久野病院薬剤部長）

中山太一（蘇生会総合病院薬剤部副主任）

第38回 6月21日 於：私病協会議室 参加者／4名

テーマ／「がん治療における基礎知識と抗がん剤治療における薬剤師の役割」

講師／友沢明德（京都九条病院薬剤部長）

松本 剛（三菱京都病院薬剤部）

第39回 7月26日 於：私病協会議室 参加者／2名

テーマ／「認知症の治療と薬物療法の注意点」

講師／沼田多重（西山病院薬局長）

守谷まさ子（綾部ルネス病院薬剤科長）

第40回 9月25日 於：私病協会議室 参加者／5名

テーマ／「血中濃度・薬物動態」

講師／大津山裕美子（洛和会音羽病院薬剤部課長）

守谷まさ子（綾部ルネス病院薬剤科長）

第41回 10月24日 於：私病協会議室 参加者／7名

テーマ／「薬剤師さんのための医療安全」

講師／佐藤和生（日本バプテスト病院薬局長代行）

沼田多重（西山病院薬局長）

第42回 11月26日 於：私病協会議室 参加者／7名

テーマ／「大腸がん 入院から外来化学療法まで」

講師／堀 真紀（京都九条病院薬剤部課長）

橋元 誠（三菱京都病院薬剤部長）

第43回 12月12日 於：私病協会議室 参加者／5名

テーマ／「ライフステージ別の薬剤師の関わり～妊婦・小児・高齢者・終末期～」

講師／佐藤和生（日本バプテスト病院薬局長代行）

浅野育子（京都民医連あすかい病院薬剤課）

第44回 1月29日 於：私病協会議室 参加者／6名

テーマ／「注射液の混合（ミキシング）」

講師／馬瀬久宜（医仁会武田総合病院薬局長）

紺谷智子（武田病院薬局）

第45回 2月20日 於：私病協会議室 参加者／11名

テーマ／「感染対策について」

講師／浅野育子（京都民医連あすかい病院薬剤課）

中山太一（蘇生会総合病院薬剤部副主任）

g 登録薬剤師へのメルマガ配信

配信回数 36回

h 病院薬剤師の働き方・魅力発信

i 病院見学受け入れ施設の募集（令和2年3月31日現在）

受入可能／59病院

見学実績／2病院

j 薬剤師サポートネット登録者、職業紹介機関への登録実績（令和2年3月31日現在）

登録者／25名（累計121名）

京都私立病院協会無料職業紹介機関ネットワークセンターへの登録実績／4名（累計10名）

2 看護補助者確保推進事業

1) 事業実施実績

a 看護補助者として働いてみたい方（一般市民）への講習会の開催

テーマ／「病院で働いてみませんか～資格がなくても大丈夫～」

第1回目 4月23日 於：私病協会議室 参加者／7名

講師／塚本美晴（医仁会武田総合病院看護部長）

山北イク子（稲荷山武田病院看護補助者）

千頭あすか（京都桂病院看護補助者）

潮見佳苗（相馬病院看護補助者）

第2回目 9月13日 於：市民交流プラザふくちやま 参加者／5名

講師／小河陽子（京都きづ川病院看護部長）

高原晋子（もみじヶ丘病院看護補助者）

井根千鶴子（宮津武田病院看護補助者）

北野奈々（京都ルネス病院看護補助者）

第3回目 2月17日 於：私病協会議室 参加者／13名

講師／矢田貴子（堀川病院看護部長）

呉山好子（京都回生病院看護補助者）

名田泰子（新河端病院看護補助者）

吉原智子（三菱京都病院看護補助者）

b 講習会参加者、職業紹介機関への登録実績（令和2年3月31日現在）

講習会参加者／25名（累計262名）

京都私立病院協会無料職業紹介機関ネットワークセンターへの登録実績／2名（累計17名）

【学術研修部】

I 京都病院学会

A 第54回京都病院学会

第54回京都病院学会は、池坊短期大学を会場として開催し、発表会場数は10会場で実施した。毎年、当協会と京都府病院協会が主担当を交代しており、第54回は京都府病院協会が主担当を担った。メインテーマ（要望演題）は「地域包括ケアの充実に向けた医療連携」が設定され、基調講演とシンポジウム形式で各医療機関における取り組みについて発表及び討論が行われた。また、継続して検討すべき課題に対してディスカッションを行う場としている継続演題のテーマについては「人生の最期により添う」とした。医師、看護、介護地域連携、薬剤、放射線、臨床検査、臨床工学、栄養管理、リハビリテーション、事務それぞれの部門で合計507題の演題発表があり、活発な討論が行われた。参加者数は2,404名であった。

学会の運営は、学会長及び実行委員長を中心に、両協会の学会担当理事をはじめ、会員病院および府下の各職能団体等から派遣された実行委員、準備委員によって行われ、今回も両協会に加盟する施設職員で作り上げ、大きな成果を上げた学会となった。

開催日時：6月9日（日） 9：00～17：00

会場：池坊短期大学

参加者総数：2,404名

一般発表演題：507題

テーマ・要望演題：「地域包括ケアの充実に向けた医療連携」

特別講演：「京都府における地域医療構想と地域包括ケアの課題」

講師：松田晋哉（産業医科大学医学部公衆衛生学教授）

基調講演：「長寿社会の課題と可能性」

講師：秋山弘子（東京大学名誉教授・一般社団法人高齢社会共創センターセンター長）

1 学会役員

学会長：辰巳哲也（京都中部総合医療センター）

副学会長：山下俊幸（京都府立洛南病院）、清水鴻一郎（京都リハビリテーション病院）

実行委員長：池田栄人（京都第一赤十字病院）

副実行委員長：藤澤明生（賀茂病院）

理事：若園吉裕（京都桂病院）、尼川龍一（日本バプテスト病院）、
島崎千尋（京都鞍馬口医療センター）、岡田 純（脳神経リハビリ北大路病院）、
小森直之（なぎ辻病院）、石丸庸介（田辺中央病院）、近藤泰正（堀川病院）、
清水 聡（京都南病院）

監事：小林 裕（京都第二赤十字病院）、富田哲也（富田病院）

2 実行委員

事務部門：野中 平（京都中部総合医療センター）、外川敬介（京都リハビリテーション病院）

看護部門：川勝智子（京都中部総合医療センター）、田中由美子（京都第一赤十字病院）、
南 京子（新京都南病院）、植村ひかる（田辺中央病院）

介護地域連携部門：平井久美子（京都中部総合医療センター）

薬剤部門：濱名麻衣子（京都民医連あすかい病院）

臨床検査部門：増田哲也（愛生会山科病院）

臨床工学部門：太田雅文（宇治徳洲会病院）

栄養管理部門：四方達二（京都南病院）

放射線部門：新井 喬（宇治徳洲会病院）

リハビリテーション部門：井上直人（京都医療センター）、梅原久活（宇治おうばく病院）、
岸本紀和（十条武田リハビリテーション病院）

学校教務：大井ゆかり、小西靖志（京都保健衛生専門学校）、
上山みゆき（（専）京都中央看護保健大学校）

B 第55回京都病院学会の開催に向けて

第55回学会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から WEB を活用した学会を実施する。京都私立病院協会の主担当で令和元年12月より理事会、令和2年2月より実行委員会を開催し、WEB 学会の開催に向けて準備を進めている。

第55回学会は全体テーマとして「“令和”時代 病院の進むべき道～地域共生社会の実現に向けて～」を掲げ、487題の演題の採用を決定した。今学会も一般演題の発表とは別に「地域包括ケアにおける病院の役割」をテーマとした要望演題を設けた。また、第49回から継続して検討すべき課題として継続演題を設けており、テーマは「働き方改革」としている。要望演題の基調講演として、鈴木俊彦氏（厚生労働事務次官）からの講演を予定している。また、特別講演は、「リハビリテーション医学の今と未来」をテーマに大高洋平氏（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学 I 講座主任教授）による講演を行う予定である。

基調講演、特別講演を含む全ての演題発表は、事前に収録した映像を第55回京都病院学会 WEB サイトにて公開する。公開期間は令和2年6月14日（日）から7月12日（日）を予定している。

1 学会役員

学 会 長：清水鴻一郎（京都リハビリテーション病院）

副 学 会 長：藤澤明生（賀茂病院）、山下俊幸（京都府立洛南病院）

実行委員長：石丸庸介（田辺中央病院）

副実行委員長：若園吉裕（京都桂病院）

理 事：岡田 純（脳神経リハビリ北大路病院）、小森直之（なぎ辻病院）、
近藤泰正（堀川病院）、清水 聡（京都南病院）、尼川龍一（日本バプテスト病院）、
小林 裕（京都第二赤十字病院）、島崎千尋（京都鞍馬口医療センター）、

坪井知正（南京都病院）

監 事：富田哲也（富田病院）、辰巳哲也（京都中部総合医療センター）

2 実行委員

事務部門：外川敬介（京都リハビリテーション病院）、生田 幹（京都府立洛南病院）

看護部門：植村ひかる（田辺中央病院）、辻本かよ子（十条武田リハビリテーション病院）

四之宮敏宏（京都府立洛南病院）、谷口文代（京都桂病院）

介護地域連携部門：瀧村孝一（京都リハビリテーション病院）

薬剤部門：馬瀬久宜（医仁会武田総合病院）

臨床検査部門：増田哲也（愛生会山科病院）

臨床工学部門：酒井徳昭（京都第二赤十字病院）

栄養管理部門：四方達二（京都南病院）

放射線部門：三浦健一（京都岡本記念病院）

リハビリテーション部門：井上直人（京都医療センター）、梅原久活（宇治おうばく病院）、

岸本紀和（十条武田リハビリテーション病院）

学校教務：大井ゆかり、小西靖志（京都保健衛生専門学校）、

安原郁子（（専）京都中央看護保健大学校）

Ⅱ 教育・研修

A 教育研修基礎コース

会員病院の新入職員を主な対象とした教育研修基礎コースは京都市内では5月頃に、北部地区では6月頃に毎年開催している。この研修会では病院職員としての基本的知識と心得を修得し、医療機関における組織人としての自覚を持つことを目的としている。講義は接遇・応対の基本を中心にしたものから、グループに分かれての実践など受講者同士のコミュニケーションが図れる内容となっており、受講生は4月からの入職者を中心に、勤務年数1年以上の参加者も多く見られた。

1 京都市内開催

1) 5月16日 於：メルパルク京都 参加者／119名

全体講師／櫻井悦子（研修オフィス SAKURA 代表）

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課医務・看護担当課長）

2) 5月29日 於：メルパルク京都 参加者／116名

*全体講師、京都府地域包括ケア構想についての講師は上記と同じ

2 北部地区開催

6月29日 於：市民交流プラザふくちやま 参加者／49名

*全体講師は上記と同じ

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

B 看護卒後教育

看護卒後教育に関する企画・運営は看護部長会教育委員会で行い、看護職の資格取得後のキャリアに応じた各種研修を開催している。

「看護中間管理者研修Ⅰ（主任コース）」では、4月から翌年2月までの計11回を開催し、最終回では研修成果発表会として学びと今後の課題を発表した。「看護中間管理者研修Ⅱ（師長コース）」では、9月から翌年3月までの間で計10回開催するとともに、平成30年度受講生を対象とした看護実践報告会を開催した。その他、「看護リーダーシップ研修」を卒後3年目限定コースと中堅コースに分けてそれぞれ2日間開催、4月と9月に「看護補助者研修」、8月に「准看護師研修」、9月に「新人研修」、12月に「看護研究研修」、10月と11月に開催した「看護過程研修」については初級編と応用編に分けて開催し、各研修とも大きな成果をあげた。

令和元年度も引き続き、すべての研修が京都府地域医療介護総合確保基金対象研修となり各種研修の更なる充実を図り、看護職の知識や質の向上および人材育成に努めた。

1 看護中間管理者研修Ⅰ（主任コース）

参加者／47名 修了者／44名 会場／私病協会議室、登録会館、コープ・イン・京都

第1回 4月26日

「京都府地域包括ケア構想について」

説 明／京都私立病院協会事務局

「中間管理者として知っておきたい看護の動向」

講 師／長谷川寿子（京都博愛会病院看護部長）

「いのちへの問いかけ」

講 師／西沢いづみ（生命倫理学・生物学講師）

第2回 5月30日 「看護管理概論～看護実践の組織化」

講 師／矢田貴子（堀川病院看護部長）

第3回 6月28日 「医療安全」

講 師／有山真智子（京都桂病院医療安全管理室室長）

第4回 7月23日 「コーチング・セルフサポートコーチング」

講 師／清野健太郎（PureField 代表）

第5回 8月26日 「看護研究」

講 師／星野明子（京都府立医科大学大学院保健看護研究科看護学教授）

第6回 9月24日 「リフレクション」

講 師／池西悦子（大阪医科大学看護学部教授）

第7回 10月29日 「看護倫理①」 第8回 11月22日 「看護倫理②」

講 師／真継和子（大阪医科大学看護学部教授）

第9回 12月11日 「看護管理各論」

講師／林 千鶴子（前京都桂病院看護部長）

第10回 1月22日 「グループ・ダイナミックスの理論と方法～災害ボランティアの視点を交えて」

講師／渥美公秀（大阪大学大学院人間科学研究科教員）

第11回 2月21日 「研修成果発表会」

2 看護中間管理者研修Ⅱ（師長コース）

参加者／37名 修了者（予定）／34名 会場／私病協会議室

第1回 9月5日 「中間管理者としての看護の動向」

講師／矢田貴子（堀川病院看護部長）

第2回 9月27日 「看護管理概論」

講師／塚本美晴（医仁会武田総合病院看護部長）

第3回 10月10日 「医療安全」

講師／有山真智子（京都桂病院医療安全管理室室長）

第4回 10月23日 「看護サービス」

講師／豊田久美子（京都看護大学学長）

第5回 11月19日 「師長のリーダーシップ」

講師／大島敏子（NPO 法人看護職キャリアサポートフリースタッフ・ナースの会会長）

第6回 11月28日 「看護組織論」

講師／林 千鶴子（前京都桂病院看護部長）

第7回 12月18日 「目標管理」

講師／小河陽子（京都きづ川病院看護部長）

第8回 1月16日 「看護管理各論」

講師／中島美代子（西陣病院看護部長）

第9回 2月10日 「医療情勢と病院運営」

講師／山田正明（堀川病院事務長）

第10回 3月2日 「看護倫理」

講師／矢田貴子（堀川病院看護部長）

*新型コロナウイルスの影響により延期

3 看護補助者研修

a 4月25日 於：登録会館 参加者／94名

テーマ／①「接遇について」

②「看護補助者が知っておきたい感染防止対策～患者さんを守る・自分を守る～」

講師／①塚本美晴（医仁会武田総合病院看護部長）

②谷口文代（京都桂病院看護部長・感染管理認定看護師）

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／真下信男（京都府健康福祉部医療課医務・看護担当課長）

b 9月11日 於：登録会館 参加者／75名

テーマ／①「接遇について」

②「看護補助者が知っておきたい感染防止対策～患者さんを守る・自分を守る～」

講師／①山崎真奈美（西京都病院看護部長）

②谷口文代（京都桂病院看護部長・感染管理認定看護師）

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

4 看護リーダーシップ研修

a 卒後3年目限定コース

8月6日・8月8日 於：登録会館 参加者／80名

全体講師／平川弘美（学校法人兵庫医科大学人事部参与）

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

b 中堅コース

7月9日・7月11日（各日） 於：メルパルク京都 参加者／56名・57名

全体講師／清野健太郎（PureField 代表）

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

5 准看護師研修

8月28日 於：登録会館 参加者／65名

テーマ／「知っておきたい医療・看護の動向」

講師／川上智子（社会医療法人岡本病院（財団）総人事部シニアマネージャー）

テーマ／「認知症のある高齢者への看護」

講師／大塚恒子（一般財団法人仁明会精神衛生研究所副所長）

6 新人研修

8月31日 於：京都保健衛生専門学校 参加者／38名

テーマ／「多重課題：シミュレーション研修」

講師／看護部長会教育委員等

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／看護部長会教育委員等

7 看護過程研修

（初級編）10月18日 於：私病協会議室 参加者／47名

テーマ／「看護過程（5つの段階）とSOAPを理解する」

講師／阿形奈津子（京都中央看護保健大学校看護学科長）

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

(応用編) 11月21日 於：私病協会議室 参加者／46名

テーマ／「事例に基づき、看護診断を用いて看護過程のプロセスを理解し、自己のアセスメント能力を向上させる」

講師／谷本千亜紀（京都保健衛生専門学校看護学科教務部長）

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

8 看護管理実践報告会

2月27日 於：私病協会議室 参加者／23名

発表／平成30年度看護中間管理者研修Ⅱ（師長コース）受講終了者

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

9 看護研究研修

12月5日 於：私病協会議室 参加者／38名

テーマ／「看護研究に活かすクリティーク」

講師／豊田久美子（京都看護大学学長）

テーマ／「京都府地域包括ケア構想について」

説明／京都私立病院協会事務局

C 保健医療管理者養成講座

医療を取り巻く環境の変化の中で医療経営に明確な理念と健全で効率的な運営管理が不可欠であり、そのための人材育成の重要性が高まることに対応し、講座を開講して29年目を迎えた。令和元年度修了生24名（29期生）を加えて総勢559名が巣立ったことになる。

令和元年度の保健医療管理士の認定は、認定基準に則り、11月に開催された当協会創立記念式典において、27期生に認定証が授与された。保健医療管理士の称号を持つ修講生は、会員施設において幹部職員として、また、中堅管理者としてその役割を果たしている。

1 第28期生入講式 4月13日 於：私病協会議室 入講生／24名

入講記念特別講座 「京都府における地域医療の現状と課題～地域医療構想から見えるもの～」

講師：松村淳子（京都府健康福祉部長）

2 認定委員会（保健医療管理士） 10月2日 3月4日（中止） 於：私病協会議室

3 保健医療管理士認定式 11月15日 於：京都ホテルオークラ

第28期生23名に保健医療管理士の認定証が授与された。

4 認定委員会（修了者） 3月4日（文書審議）

第29期受講生24名の修了が認定された。

5 終講式 3月28日 於：ANA クラウンプラザホテル京都

6 運営委員

委員長／岡田 純（担当役員）

委員／吉川拓宏（～令和1.5）、清水史記（令和1.6～）、真鍋由美（令和1.6～）（以上、担当役員）、
北庄司和之（～令和1.5）、池内研二（令和1.6～）（以上、事務長会）、
木村克美（看護部長会）、今井陽一、山田 剛（以上、保健医療管理士会）、
佐藤眞喜子（京都保健衛生専門学校事務局長）、津崎桂子
認定委員／清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、小森直之、石丸庸介、
藤澤明生及び上記運営委員

D 中堅幹部職員研修

中堅幹部職員を対象とした2年に1度開催されるこの研修会は、事務長会のメンバーで構成された中堅幹部職員研修会プロジェクトチームが企画立案し、その運営全般を担当して実施している。

研修内容およびカリキュラムについては、プロジェクトチームの委員および外部講師それぞれの実体験に基づいて講義する内容であった。また、グループワークでは参加者が協力して問題の解答を導くために活発な討論が繰り広げられた。

今後も将来の病院を取り巻く医療の動向を熟知し、経営に貢献できる能力を身につけるための中堅幹部職員の研修会として継続して企画・開催を予定している。

1 プロジェクトチーム会議

委員：茨木孝二、山田正明、市場真澄、仲田昌司、中川正之、福島伸之、小嶋明彦、山口浩二、
末廣健児（以上、事務長会）

開催日 8/23 12/6 計2回

2 研修会

開催日／2月20日～21日

会場／京都・烟河（京都府亀岡市）

参加者／24施設35名

研修内容／①今後の医療情勢について～医師の働き方改革に関連して～ ②財務諸表

③グループワーク「病院を創ろう！」

④組織活性化に必須なリーダーシップとフォロワーシップ ⑤病院における労務管理

外部講師／馬場武彦（社会医療法人ペガサス馬場記念病院理事長）、

畑埜義雄（和歌山県立医科大学名誉教授・畑埜クロスマネジメント代表）

E 医師臨床研修・専門医制度への取り組み

京都府が設置する京都府医療対策協議会や京都府地域医療支援センター運営会議に当協会が参画し、医師確保対策や医師確保支援が民間病院にも十分に行われるよう意見している。また、新専門医制度については、大学病院などの大病院に指導医や専攻医の集約化が起き、地域医療に支障が生じる懸念があり、動向を把握しながら必要な対応をしていくことにしている。

平成31年4月からの医療法及び医師法の一部改正により、都道府県では医療計画における医師確保計画の策定が求められ、京都府では京都府医療対策協議会部会「医師確保ワーキングチーム」に

も当協会が参画し、計画策定に向けて意見を述べた。厚生労働省主催の説明会（下記）にも参加し情報収集に努めた。

5/22 医師確保計画策定ガイドライン及び外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドラインブロック別説明会 於：大阪合同庁舎（事務局）

【経営管理部】

I 病院経営

A 民間病院に対する補助制度への対応

令和元年度においては、全部で10項目の補助が出された。当協会では引き続き病院機能を更に強化し、患者の安心と安全の確保に繋がる補助金の交付を求めている。

会員病院が令和元年度に受けた主な補助金は下記の通り。

1 産科医等確保支援事業費：	11病院	31,961千円
2 救急医療提供体制整備促進事業費補助金（救急担当医師・看護師への研修補助）：	22病院	6,737千円
3 院内保育運営費補助金：	51病院	164,356千円※
4 救急救命士病院実習受入促進事業費補助金：	14病院	5,559千円
5 小児救急医療体制強化支援事業費補助金：	4病院	29,084千円
6 療養病床あんしん確保対策事業費(がんばる医療療養病床支援)：	0病院	0千円
7 京都府在宅療養あんしん病院支援事業：	134病院	17,538千円
8 在宅医療推進基盤整備事業：	31病院	31,338千円
9 京都府地域医療機能強化特別事業費補助金：	11病院	211,824千円
10 医療施設等施設設備整備費補助金：	7病院	426,005千円

(スプリンクラー 5病院 235,955千円、人工呼吸器非常用電源 2病院 586千円)

(*全て交付決定額ベース)

※3 新型コロナウイルスの関係で変更の可能性あり

B 融資斡旋

1 年末融資斡旋

京都府救急告示病院等運転資金融資制度は、府内の中小病院の救急告示および病院群輪番制参加病院などに対して、年末年始における要員確保などに必要な資金を融資する制度である。

融資利率は、平成29年度より年1.7%となり、当協会では更なる低利融資、対象病院の拡大、融資条件の緩和、融資限度額の増額が実現するよう継続して要望している。

令和元年度の京都府救急告示病院等運転資金融資制度の実施状況は次のとおりである。

融資申込／1病院（総額8,000万円）

融資実行／1病院（総額8,000万円）

限度額／8,000万円（1法人で複数病院を有する場合は総額1億2,000万円）

期 間／3年以内（据置6か月以内）

利 率／1.7%

説明会／11/12 於：私病協会議室

2 中信病院職員ローン

発足31年目の会員病院の職員向けローンは、京都中央信用金庫の全店で受付けており、保証人の要らないものである。現在は商品名が変更し、中信パーソナルローン「マイライフ」で当協会の会員施設職員に対しては金利優遇がある。カードローンの限度額は10万円・30万円・50万円・100万円の4種類となっている。

制度の概要と利用状況は次の通りである。

融資限度額／病院職員カードローン	10万円・30万円・50万円・100万円
病院職員ローン	500万円
利息（保証料込み）／カードローン	12.1%（限度額10万円・30万円・50万円・100万円） 12.9%（限度額10万円・30万円・50万円・100万円）
ローン	4.2%（保証料込）
融資期間／カードローン1年または3年	ローン10年以内
令和2年3月31日現在の利用／カードローン	総契約数183件（11,108,123円）
ローン（証書貸付）	0件（0円）

Ⅱ 病院管理

A 環境問題委員会

環境問題委員会では、医療機関に関係する環境の問題を従来よりも広範囲に取り扱う場として取り組みを行ってきた。

会員施設が環境活動に対して関心を持ち、積極的に取り組んでいくことができるよう、当協会役員が行政や関係団体の環境問題に関する各種会議に出席し、当委員会と連携を図りながら、そこで得た情報を会員施設に発信している。今後も環境問題に関する研修会の企画・開催や補助金交付事業を紹介する等の支援協力を行っていく。令和元年度は、改正健康増進法の施行に伴い病院等の施設が原則敷地内禁煙となったこと受け、会員施設における敷地内禁煙の実施状況を把握するためのアンケート調査を行った。また、本アンケートの結果を踏まえ、次年度は研修会を開催する予定としている。

1 委員会

委員長：藤澤明生（担当役員）

委員：明石 純、市場真澄（以上、担当役員）、山原麻季（～令和1.5）、
金岩孝也（令和1.6～）（以上、事務長会）、高橋鈴子、矢田貴子（以上、看護部長会）、
江口光徳（臨床検査部会）、茶谷和真（放射線技師部会）、熊田久美（～令和1.5）、
福島由理（令和1.6～）（以上、栄養士部会）

2 開催日 7/23 12/10

3 主な活動

a 敷地内禁煙に関するアンケート調査の実施

b 環境問題についての情報収集・情報交換及び会員施設に対する情報提供

B 会員病院との情報ネットワークシステム

情報通信の発展により、病院においても電子カルテ、オーダーリングシステム、医事会計システム、病院情報の発信など、情報通信ネットワークが急速に普及している。国の医療機能情報公表制度や病床機能報告制度、京都府の京都健康医療よろずネット、医療機能評価等の第三者評価、自院のホームページなど、インターネットで医療機関情報が公開されており、地域への情報発信や人材確保等において不可欠となっている。協会のホームページでは、会員施設のホームページとリンクさせており、会員の認知度の向上や患者の利便性に資するよう努めている。また、協会の各種事業は会員施設のあらゆる職種の協力で成り立っており、当協会の事業を通じて会員施設と連携を図るとともに、会員施設が地域で重要な役割を担っていることを周知している。

地域の医療介護連携においては、医療機関、介護・福祉事業者や多職種による情報共有、コミュニケーションの促進が医療介護サービスの向上に必要となっており、協会会員が地域包括ケアシステムの中心としてさらに機能するようネットワークづくりにも取り組んだ。平成27年度からは、病院の地域連携室等の窓口情報を調査し、協会ホームページで閲覧・検索を可能とし、入退院支援時の連携強化を図っている。

京都府医療勤務環境改善支援センターで取り組む「京都いきいき働く医療機関認定制度」の宣言病院及び認定病院も当協会ホームページ内で紹介し、各病院のホームページとリンクさせて医療従事者の確保に繋がるよう認知度の向上を図っている。

C 病院機能向上委員会

当委員会は、会員病院の医療機能の向上を目指した活動を行っている。

令和元年度は、医療機能評価事業に関する会員施設からの問い合わせに対応した。

さらには、入院中の下部尿路機能障害を有する患者に対して多職種協働で排尿機能回復を図り、在宅復帰後の療養生活の向上、介護者の負担軽減に繋げるべく、昨年度に引き続き、医師・看護師を対象にした「排尿機能回復のための治療とケア講座」を開催した。

1 委員会

委員：富士原正人、武田隆久（以上、担当役員）、浅田 淳（～令和15）、
廣瀬良太（以上、事務長会）、齋藤文代（宇治徳洲会病院）、
山本薫里（武田病院グループ）（以上、看護部長会）

開催日：なし

2 研修会

①11/28・②11/29・③11/30 於：ラボール京都

対象／①医師 ①～③看護師 *排尿自立指導料該当研修 参加者／医師2名・看護師55名
テーマ／「令和元年度排尿機能回復のための治療とケア講座」

1)「京都府地域包括ケア構想の概要」

- 2) 「尿路機能障害の病態と診断」・「尿路機能障害の治療」
- 3) 「尿路機能障害の予防とケア」
- 4) 「尿路留置カテーテルの抜去に向けた取り組み」
「排尿ケアチームの役割と自立に向けた実践例（演習含む）」
- 5) 「排尿日誌による評価（演習含む）」
「エコー（残尿測定器）を用いた残尿の測定の実際（演習含む）」
- 6) 「排尿ケアの事例検討（演習含む）」
「排泄器具と排泄関連福祉用具の適切な使用方法（演習含む）」
- 7) 「排泄自立のためのリハビリテーション（排尿誘導・骨盤底筋訓練等演習含む）」
- 8) 「自己導尿の指導方法（演習含む）」

講 師／1) 真下信男（京都府健康福祉部医療課医務・看護担当課長）

2) 上田陽彦（賀茂病院院長）

3) 朴 英寿（田辺中央病院泌尿器科部長）

4) 上田朋宏（泌尿器科上田クリニック院長・NPO 法人快適な排尿をめざす全国ネットの会理事長）

5) 布留川美帆子（京都民医連中央病院看護師長、皮膚・排泄ケア認定看護師）

6) 山口昌子（NPO 法人快適な排尿をめざす全国ネットの会理事）

山下和典（メディケア・リハビリ訪問看護ステーション京都、作業療法士・NPO 法人認知症排泄支援の会理事）

7) 西村卓也（医療法人恵泉会堺平成病院リハビリテーション部課長・理学療法士）

8) 加藤昌子（京都駅前武田クリニック看護師長、皮膚・排泄ケア認定看護師）

3 病院機能評価 会員認定施設

37施設（令和2年3月1日現在）

Ⅲ 税制

医療機関に関わる税の問題で、とりわけ社会保険診療への消費税が非課税であることで生じている控除対象外消費税は、病院の経営を圧迫し、病院の建物の増改築・修繕、新たな医療機器や設備の導入を妨げ、病院医療の向上に大きな支障をきたしている。

平成30年7月の厚生労働省「医療機関等における消費税負担に関する分科会」では、消費増税（5%→8%）対応時の控除対象外消費税の診療報酬による補てん状況調査の集計に誤りがあり、当初100%以上補てんしたとされた病院全体の補てん率は85%となり、補てん不足に転じたことが公表された。

これに加え、令和元年10月からは消費税率が10%に引き上げられ、病院の存続が危惧される状況に陥っていると認識から、仕入税額控除が可能で、かつ患者負担のない制度に改正するよう各方面への要望活動を続けている。但し、消費税問題は、課税に転換した場合、診療報酬で補てんされている

部分が減額される可能性もあり、当協会では引き続き情報収集・分析を行うとともに、中央病院団体や近畿の病院協会とも連携しながらこの問題に対応していくこととしている。

持ち分なし医療法人への移行による相続税・贈与税の猶予・免除等については、令和5年9月末まで期限が延長されることとなり、検討中の医療法人にとっては期限間際の意思決定を迫られるものではなく、十分に協議、検討する時間が与えられた。

その他、保険診療に係る事業税非課税措置などについても地域医療の確保の観点から重要であり、当協会では医療機関における税の問題について引き続き情報収集や在り方の検討を行い、必要に応じて改善要望や対応を行っていくこととしている。

【厚生部】

I 会員交流

A 第55回病院対抗野球大会

京都府知事杯争奪第55回病院対抗野球大会は、4月13日の初日から6月23日の最終日まで、4日間の日程でトーナメント戦が繰り広げられた。会場は京都府、京都市が運営するグラウンドを使用し、雨天順延もなく、予定していた日程通りに大会運営を行うことができた。

今大会も熱戦が繰り広げられ、決勝戦は両チームとも初めての決勝進出となった京都久野病院と伏見桃山総合病院で争われ、京都久野病院が初の優勝の栄冠を手にした。

開催日と会場：4月13日 みどりが丘グラウンド
5月12日 みどりが丘グラウンド
6月16日 みどりが丘グラウンド
6月23日 横大路グラウンド硬式野球場

参加：34病院35チーム

優勝：京都久野病院

準優勝：伏見桃山総合病院

第3位：いわくら病院、醍醐病院

協賛：株式会社公益社

実行委員会：2/27 3/22（平成31年）

組み合わせ抽選会：3/22（平成31年） 於：私病協会議室

実行委員長：西野優也（京都岡本記念病院）

副実行委員長：加茂有紀浩（いわくら病院）

実行委員：江口光徳（宇治徳洲会病院）、松下和彦（医仁会武田総合病院）湯浅範之（長岡病院）、北本雄大（洛和会音羽記念病院）、

担当役員：市場真澄

B 第42回病院対抗バレーボール大会

京都府知事杯争奪第42回病院対抗バレーボール大会は、8月25日に予選大会が、10月20日に決勝トーナメントが開催された。前回大会より、より多くの会員施設が参加できるよう男子選手の出場を可能とし、それに伴い、大会名称を「病院対抗バレーボール大会」に改名しての初めての開催となった。全31チームの参加のもと、今大会も白熱した試合が繰り広げられた。決勝では洛和会音羽病院と京都・綾部ルネス病院が対戦し、洛和会音羽病院が3年ぶりの優勝を果たした。

病院対抗バレーボール大会は福利厚生事業の一つとして会員病院に定着しており、大会の目的である会員相互の親睦と交流がますます深まることが期待される。今後も大会が継続して開催できるよう、試合要項等の改変についても検討しながら運営していく予定としている。

開催日と会場 8月25日 京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）体育館

10月20日 京都市横大路運動公園体育館

参加／31チーム（30施設）

優勝／洛和会音羽病院

準優勝／京都・綾部ルネス病院

第3位／医仁会武田総合病院・亀岡病院

協賛／株式会社セラマ

実行委員会：6/6 7/5 監督会議兼組合せ抽選会：7/5 於：私病協会議室

実行委員長：吉岡喜代美（京都武田病院）

副実行委員長：岡田英子（医仁会武田総合病院）

実行委員：江川大地（京都大原記念病院）、安東寧浩（宇治徳洲会病院）、塩谷智子（新河端病院）

担当役員：真鍋由美

C 第14回病院対抗フットサル大会

京都私立病院協会会長杯争奪病院対抗フットサル大会は、今回で第14回目を数え、今では協会の三大スポーツ大会のひとつとして定着している。今回は34施設40チームが参加し、11月3日に予選大会、11月23日に決勝トーナメントを開催して熱戦が繰り広げられた。決勝は共和病院と京都九条病院が対戦し、共和病院が勝利し7度目の優勝となった。今大会も試合を通じて会員間の親睦と交流を図る機会となった。

開催日と会場：11月3日・11月23日 サンガフットサルパーク・京都城陽

参加：34施設40チーム

優勝：共和病院

準優勝：京都九条病院

第3位：京都桂病院A

協賛：京都府病院協同組合

実行委員会：7/24 9/20 組合せ抽選会：9/20 於：私病協会議室

実行委員長：柏原 譲（京都桂病院）

実行委員：大木達雄（武田病院）、中林俊晴（西陣病院）、鷲見俊亮（京都回生病院）、
渡辺皐太（蘇生会総合病院）

担当役員：武田敏也

D 第7回会員親睦ゴルフコンペ

平成25年度より当協会の厚生事業の1つとして位置づけてから第7回目となる京都私立病院協会会長杯ゴルフコンペを開催し、ダブルペリア方式による競技を行った。創立55周年記念大会は、過去最高の参加者数となり、例年に増して会員相互の親睦が深められた。ラウンド終了後は、第3位までの個人と優勝チームを表彰するとともに、ドラコン賞・ニアピン賞等の各賞が贈呈された。

開催日と会場：11月3日 瑞穂ゴルフ倶楽部

参加：個人戦／22施設53名（14組）、団体戦／13チーム

個人戦

優勝：増田成一（三菱京都病院）

準優勝：富士原正人

第3位：木村正彦（武田病院グループ）

団体戦

優勝：三菱京都病院チーム

増田成一、加藤雅史、山下直己

準優勝：京都ルネス病院チーム

富士原正人、斉藤 徹、上野貴司、水口武志

第3位：武田病院・医仁会武田総合病院・宇治武田病院チーム

鈴木雄治、佐藤文平、林田孝平、河瀬紀夫

協賛：京都府病院協同組合

実行委員会：7/19 於：私病協会議室

実行委員長：富士原正人（担当役員）

実行委員：茨木孝二（担当役員）、山田正明（事務長会）、村上 衛（京都府病院協同組合）

Ⅱ 京都私立病院報

「京都私立病院報」は、当協会の広報誌として、毎月1回1日に定期発行している。編集は、担当役員、事務長会、看護部長会からの委員で構成する私病報編集委員会が担い、毎月の会議で記事の構成の検討、原稿の確認・編集を行っている。当協会の活動を中心に、時々の医療の動向を伝えるニュース、執行部の方針や解説、民間病院を取り巻く重要事項、毎月の各種研修会・会議の報告、メディアワークセンターの求職情報、京都府や京都市等の行政機関からの通知などの情報を提供している。

また、会員からの表紙の絵画作品・写真や投稿記事、会員施設のイベント情報や会員異動を掲載し、会員相互のコミュニケーションも図っている。当協会の役割や事業がますます増える中、多様かつ充実した内容となるよう努めている。

現在の発行部数は約2,300部で、会員施設、関係行政機関、国会・府市議員、関係諸団体、その他の購読契約者へ配布している。

1 私病報編集委員会

委員長：近藤泰正（担当役員）

委員：荒木朝実（～令和1.5）、藤井本龍弘、浅田 淳（令和1.6～）（以上、事務長会）、
中澤美知子、松本旗江（以上、看護部長会）

開催日：4/16 5/21 6/18 7/16 8/20 9/17 10/15 11/91 12/17 1/21 2/18
3/17 計12回

2 発行回数

14回発行：第686号（4月号）～第698号（3月号）、第7回通常総会号（第687-臨）

【政策委員会】

政策委員会は会長および副会長で構成しており、協会の事業や政策立案をはじめ、行政の施策に関する重要案件、幹事会において政策委員会送りとなった案件等を協議した。また、関係団体間の連携を図るべく、各事業所の人事等の重要案件についても協議を行った。

また、京都府・京都市における持続可能な医療・介護提供体制の構築のために、正副会長が京都府知事、京都市長に直接面談して令和2年度に向けた予算要望を行った。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、会員施設のマスクや手指消毒液等の衛生材料が逼迫する事態を受けて緊急要望も行った。公明党の予算・税制要望並びに政策懇談会、自民党議員との政策懇談会の呼びかけにも応じ、京都府・京都市への予算要望の実現、タスクシフト・タスクシェアの推進、医療職が行える業務の範囲拡大を要望した。

更には、当協会創立55周年を迎え、各種記念事業を推進した。

政策委員会 4/3 4/24 5/8 6/5 6/19 7/3 7/17 8/7 9/4 9/18 10/2
10/16 11/6 11/20 12/4 1/15 2/5 2/19 3/18 計20回開催

於：私病協会議室（8/7はKOTOWA 京都八坂、12/4はKIYOMIZU 京都東山）

京都府への令和2年度予算要望 11/7 於：京都府庁

京都市への令和2年度予算要望 10/23 於：京都市役所

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うマスク等の供給に関する緊急要望（資料1・資料2）

3/6 於：京都府庁・京都市役所

当協会認定調査員へのマスクの提供に関する緊急要望（資料3） 3/6 於：京都市役所

公明党との予算・税制要望並びに政策懇談会 10/26 於：京都東急ホテル

繁本護衆議院議員との政策懇談会 11/2 於：私病協会議室

【創立55周年記念事業】

昭和39年10月16日に発足した当協会は、令和元年に創立55周年を迎え、同年に創立55周年記念事業として、病院はやりがいがあって働きやすい職場であり、患者さんも働くスタッフも明るくするところであることを広く周知し、病院が地域で果たしている役割の理解促進とイメージ向上に繋げるべく、「みんないきいき明るい病院」をテーマに各種記念事業を実施した。

1 創立55周年記念事業検討委員会

当協会会長・副会長により構成し、政策委員会と同時開催し、各種記念事業の企画・立案を行った。

委員：清水鴻一郎、久野成人、富士原正人、武田隆久、富田哲也、岡田純、小森直之、

石丸庸介、藤澤明生

2 中学生向け次代の医療の担い手育成事業

少子化（人口減少）、働き方改革により、将来の病院医療の担い手の確保が喫緊の課題となっている中、病院では様々な疾患や怪我等に対し、多種多様な職種が各々の専門性を発揮しチーム医療で人々のいのちを救い、健康の維持・増進に寄与していることを中学生が知り、病院医療の仕事が将来の職業選択の一つになるよう、仕事理解の促進を図ることを目的に以下の事業を実施した。

1) 病院の多種多様な職種、チーム医療の現場を紹介する映画制作

病院では、どんな職種が、どのように関わっているのか、どのようなやりがいがあるのか、実際の医療現場を想定したドラマ仕立てによる中学生向けの映画を、京都市教育委員会、京都府教育委員会の監修の下で制作した。制作した映画の記録媒体（DVD）は京都府内の全中学校に寄贈し、病院とそこで働く医療職の役割を知るとともに、チーム医療の現場を見ることで仲間と力を合わせることの大切さを感じるきっかけとして活用を依頼した。

・次代の医療の担い手育成事業プロジェクトチーム：清水鴻一郎、久野成人、武田隆久、

仲田昌司

・台本作成協力：矢田貴子（看護部長会）、友沢明德（薬剤師部会）、渡里 弘（放射線技師部会）、

小澤 優（臨床検査部会）、赤尾 志（栄養士部会）、

田後裕之（リハビリテーション部会）、泉田洋志（臨床工学技士部会）

・撮影協力：医仁会武田総合病院 8月24日・25日

京都リハビリテーション病院 8月24日・31日

・映画タイトル：『「ありがとう」の重さ～チームで守る いのちと健康～』（10月完成：本編約35分）

2) 中学校での特別授業

『「ありがとう」の重さ～チームで守る いのちと健康～』の映画鑑賞、現職の医療従事者との交流等の授業を通して中学生が病院医療の現場を知り、病院で働く多種多様な職種の仕事の魅力・やりがいに触れることで、将来目指す職業の一つとして興味・関心を持つきっかけづくりをした。

特別授業実施校

令和元年12月9日 京都市立中京中学校（2年生・3クラス73名）

令和2年1月21日 城陽市立西城陽中学校（1年生・3クラス82名）

令和2年1月30日 京都市立九条中学校（2年生・2クラス44名）

令和2年2月4日 宮津市立宮津中学校（2年生・2クラス72名）

3 オーストリア・オランダ医療・介護事情視察旅行

当協会の会員がオーストリア・オランダの医療介護制度ならびに医療機関、介護施設を見聞して、提供する医療・介護の質の向上を図るべく視察を行った。

期 間：9月22日～29日 全8日間

参加者：25名

視察先：オーストリア Krankenhaus Hiezing（ヒーツィング）病院

Pflegewohnhaus Baumgarten（バウムガルテン・高齢者施設）

Dr. Rainer Brandl（ライナー・ブランドル家庭医）

オランダ Crataegus（クラテグス・小規模住宅群）

Meander Medical Center（ミアンダー）病院

4 創立55周年記念座談会

京都府の健康福祉行政、医療との関わりから、病院はチームで人々のいのちと健康を守っているところであること、患者さんからの「ありがとう」に格別な喜びとやりがいを感じられるところであることを広く発信した。

開 催：10月1日

場 所：京都ブライトンホテル

内 容：「地域医療の持続に向けて！」

座談会出席者：西脇隆俊（京都府知事）

柳本あまね（車いすバスケット日本代表・京都市在住）

清水鴻一郎（京都私立病院協会会長）

座談会内容の掲載：京都新聞特集紙面（11月15日）及び京都私立病院協会創立55周年記念誌

5 創立55周年記念式典

開 催：11月15日

記念式典 16：00～17：20

祝 賀 会 17：30～19：30

場 所：京都ホテルオークラ

内 容：優良・永年勤続職員表彰271名、保健医療管理士認定23名、創立55周年記念事業中間報告

6 創立55周年記念 病院対抗ボウリング大会

[京都市域・南部地区対象]

開 催：11月10日

場 所：MK ボウル上賀茂（京都市）

参加チーム：35チーム（23施設）

団体の部：優 勝 京都きづ川病院A

準優勝 京都回生病院B

第3位 宇治病院

個人の部：優勝 川崎久美子（京都回生病院）

準優勝 杉本 薫（宇治病院）

第3位 河本光子（京都南西病院）

[北部地区対象]

日 時：12月8日

場 所：サンケイボウル（福知山市）

参加チーム：19チーム（6施設）

団体の部：優勝 京都ルネス病院A

準優勝 亀岡病院B

第3位 丹後中央病院B

個人の部／優勝 畑本雅康（京都ルネス病院）

準優勝 土井敏行（もみじヶ丘病院）

第3位 中原雄一郎（京都ルネス病院）

協 賛：京都府病院協同組合

*その他の創立55周年記念各種スポーツ大会は厚生部に詳記。

7 創立55周年記念誌

創立51周年から55周年まで、病院医療の向上と地域医療の充実のために当協会が取り組んできた各種事業をまとめた記念誌を編さんした。

発行数：500冊

【京都府地域医療介護総合確保基金(京都私立病院協会実施分)の説明】

*当協会事業のうち、令和元年度の京都府地域医療介護総合確保基金の対象事業は下記の通り。

1 病床転換促進事業（病床機能転換に向けた医療従事者キャリア向上事業）

病院の全ての医療従事者が、京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）を正しく理解するとともに、将来の医療提供体制の充実に寄与するための事業を実施し、構想の実現を図る。

（1）病院幹部・管理職等に対する病床転換意識向上事業

・「地域医療部ⅦF これからの社会保障を考えるセミナー」

（2）病院医療従事者に対する病床転換を見据えてのキャリア及びモチベーション向上事業

① 将来の病床転換を見据えた部門別、職種別、全職種対象の専門知識・技術向上研修等

・「総務部ⅡB 事務長会」

・「総務部ⅡC 看護部長会」

・「総務部ⅡD 薬剤師部会」

・「総務部ⅡE 放射線技師部会」

・「総務部ⅡF 臨床検査部会」

・「総務部ⅡG 栄養士部会」

・「総務部ⅡH リハビリテーション部会」

・「総務部ⅡI 臨床工学技士部会」

・「保険部ⅡB 介護保険委員会」

・「地域医療部ⅢB 救急医療検討委員会」

・「地域医療部ⅣB 医療安全対策委員会」

・「地域医療部ⅤB 感染症対策委員会」

・「学術研修部ⅡA 教育研修基礎コース」

・「学術研修部ⅡB 看護卒後教育」

・「学術研修部ⅡD 中堅幹部職員研修」

・「経営管理部ⅡA 環境問題委員会」

・「経営管理部ⅡC 病院機能向上委員会」

② 地域包括ケア実現のために必要な病床の管理・運営を担う医療従事者のリーダー養成研修

・「学術研修部ⅡC 保健医療管理者養成講座」

③ 病床連携推進事業

・「学術研修部ⅠA 第54回京都病院学会」

2 病院地域包括ケアシステム強化事業

・「地域医療部ⅥD 病院地域包括ケアシステム強化事業」

3 地域連携型在宅医療支援病院事業

・「地域医療部ⅥE 地域連携型在宅医療支援病院事業」

- 4 京都府医療勤務環境改善支援センター事業
 - ・「地域医療部Ⅶ A 京都府医療勤務環境改善支援センター事業」
- 5 医療従事者勤務環境改善体制整備事業
 - ・「地域医療部Ⅶ G 医療従事者勤務環境改善体制整備事業」
- 6 医療従事者確保強化事業
 - ・「地域医療部Ⅶ H 医療従事者確保強化事業」

【学校法人京都保健衛生専門学校】

2019年度の本校の概要と動きを以下に報告する。

1) 理事・監事・評議員

第12期（2019年3月5日～2019年5月31日）

理事長（評議員）	富田哲也	理事（校長）	有菌直樹		
理事（評議員）・理事長代理		清水鴻一郎			
評議員	磯田典子	評議員	小澤 優	評議員	大西真興
理事（評議員）	岡田 純	評議員	香月キヨ子	評議員	川上智子
評議員	城守国斗	理事（評議員）	小森直之	理事（評議員）	近藤泰正
理事（評議員）	佐藤真喜子	評議員	清水 聡	理事（評議員）	武田隆久
評議員	谷本千亜紀	評議員	林 雅弘	評議員	福井英人
理事（評議員）	藤澤明生	評議員	藤田都司	評議員	松崎祥三
評議員	本井康博				
監事	吉川順介	監事	高松晃司		

第12期（2019年6月1日～2021年3月4日）

理事長（評議員）	富田哲也	理事（校長）	黒岩敏彦		
理事（評議員）・理事長代理		清水鴻一郎			
評議員	磯田典子	評議員	小澤 優	評議員	大西皓久
理事（評議員）	岡田 純	評議員	香月キヨ子	評議員	川上智子
評議員	清水 聡	理事（評議員）	小森直之	理事（評議員）	近藤泰正
理事（評議員）	佐藤真喜子	評議員	清水 聡	理事（評議員）	武田隆久
評議員	谷本千亜紀	評議員	林 雅弘	評議員	福井英人
理事（評議員）	藤澤明生	評議員	藤田都司	評議員	松崎祥三
評議員	本井康博				
監事	吉川順介	監事	高松晃司		

2) 学校を取り巻く環境の変化と2019年度の現状

学校経営における環境は、少子化、大学の台頭など受験生確保が一段と難しくなっています。

平成30年度学校基本調査より平成31年3月に高等学校を卒業した生徒は1,0561,847人で、うち大学・短期大学への進学者は572,854人で54.2%となっている。専門学校入学者は、169,058人で15.9%、就職を希望した高校生は183,891人で全体の17.3%である。また、新卒高校生の就職達成率は98.2%と高水準が維持されている。

本校では、一定の数と質とを保てるよう、今後も、学校教職員一丸となって、受験生確保、定員確保に取り組む。また、学校の理念である「心豊かな医療人の育成」を念頭に学校教育の充実をはかっていく。

看護学科三年課程は、教育目標である知識と理論に裏づけされた看護実践能力の基礎を身につけ、社会の変化に関心を持ち、自ら変革させながら、保健・医療・福祉に貢献できる人材を育成していく。

臨床検査学科は、専門的な知識と技術の習得と、医療人としての心を教育し、社会に役立つ臨床検査技師を育成する。

臨床工学技士専攻科は、医療資格養成校出身者と理工学系大学出身者の特徴を尊重し、各々の専門性を活かしながらキャリア形成できる環境を提供し、チーム医療に貢献できる人材育成に努める。

I 学校行事

(2019年度)

4月8日	臨床工学技士専攻科入学認定
10日	入学式 於：京都アスニー（122名）
12日～	施設オリエンテーション（看三3年生）
17日	看護学科・臨床工学技士専攻科学生健康診断
17日	第2回校務運営会議（第12期）
18日	病院見学（工学1年生）（～4/24）
20日	臨床検査学科学生健康診断
25日・26日	学外学習（課外学習）（看三1年生） 於：花脊山の家
5月7日～11月28日	臨地実習（看三3年生）
7日～7月22日	臨地実習（二臨4年生）
10日・24日	オープンスクール（工学－学内）
13日・15日	ツベルクリン反応検査
14日	再進学者説明会（以降月1回）
15日	第3回校務運営会議（第12期）
18日～20日	学外学習（研修旅行－第68回日本医学検査学会）（一臨3年生） 於：下関
25日	学校見学会
29日	第2回学校法人理事会・第2回学校法人評議員会（第12期） 於：本校
6月5日～	就職ガイダンス（検査）
8日～7月13日	学外実習（演習B）（看三1年生） 於：北山病院認知症療養病棟いずみ
9日	第54回京都病院学会（看三2年生、一臨2年生、工学1年生）
11日～14日	学校説明会（高校教員向け）
11日	臨地実習指導者会議（基礎看護学実習I）（看三1年生）
13日	臨床実習指導者会議（工学）
15日	オープンスクール
21日	就職ガイダンス
25日	チーム医療セミナー「食と基本的欲求」

26日	第4回校務運営会議（第12期）
28日	体育祭 於：島津アリーナ京都
7月1日	学外学習（施設見学－哲学）（看三1年生） 於：平等院
	学外学習（施設見学－文学）（看三1年生） 於：清水方面
4日	病院見学（一臨1年生） 於：京都府立医科大学附属病院 ：滋賀医科大学附属病院（～25）
6日	まちの保健室（市民公開講座）
11日・18日	施設見学（一臨1年生） 於：二条城
8日～8月27日	臨床実習（工学1年生）
20日	オープンスクール
24日	第5回校務運営会議（第12期）
29日～8月2日	学外実習（基礎看護学Ⅰ）（看三1年生）
8月1日	学校見学会
3日	1期入学試験（臨床工学技士専攻科）
9日	夏の福利厚生行事 於：京都鉄道博物館
17日	医療機器安全講習会（工学1年生） 於：難波御堂ホール
24日	オープンスクール
26日	学外実習（精神看護学概論）（看三2年生） 於：京都市こころの健康増進センター
28日～30	学外実習（老年看護学実習Ⅰ）（看三2年生）
9月7日	2期入学試験（臨床検査学科・臨床工学技士専攻科）
7日	看護学科臨地実習指導者研修会
8日	第2種ME技術実力検定試験（一臨3年生、工学） 於：コングレコンベンションセンター
11日	第6回校務運営会議（第11期）
12日・13日	学外学習（研修旅行－日機装株式会社金沢製作所）（工学1年生）
17日～20	学校説明会（高校教員向け）
21日	学校見学会
10月5日	3期入学試験
8日	チーム医療セミナー
7日～17	学外実習（老年看護学実習Ⅰ）（看三2年生）
12日	オープンスクール
23日	第7回校務運営会議（第12期）
29日	臨地実習指導者会議（成人看護学実習Ⅰ）（看三2年生）
26日	まちの保健室市民公開講座
30日	第3回学校法人理事会・第3回評議員会（第12期） 於：本校

11月1日	日本赤十字移動献血協力	
2日	学校祭・学校見学会・まちの保健室	
9日	4期入学試験	
12日	チーム医療セミナー	
13日	第8回校務運営会議（第12期）	
28日	臨床検査学科スポーツ大会（オリエンテーリング）	
30日	学外学習（工学1年生）（京都私立病院協会臨床工学技士部会講演会）	於：登録会館
12月2日～19日	学外実習（成人看護学実習Ⅰ）（看三2年生）	
4日	臨地実習指導者会議（基礎看護学実習Ⅱ）（看三1年生）	
7日	5期入学試験	
11日	第9回校務運営会議（第12期）	
13日	臨地実習指導者会議（検査）	
1月11日	学校見学会	
14日～3月6日	臨地実習（一臨2年生）	
18日	6期入学試験	
22日	第10回校務運営会議（第12期）	
27日～2月13日	学外実習（基礎看護学実習Ⅱ）（看三1年生）	
2月14日	臨地実習指導者会議（循環器実習）（検査）	
8日	7期入学試験	
12日	第11回校務運営会議（第12期）	
15日	学校見学会	
16日	第109回看護師国家試験	於：大阪商業大学
17日～3月6日	学外実習（循環器実習）（一臨1年生）	
19日	第66回臨床検査技師国家試験	於：大阪商業大学
20日	卒業認定会議（全学科）	
29日	8期入学試験	
3月1日	第33回臨床工学技士国家試験	於：大阪商業大学
2日～6日	学外実習（循環器実習）（二臨2年生）	
17日	学外実習（解剖見学）（看三1年生）	於：京都府立医科大学
18日	卒業式	於：京都アスニー（98名）
19日	第109回看護師国家試験合格発表	
23日	9期入学試験（臨床検査学科・臨床工学技士専攻科）	
23日	第66回臨床検査技師国家試験合格発表	
24日	単位認定会議（看護）進級認定会議（検査）	
24日	第12回校務運営会議（第12期）	

25日 第4回学校法人理事会・第4回評議員会（第12期） 於：本校
 26日 第33回臨床工学技士国家試験合格発表

Ⅱ 学生関係

A 在学生数 2019年4月10日

学 科	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	計
看護学科三年課程	41	42	41	－	124
第一臨床検査学科	40	33	32	－	105
第二臨床検査学科	23	26	19	41	109
臨床工学技士専攻科	19	－	－	－	19
合 計	123	101	92	41	357

B 卒業生数 2020年3月18日

学 科	卒業生	
看護学科三年課程	39期生	34名
第一臨床検査学科	45期生	25名
第二臨床検査学科	44期生	20名
臨床工学技士専攻	22期生	19名
合 計	98名	

C 国家試験結果

学 科	受験者数	合格者数 (合格率%)	全国平均 (%)
看護学科三年課程	34	32 (94.1)	89.2
第一臨床検査学科	25	22 (88.0)	71.5
第二臨床検査学科	20	15 (75.0)	
臨床工学技士専攻科	19	19 (100.0)	82.1

D 2020年度生入学試験応募状況

学 科	応募者数	受験者数	入学生 (令和2年4月8日)
看護学科三年課程	232	211	42期生 40名
第一臨床検査学科	73	67	48期生 39名
第二臨床検査学科	21	20 + 16	48期生 19名
臨床工学技士専攻科	26	26	23期生 22名
合 計	350	322 + 18	120名

+○は第二志望

E 在学生数 2020年4月8日

学 科	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	計
看護学科三年課程	40	38	42	—	120
第一臨床検査学科	40	39	32	—	111
第二臨床検査学科	20	21	23	32	96
臨床工学技士専攻科	22	—	—	—	22
合 計	122	98	97	32	349

【京都府病院協同組合】

概況

元号が平成から令和となった2019年も国内消費は、回復の兆候も見られず、低迷が続き、加えて消費税増税、中国景気失速や米中貿易摩擦の影響で先行きが不透明な1年となりました。このような暗い空気が蔓延する中、開催直後から盛り上がったラグビーワールドカップは、国内だけにとどまらず、多くの外国人観光客も訪れ、大きな明るい話題になりました。

医療業界でも新しい時代を迎えた令和元年度は、介護報酬改定による大きな特徴として新たに介護医療院が創設されました。

当組合の事業としては介護医療院転換に伴う物品の販売、新築物件や大型案件などの獲得もあり、昨年度の購買事業の売り上げを大きく上回ることができました。

また、レンタル事業についても、利用額が1億円を超える結果となり、購買事業と同様に、好調に推移しています。

保険事業については京都府医師会と共同募集している「病院賠償責任保険」とともに注力している「役員賠償責任保険」で新たに4法人の加入があり、現在16法人の成約をいただいております。

最後になりましたが、令和元年度も販売促進奨励金として2千万円を還元することが出来ました。これも偏に組合員各位のご協力の賜物と感謝いたします。

【京都府病院企業年金基金】

ゆとりある老後と業界の発展は共通の願い！

京都府病院厚生年金基金は、一般社団法人京都私立病院協会を設立母体として昭和55年11月1日に設立されました。当基金は、平成28年9月1日付で厚生労働大臣より認可をいただき、厚生年金基金制度を代行返上・確定給付企業年金制度へ移行し、京都府病院企業年金基金となりました。

長年にわたり、加入事業所の事業主様、加入者様 および、受給者様にご理解とご協力を賜るとともに、歴代理事長はじめ多くの役員、代議員の皆様方に円滑な事業運営のためご支援いただいておりますことを、まことに有り難く、深く感謝申し上げます。

法改正により、確定給付企業年金制度には新制度が導入されております。

令和元年度から総合型の確定給付企業年金に、監査体制の充実を図るため公認会計士による「AUP（合意された手続）」が導入されました。また令和2年度には、初回の財政再計算を行い「新財政運営基準」が導入されます。

現在、京都府病院企業年金基金は、71事業所、16,165人が加入され、年金資産残高は253億円です。また、61億円の別途積立金（剰余金の累計）を留保しており、健全な財政状況を確保しております。

退職後の生活を安定したものにするため、公的年金だけでなく企業年金の存在が、ますます欠かせない状況になっております。安定した確定給付企業年金制度を運営するため、引き続き、全力で職務を遂行すると共に、セーフティな年金資産の運用を目指して参ります。

今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 令和2年3月31日時点の事業概況

・実施事業所数		71事業所
・加入者数	男子	4,511人
	女子	11,654人
	合計	16,165人
・掛金収入		658百万円
・年金給付	受給者数	4,537人
	給付額	719百万円
・一時金給付	受給者数	1,032人
	給付額	308百万円
・年金資産残高（時価）		253億円

2 役員・代議員（任期：自平成30年9月20日 至令和2年9月19日）

選 定		
役 職	氏 名	所属事業所
理 事 長	清 水 鴻一郎	(医) 清水会
理 事 長 代 理	富士原 正 人	(医) 福富士会京都ルネス病院
理 事	武 田 隆 久	(医) 財団康生会武田病院グループ
〃	中 野 種 樹	(一財) 長岡記念財団
〃	中 野 博 美	(医) 啓信会京都きづ川病院
〃	松 村 理 司	(医) 社団洛和会
監 事	藤 澤 明 生	(医) 明生会賀茂病院
代 議 員	明 石 純	(医) 愛友会
〃	菅 知 行	(一社) 愛生会
〃	小 坪 俊 昭	(社医) 岡本病院(財団) 京都岡本記念病院
〃	中 田 正 伸	(医) 亀岡病院
〃	山 田 正 明	(社医) 西陣健康会堀川病院
〃	吉 川 順 介	(医) 社団貴順会吉川病院
互 選		
役 職	氏 名	所属事業所
理 事	大 橋 博 行	(医) 財団医道会
〃	下 坊 元 久	(医) 社団洛和会
〃	津 崎 桂 子	(一社) 京都私立病院協会
〃	林 起 予 則	(医) 健康会総合病院京都南病院
〃	真 鍋 雄 一 郎	(医) 社団医聖会
常 務 理 事	関 本 充 治	京都府病院企業年金基金
監 事	山 本 昌 孝	(医) 寿尚会洛陽病院
代 議 員	荒 木 卓	(社医) 弘仁会
〃	佐 藤 眞 喜 子	学校法人京都保健衛生専門学校
〃	土 井 直 也	学校法人京都中央看護師養成事業団
〃	湊 幸 一	(医) 財団康生会武田病院
〃	村 上 衛	京都府病院協同組合
〃	八 木 利 之	(医) 社団洛和会音羽病院

役職別 50音順

【学校法人京都中央看護師養成事業団】

令和元年度事業報告

1 事業報告

今年度は、年度途中で消費税の増税や、皇位継承による改元のための休日の増加、新型コロナウイルスの感染拡大など、運営・教育の両面で先行き不透明なかでの学校運営となった。

(1) 学校運営

財政面においては増税が影響し、前年度に比べて通常支出が増えることとなったが、学生が総定員以上に在席したことによる学生納付金の増収によって補うことができ、減価償却前の収支は黒字収支となった。

設備面では、課題としていた東館の耐震化に向けて耐震診断を実施した。財源は施設設備整備費積立金を取り崩すことによって確保し、診断結果については次年度以降にその結果をもとに今後の方針を検討することとする。

(2) 教育活動

改元のための休日の増については、あらかじめ決まっていたこともあって早くから対応することができ、影響なくカリキュラムを実施することができた。一方、新型コロナウイルスに関しては影響が大きく、学校行事の中止や延期、縮小開催などの対応に追われることとなった。発生時期が年度末に近かったため講義や臨地実習への影響は少なかったものの、今後の状況次第では次年度のカリキュラムの実施が非常に難しくなることが推測される。

卒業生数は83名で、国家試験に関しては看護師国家試験が96.4%、保健師国家試験が100.0%という合格率となった。国試対策を本格化する時期と新型コロナウイルスの感染拡大の時期とが重なり、学生にとっては学習環境の確保が難しい状況ではあったものの、全国平均を上回る結果となった。このうち多くが京都府内で看護師として就職する予定となっている。

(3) 学生募集活動

受験者が増え、競争率が上がった前年度の結果を受けての今年度であったが、残念ながら出願・受験とも前年を下回る結果となった。また、今年度は一般入学試験の合格者の入学辞退が非常に多く、追加合格によって定員割れを防ぐという状況になった。最終的には両学科とも入学定員は確保できたが、入学試験の下位者の入学も多いため、入学後の学習や4年後の国家試験への影響が懸念される。

2 主な学校行事

- 平成31年 4月5日 ユニフォーム採寸・感染症抗体価検査／入学生
- 8日 第37期生入学式
- 9日 始講式／在校生
- 10日 新入生オリエンテーション（～12日）

- 10日 老年看護学Ⅰ実習／両学科3年次生（～25日）
- 18日 防災訓練／両学科1年次生
- 26日 実習指導者会議
- 令和元年5月7日 領域別看護学実習／看護学科4年次生（～7月26日）
- 13日 領域別看護学実習／看護保健学科4年次生（～6月25日）
- 〳 公衆衛生看護学実習／看護保健学科4年次生（～6月21日）
- 16日 健康診断／両学科1・2年次生
- 29日 春期レクリエーション祭・新入生歓迎会
- 30日 学校法人京都中央看護師養成事業団 第25回理事会・第25回評議員会
- 6月1日 第1回オープンキャンパス
- 3日 学校・入試説明会／高等学校対象
- 7日 薬物に関する講習／両学科1年次生
- 〳 学校・入試説明会／私病協会員病院対象
- 11日 基礎看護学実習（前半）／看護学科1年次生（～12日）
- 〳 基礎看護学Ⅰ－1）実習／看護保健学科1年次生（～12日）
- 15日 第2回オープンキャンパス
- 17日 前期試験①／両学科1・2年次生（～18日）
- 20日 特別講演／両学科1・2年次生
- 24日 小児看護学Ⅰ実習／看護学科2年次生（～7月1日）
- 7月1日 小児看護学Ⅰ実習／看護保健学科2年次生（～5日）
- 〳 統合実習／看護保健学科4年次生（～18日）
- 9日 前期試験／両学科3年次生（～12日）
- 20日 学生夏期休業（～8月16日）
- 〳 第3回オープンキャンパス
- 30日 実習指導者会議 夏季研修会
- 8月3日 第4回オープンキャンパス
- 14日 領域別看護学実習／看護学科3年次生（～1月31日）
- 17日 第5回オープンキャンパス
- 19日 看護過程実習／看護学科2年次生（～9月12日）
- 〳 基礎看護学Ⅱ実習／看護保健学科2年次生（～9月4日）
- 〳 領域別看護学実習／看護保健学科3年次生（～12月17日）
- 26日 公衆衛生看護学実習／看護保健学科4年次生（～10月25日）
- 29日 解剖見学／両学科1年次生
- 9月7日 第6回オープンキャンパス
- 13日 統合実習／看護学科4年次生（～10月11日）
- 21日 第7回オープンキャンパス

- 24日 前期試験②／両学科1・2年次生（～27日）
- 10月19日 第8回オープンキャンパス
- 30日 学校法人京都中央看護師養成事業団 第26回理事会・第26回評議員会
- 31日 関西看護学生看護研究大会
- 11月1日 看護研究発表会／看護保健学科4年次生（～2日）
- 2日 看護研究発表会／看護学科4年次生
- ㄥ 指定校推薦入学試験
- 8日 学校祭
- 12日 保護者会／看護学科
- 14日 保護者会／看護保健学科
- 16日 公募推薦入学試験前期
- 19日 第1回学校運営会議
- ㄥ 宣誓の日／看護学科1年次生
- 28日 宣誓の日／看護保健学科1年次生
- 12月10日 後期試験／両学科4年次生（～13日）
- 14日 公募推薦入学試験後期
- 17日 第2回学校運営会議
- 25日 学生冬期休業（～1月7日）
- 令和2年1月7日 一般入学試験前期（～8日）
- 9日 後期試験／両学科1・2年次生（～10日）
- 10日 第3回学校運営会議
- 20日 基礎看護学実習（後半）／看護学科1年次生（～24日）
- ㄥ 基礎看護学Ⅰ-2）実習／看護保健学科1年次生（～24日）
- 2月3日 成人看護学Ⅰ実習／看護保健学科2年次生（～19日）
- 8日 開校記念日
- 10日 成人看護学Ⅰ実習／看護学科2年次生（～18日）
- 14日 保健師国家試験
- 15日 一般入学試験後期
- 16日 看護師国家試験
- 18日 第4回学校運営会議
- 28日 後期試験／両学科1・2・3年次生（～3月5日）
- 3月9日 第34期卒業式
- 17日 学校法人京都中央看護師養成事業団 第27回理事会・第27回評議員会
- 20日 学生春季休業（～4月7日）
- 26日 学校関係者評価委員会

3 学生関係

(1) 学生数

【看護学科】

	1年	2年	3年	4年	計
平成31年4月	42名	42名	40名	46名	170名
令和2年3月	41名	40名	40名	46名	167名

【看護保健学科】

	1年	2年	3年	4年	計
平成31年4月	42名	40名	41名	41名	164名
令和2年3月	41名	39名	41名	39名	160名

(2) 第34期卒業生及び国家試験結果

【看護学科】

卒業生数	国家試験	受験	合格	合格率(本大学校/全国)
45名	看護師	45名	42名	93.3% (89.2%)

【看護保健学科】

卒業生数	国家試験	受験	合格	合格率(本大学校/全国)
38名	看護師	38名	38名	100.0% (89.2%)
	保健師	38名	38名	100.0% (91.5%)

(3) 令和2年度学生入学試験

【看護学科】

	出願	受験	合格	追加合格	競争率
指定校推薦入学試験	12名	12名	12名	－	1.00倍
公募推薦入学試験前期	39名	35名	8名	－	4.38倍
公募推薦入学試験後期	30名	29名	5名	3名	3.63倍
一般入学試験前期	56名	55名	18名	2名	2.75倍
一般入学試験後期	18名	17名	9名	－	1.89倍
合計	155名	148名	52名	5名	2.60倍

【看護保健学科】

	出願	受験	合格	追加合格	競争率
指定校推薦入学試験	9名	9名	9名	－	1.00倍
公募推薦入学試験前期	37名	36名	11名	－	3.27倍
公募推薦入学試験後期	26名	26名	6名	1名	3.71倍
一般入学試験前期	43名	42名	18名	－	2.33倍
一般入学試験後期	11名	11名	7名	－	1.57倍
合計	126名	124名	51名	1名	2.38倍

4 事業団役員（令和2年3月31日現在）

理事長	久野成人	医療法人社団育生会理事長（京都久野病院）
副理事長	清水鴻一郎	医療法人清水会理事長（京都リハビリテーション病院）
常務理事	土井直也	（専）京都中央看護保健大学校事務局長
理事	佐野 統	京都岡本記念病院院長
〃	清水幸夫	医療法人清仁会会長（シミズ病院）
〃	武田道子	武田病院グループ副理事長（武田病院名誉院長）
〃	中谷繁雄	京都市保健福祉局医療衛生推進室長
〃	中村正一	（専）京都中央看護保健大学校同窓会顧問（西陣病院）
〃	西城嘉子	ライフ・イン京都副ケアセンター長
〃	畑 典男	長岡病院院長
〃	松井淳琪	京都九条病院院長
監事	矢田部衛	京都市保健福祉局医療衛生推進室医務衛生課長
〃	吉川順介	医療法人社団貴順会会長（吉川病院）
評議員	石束佳子	（専）京都中央看護保健大学校副学校長
〃	石丸庸介	医療法人社団石鎚会理事長（田辺中央病院）
〃	出野 順	（専）京都中央看護保健大学校事務部長
〃	河村 正	元京都市立堀川高等学校校長
〃	菅 知行	一般社団法人愛生会理事長（愛生会山科病院）
〃	流石智子	京都華頂大学教授
〃	高松晃司	京都成蹊法律事務所弁護士
〃	津崎桂子	一般社団法人京都私立病院協会事務局長
〃	富田哲也	社会福祉法人京都博愛会理事長（富田病院）
〃	仲田昌司	三菱京都病院事務長
〃	平川祐子	（専）京都中央看護保健大学校同窓会会長（十条武田リハビリテーション病院）
〃	真鍋雄一郎	医療法人社団医聖会常務理事（八幡中央病院）

資料

資料 1

私病協発 1 - 670

令和 2 年 3 月 6 日

京都府知事 西脇 隆俊 様

一般社団法人京都私立病院協会

会 長 清水鴻一郎

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うマスク等の供給に関する緊急要望

本年 1 月中旬から日本国内においても発生している新型コロナウイルスは、感染拡大を続け、京都市内でも感染が発生し、終息の見通しが見えない状況となっています。

こうした状況の中、政府は 2 月 26 日に感染症指定医療機関などに設置されている「帰国者・接触者外来」だけでなく、一般の医療機関でも感染の疑いがある人を受け入れる基本方針を示しました。しかし、現時点においても、一般の医療機関でも感染の疑いや不安のある方からの相談や受診が相次いでいる状況で、PCR 検査以外での新型コロナウイルス感染症の見極めが難しく、医療従事者は常に感染の危険に晒されています。これに対し、マスクや衛生材料等の安定的な供給が困難な状況で、医療機関で常備している在庫が極めて少なくなっており、日常の診療にも支障をきたしています。

このままでは、患者及び医療従事者に感染の危険が更に高まり、診療の継続や安心・安全な医療の提供が困難となります。特に病院では、多くの患者・医療従事者が密集することから、感染予防対策が十分でなければ一気に感染が拡大してしまう危険性があり、緊急的に下記のご対応を強く要望いたします。

記

1. 京都府が災害・緊急時用に備蓄しているマスクや衛生材料等を不足する病院へ提供いただくこと
2. 病院へのマスク・衛生材料等の迅速且つ安定的な供給の実現に必要なあらゆる手段を講じていただくこと

以 上

資料 2

私病協発 1 - 670

令和 2 年 3 月 6 日

京都市長 門川 大作 様

一般社団法人京都私立病院協会

会 長 清水鴻一郎

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うマスク等の供給に関する緊急要望

本年 1 月中旬から日本国内においても発生している新型コロナウイルスは、感染拡大を続け、京都市内でも感染が発生し、終息の見通しがつかない状況となっています。

こうした状況の中、政府は 2 月 26 日に感染症指定医療機関などに設置されている「帰国者・接触者外来」だけでなく、一般の医療機関でも感染の疑いがある人を受け入れる基本方針を示しました。しかし、現時点においても、一般の医療機関でも感染の疑いや不安のある方からの相談や受診が相次いでいる状況で、PCR 検査以外での新型コロナウイルス感染症の見極めが難しく、医療従事者は常に感染の危険に晒されています。これに対し、マスクや衛生材料等の安定的な供給が困難な状況で、医療機関で常備している在庫が極めて少なくなっており、日常の診療にも支障をきたしています。

このままでは、患者及び医療従事者に感染の危険が更に高まり、診療の継続や安心・安全な医療の提供が困難となります。特に病院では、多くの患者・医療従事者が密集することから、感染予防対策が十分でなければ一気に感染が拡大してしまう危険性があり、緊急的に下記のご対応を強く要望いたします。

記

1. 京都市が災害・緊急時用に備蓄しているマスクや衛生材料等を不足する病院へ提供いただくこと
2. 病院へのマスク・衛生材料等の迅速且つ安定的な供給の実現に必要なあらゆる手段を講じていただくこと

以 上

資料3

私病協発1-671

令和2年3月6日

京都市長 門川 大作 様

一般社団法人京都私立病院協会
会 長 清水鴻一郎

当協会認定調査員へのマスクの提供に関する緊急要望

当協会では、京都市から委託を受けて要支援・要介護認定調査を実施しています。

新型コロナウイルス感染症が拡大を続け、京都市内でも感染者が発生し終息の見通しが立たない中、認定調査員はマスクの着用など、十分な感染予防対策をして訪問調査を実施する必要がありますが、認定調査員が着用するマスクが不足しています。既に当協会のマスクの在庫もなく、認定調査員に配布することも困難な状況です。

認定調査の対象者の殆どが新型コロナウイルスに感染すると重篤化する可能性が高いといわれる高齢者や慢性疾患を有する方であり、認定調査員が感染源になることは絶対に避けなければなりません。また、認定調査を病院で行わなければならない場合も多く、感染のリスクが高い場所での認定調査における飛沫感染・接触感染対策としてのマスクの着用は必要不可欠です。

新型コロナウイルスの感染が広がりつつある中、このままマスクが供給されなければ、認定調査事務を実施することはできません。厚生労働省が本年2月21日付で各指定都市介護保険担当主管部(局)宛に発出した事務連絡(別添)では、「不足している衛生用品のうち、介護保険担当部局で備蓄しているものについては、不足する高齢者施設等への優先的に放出を検討すること」としています。

認定調査員のマスク着用の必要性と厚生労働省事務連絡も踏まえ、至急のご対応を賜りますよう強く要望いたします。

以 上

第1号議案

令和元年度一般社団法人京都私立病院協会貸借対照表並びに
正味財産増減計算書等決算に関し承認を求める件

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

行No	科 目	令和元年度	平成30年度	増 減
1	I 資産の部			
2	1. 流動資産			
3	現金及び預金	245,120,599	220,026,990	25,093,609
4	未収会費	2,080,755	2,014,555	66,200
5	未収入金	69,759,973	71,603,198	△ 1,843,225
6	前払金	287,408	69,824	217,584
7	流動資産合計	317,248,735	293,714,567	23,534,168
8	2. 固定資産			
9	(1) 特定資産			
10	退職給付引当資産	22,509,658	20,541,100	1,968,558
11	減価償却引当資産	5,001,889	5,001,889	0
12	基金積立資産	30,373,837	30,373,837	0
13	什器備品積立資産	527,767	527,767	0
14	創立記念事業積立資産	0	4,000,000	△ 4,000,000
15	特定資産合計	58,413,151	60,444,593	△ 2,031,442
16	(2) その他固定資産			
17	建物付属設備	259,586	289,716	△ 30,130
18	什器備品	42,399	49,414	△ 7,015
19	ソフトウェア	0	141,120	△ 141,120
20	保証金	5,809,920	5,809,920	0
21	その他の固定資産合計	6,111,905	6,290,170	△ 178,265
22	固定資産合計	64,525,056	66,734,763	△ 2,209,707
23	資産合計	381,773,791	360,449,330	21,324,461
24				
25	II 負債の部			
26	1. 流動負債			
27	未払金	2,605,670	3,344,623	△ 738,953
28	前受金	1,990,000	1,923,000	67,000
29	預り金	437,695	398,103	39,592
30	賞与引当金	6,499,936	6,372,480	127,456
31	未払消費税等	2,160,600	1,819,900	340,700
32	流動負債合計	13,693,901	13,858,106	△ 164,205
33	2. 固定負債			
34	退職給付引当金	22,509,658	20,541,100	1,968,558
35	固定負債合計	22,509,658	20,541,100	1,968,558
36	負債合計	36,203,559	34,399,206	1,804,353
37				
38	III 正味財産の部			
39	1. 一般正味財産	345,570,232	326,050,124	19,520,108
40	(うち特定資産への充当額)	35,903,493	39,903,493	△ 4,000,000
41	正味財産合計	345,570,232	326,050,124	19,520,108
42	負債及び正味財産合計	381,773,791	360,449,330	21,324,461

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

行No	科 目	令和元年度	平成30年度	増 減
1	I 一般正味財産増減の部			
2	1. 経常増減の部			
3	(1) 経常収益			
4	① 特定資産運用益	(22,888)	(9,759)	(13,129)
5	特定資産受取利息	22,888	9,759	13,129
6	② 受取入会金	(0)	(130,000)	(△ 130,000)
7	入会金収益	0	130,000	△ 130,000
8	③ 受取会費	(57,951,866)	(58,685,476)	(△ 733,610)
9	会費収益	57,951,866	58,685,476	△ 733,610
10	④ 事業収益	(170,820,411)	(154,767,742)	(16,052,669)
11	参加事業収益	13,953,220	22,942,600	△ 8,989,380
12	広告事業収益	10,050,556	10,955,600	△ 905,044
13	創立55周年記念事業収益	27,444,840	0	27,444,840
14	その他事業収益	238,080	292,840	△ 54,760
15	介護サービス第三者評価事業収益	733,332	1,193,136	△ 459,804
16	京都市介護認定調査事業収益	28,702,110	27,752,760	949,350
17	府民リハビリテーション啓発支援事業収益	5,000,000	5,000,000	0
18	離職看護師能力再開発事業収益	500,000	500,000	0
19	看護人材早期復職支援事業収益	4,001,800	4,000,000	1,800
20	病院認知症対応力向上事業収益	4,365,000	4,500,000	△ 135,000
21	京都市病院認知症対応力向上事業収益	2,246,000	2,200,000	46,000
22	京都府医療勤務環境改善支援センター事業収益	9,700,000	9,520,000	180,000
23	病床転換促進事業収益	0	38,315,111	△ 38,315,111
24	病床連携推進事業収益	0	3,184,889	△ 3,184,889
25	医療従事者キャリア向上事業収益	40,129,000	0	40,129,000
26	医療従事者勤務環境改善体制整備事業収益	3,500,000	3,500,000	0
27	医療従事者確保強化事業収益	6,000,000	6,000,000	0
28	病院地域包括ケアシステム強化事業収益	3,900,000	4,200,000	△ 300,000
29	地域連携型在宅医療支援病院事業収益	2,517,000	3,000,000	△ 483,000
30	在宅療養あんしん病院事業収益	500,000	500,000	0
31	医療労務管理支援事業収益	7,339,473	7,210,806	128,667
32	⑤ 受取補助金等	(5,069,000)	(5,542,000)	(△ 473,000)
33	受取交付金	5,069,000	5,542,000	△ 473,000
34	⑥ 雑収益	(1,209,066)	(2,068,228)	(△ 859,162)
35	受取利息	407	488	△ 81
36	雑収益	1,208,659	2,067,740	△ 859,081
37	経常収益計	235,073,231	221,203,205	13,870,026
38				
39	(2) 経常費用			
40	① 事業費	(206,854,871)	(178,981,769)	(27,873,102)
41	給与手当	8,833,307	7,258,391	1,574,916
42	法定福利費	6,369,654	6,749,823	△ 380,169
43	福利厚生費	85,866	83,578	2,288
44	賞与引当金繰入額	6,499,936	6,372,480	127,456
45	退職給付費用	1,968,558	1,764,200	204,358
46	会議費	5,185,568	6,560,795	△ 1,375,227
47	旅費交通費	1,098,986	1,152,280	△ 53,294
48	通信運搬費	726,726	323,658	403,068
49	消耗品費	2,254,795	922,686	1,332,109
50	印刷製本費	156,506	192,847	△ 36,341

(単位：円)

行No	科 目	令和元年度	平成30年度	増 減
51	減 価 償 却 費	142,612	321,124	△ 178,512
52	慶 弔 費	276,600	205,540	71,060
53	図 書 資 料 費	600,512	709,459	△ 108,947
54	私 病 報 発 行 費	5,869,069	5,890,114	△ 21,045
55	委 員 会 事 業 費	326,820	165,000	161,820
56	部 会 ・ 教 育 事 業 費	6,110,912	5,165,521	945,391
57	ス ポ ー ツ ・ 記 念 式 典 事 業 費	3,660,195	9,939,656	△ 6,279,461
58	メ デ ィ ワ ー ク セ ン タ ー 事 業 費	569,200	482,000	87,200
59	創 立 55 周 年 記 念 事 業 費	32,515,580	0	32,515,580
60	介 護 サ ー ビ ス 第 三 者 評 価 事 業 費	733,332	1,193,136	△ 459,804
61	京 都 市 介 護 認 定 調 査 事 業 費	28,702,110	27,752,760	949,350
62	府 民 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 啓 発 支 援 事 業 費	5,000,000	5,000,000	0
63	離 職 看 護 師 能 力 再 開 発 事 業 費	540,339	556,502	△ 16,163
64	看 護 人 材 早 期 復 職 支 援 事 業 費	4,001,800	4,000,000	1,800
65	病 院 認 知 症 対 応 力 向 上 事 業 費	4,365,000	4,500,000	△ 135,000
66	京 都 市 病 院 認 知 症 対 応 力 向 上 事 業 費	2,246,000	2,200,000	46,000
67	京 都 府 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 費	9,700,000	9,520,000	180,000
68	病 床 転 換 促 進 事 業 費	0	38,315,111	△ 38,315,111
69	病 床 連 携 推 進 事 業 費	0	3,184,889	△ 3,184,889
70	医 療 従 事 者 キ ャ リ ア 向 上 事 業 費	40,129,000	0	40,129,000
71	医 療 従 事 者 勤 務 環 境 改 善 体 制 整 備 事 業 費	3,500,000	3,500,000	0
72	医 療 従 事 者 確 保 強 化 事 業 費	6,000,000	6,000,000	0
73	病 院 地 域 包 括 ケ ア シ ス テ ム 強 化 事 業 費	3,900,000	4,200,000	△ 300,000
74	地 域 連 携 型 在 宅 医 療 支 援 病 院 事 業 費	2,517,000	3,000,000	△ 483,000
75	在 宅 療 養 あ ん し ん 病 院 事 業 費	500,000	500,000	0
76	医 療 労 務 管 理 支 援 事 業 費	7,385,469	7,289,271	96,198
77	租 税 公 課	3,942,650	3,484,000	458,650
78	雑 費	440,769	526,948	△ 86,179
79	② 管理費	(8,698,252)	(8,114,573)	(583,679)
80	給 与 手 当	2,532,265	2,441,697	90,568
81	法 定 福 利 費	382,910	373,595	9,315
82	福 利 厚 生 費	755,473	170,063	585,410
83	通 信 運 搬 費	499,934	425,818	74,116
84	減 価 償 却 費	35,653	80,281	△ 44,628
85	図 書 資 料 費	493,679	491,064	2,615
86	賃 借 料	664,704	678,960	△ 14,256
87	支 払 手 数 料	1,787,688	1,634,688	153,000
88	理 事 会 等 費 用	1,073,566	1,145,600	△ 72,034
89	雑 費	472,380	672,807	△ 200,427
90	経 常 費 用 計	215,553,123	187,096,342	28,456,781
91	評 価 損 益 調 整 前 経 常 増 減 額	19,520,108	34,106,863	△ 14,586,755
92	当 期 経 常 増 減 額	19,520,108	34,106,863	△ 14,586,755
93	当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	19,520,108	34,106,863	△ 14,586,755
94	一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	326,050,124	291,943,261	34,106,863
95	一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	345,570,232	326,050,124	19,520,108
96				
97	II 正味財産期末残高	345,570,232	326,050,124	19,520,108

正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

行№	勘定科目	実施事業等会計		その他会計		法人会計	合計
		継1	小計	他1	小計		
1	I 一般正味財産増減の部						
2	1. 経常増減の部						
3	(1) 経常収益						
4	① 特定資産運用益	0	0	0	0	22,888	22,888
5	特定資産受取利息		0		0	22,888	22,888
6	② 受取入金	0	0	0	0	0	0
7	入金収益		0		0		0
8	③ 受取会費	0	0	11,590,374	11,590,374	46,361,492	57,951,866
9	会費収益		0	11,590,374	11,590,374	46,361,492	57,951,866
10	④ 事業収益	94,434,690	94,434,690	69,048,815	69,048,815	7,336,906	170,820,411
11	参加事業収益	9,767,254	9,767,254	4,185,966	4,185,966		13,953,220
12	広告事業収益		0	2,713,650	2,713,650	7,336,906	10,050,556
13	創立55周年記念事業収益	24,700,356	24,700,356	2,744,484	2,744,484		27,444,840
14	その他事業収益	238,080	238,080		0		238,080
15	介護サービス第三者評価事業収益		0	733,332	733,332		733,332
16	京都市介護認定調査事業収益		0	28,702,110	28,702,110		28,702,110
17	府民リハビリテーション啓発支援事業収益		0	5,000,000	5,000,000		5,000,000
18	離職看護師能力再開事業収益		0	500,000	500,000		500,000
19	看護人材早期復職支援事業収益		0	4,001,800	4,001,800		4,001,800
20	病院認知症対応力向上事業収益		0	4,365,000	4,365,000		4,365,000
21	京都市病院認知症対応力向上事業収益		0	2,246,000	2,246,000		2,246,000
22	京都府医療勤務環境改善支援センター事業収益	9,700,000	9,700,000		0		9,700,000
23	医療従事者キャリア向上事業収益	40,129,000	40,129,000		0		40,129,000
24	医療従事者勤務環境改善体制整備事業収益		0	3,500,000	3,500,000		3,500,000
25	医療従事者確保強化事業収益	6,000,000	6,000,000		0		6,000,000
26	病院地域包括ケアシステム強化事業収益	3,900,000	3,900,000		0		3,900,000
27	地域連携型在宅医療支援病院事業収益		0	2,517,000	2,517,000		2,517,000
28	在宅療養あんしん病院事業収益		0	500,000	500,000		500,000
29	医療労務管理支援事業収益		0	7,339,473	7,339,473		7,339,473
30	⑤ 受取補助金等	5,069,000	5,069,000	0	0	0	5,069,000
31	受取交付金	5,069,000	5,069,000		0		5,069,000
32	⑥ 雑収益	0	0	1,209,066	1,209,066	0	1,209,066
33	受取利息		0	407	407		407
34	雑収益		0	1,208,659	1,208,659		1,208,659
35	経常収益計	99,503,690	99,503,690	81,848,255	81,848,255	53,721,286	235,073,231
36							
37	(2) 経常費用						
38	① 事業費	117,735,445	117,735,445	89,119,426	89,119,426		206,854,871
39	給与手当	3,533,322	3,533,322	5,299,985	5,299,985		8,833,307
40	法定福利費	2,547,860	2,547,860	3,821,794	3,821,794		6,369,654
41	福利厚生費	19,749	19,749	66,117	66,117		85,866
42	賞与引当金繰入額	2,599,974	2,599,974	3,899,962	3,899,962		6,499,936
43	退職給付費用	787,423	787,423	1,181,135	1,181,135		1,968,558
44	会議費	2,074,226	2,074,226	3,111,342	3,111,342		5,185,568
45	旅費交通費	439,594	439,594	659,392	659,392		1,098,986
46	通信運搬費	290,689	290,689	436,037	436,037		726,726
47	消耗品費	901,919	901,919	1,352,876	1,352,876		2,254,795

(単位：円)

行№	勘定科目	実施事業等会計		その他会計		法人会計	合計
		継1	小計	他1	小計		
48	印刷製本費	62,603	62,603	93,903	93,903		156,506
49	減価償却費	57,045	57,045	85,567	85,567		142,612
50	慶弔費		0	276,600	276,600		276,600
51	図書資料費	360,307	360,307	240,205	240,205		600,512
52	私病報発行費	5,869,069	5,869,069		0		5,869,069
53	委員会事業費	326,820	326,820		0		326,820
54	部会・教育事業費	6,110,912	6,110,912		0		6,110,912
55	スポーツ・記念式典事業費		0	3,660,195	3,660,195		3,660,195
56	メデイワークセンター事業費	569,200	569,200		0		569,200
57	創立55周年記念事業費	29,264,022	29,264,022	3,251,558	3,251,558		32,515,580
58	介護サービス第三者評価事業費		0	733,332	733,332		733,332
59	京都市介護認定調査事業費		0	28,702,110	28,702,110		28,702,110
60	府民リハビリテーション啓発支援事業費		0	5,000,000	5,000,000		5,000,000
61	離職看護師能力再開発事業費		0	540,339	540,339		540,339
62	看護人材早期復職支援事業費		0	4,001,800	4,001,800		4,001,800
63	病院認知症対応力向上事業費		0	4,365,000	4,365,000		4,365,000
64	京都市病院認知症対応力向上事業費		0	2,246,000	2,246,000		2,246,000
65	京都府医療勤務環境改善支援センター事業費	9,700,000	9,700,000		0		9,700,000
66	医療従事者キャリア向上事業費	40,129,000	40,129,000		0		40,129,000
67	医療従事者勤務環境改善体制整備事業費		0	3,500,000	3,500,000		3,500,000
68	医療従事者確保強化事業費	6,000,000	6,000,000		0		6,000,000
69	病院地域包括ケアシステム強化事業費	3,900,000	3,900,000		0		3,900,000
70	地域連携型在宅医療支援病院事業費		0	2,517,000	2,517,000		2,517,000
71	在宅療養あんしん病院事業費		0	500,000	500,000		500,000
72	医療労務管理支援事業費		0	7,385,469	7,385,469		7,385,469
73	租税公課	1,971,325	1,971,325	1,971,325	1,971,325		3,942,650
74	雑費	220,386	220,386	220,383	220,383		440,769
75	② 管理費					8,698,252	8,698,252
76	給与手当					2,532,265	2,532,265
77	法定福利費					382,910	382,910
78	福利厚生費					755,473	755,473
79	通信運搬費					499,934	499,934
80	図書資料費					493,679	493,679
81	賃借料					664,704	664,704
82	支払手数料					1,787,688	1,787,688
83	理事会等費用					1,073,566	1,073,566
84	減価償却費					35,653	35,653
85	雑費					472,380	472,380
86	経常費用計	117,735,445	117,735,445	89,119,426	89,119,426	8,698,252	215,553,123
87	評価損益調整前経常増減額	△ 18,231,755	△ 18,231,755	△ 7,271,171	△ 7,271,171	45,023,034	19,520,108
88	当期経常増減額	△ 18,231,755	△ 18,231,755	△ 7,271,171	△ 7,271,171	45,023,034	19,520,108
89	当期一般正味財産増減額	△ 18,231,755	△ 18,231,755	△ 7,271,171	△ 7,271,171	45,023,034	19,520,108
90	※一般正味財産期首残高	△ 137,268,878	△ 137,268,878	199,639	199,639	334,570,719	326,050,124
91	一般正味財産期末残高	△ 155,500,633	△ 155,500,633	△ 7,071,532	△ 7,071,532	379,593,753	345,570,232
92							
93	II 正味財産期末残高	△ 155,500,633	△ 155,500,633	△ 7,071,532	△ 7,071,532	379,593,753	345,570,232

※一般正味財産期首残高については一般社団法人への移行に伴い、平成24年度に会計区分の内訳を行ったため、平成23年度までの額（128,548,644）を合計に加算

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物附属設備・・・定率法。但し、平成28年4月1日以降取得分については定額法

什器備品・・・・・・・・定率法

ソフトウェア・・・・・・・・定額法

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法の規定によっている。

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・・・・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金・・・・・・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	20,541,100	1,968,558	0	22,509,658
減価償却引当資産	5,001,889	0	0	5,001,889
基金積立資産	30,373,837	0	0	30,373,837
什器備品積立資産	527,767	0	0	527,767
創立記念事業積立資産	4,000,000	2,000,000	6,000,000	0
合 計	60,444,593	3,968,558	6,000,000	58,413,151

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	22,509,658	-	-	(22,509,658)
減価償却引当資産	5,001,889	-	(5,001,889)	-
基金積立資産	30,373,837	-	(30,373,837)	-
什器備品積立資産	527,767	-	(527,767)	-
創立記念事業積立資産	0	-	0	-
合 計	58,413,151	-	(35,903,493)	(22,509,658)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	749,392	489,806	259,586
什器備品	3,935,265	3,892,866	42,399
ソフトウェア	3,415,440	3,415,440	0
合 計	8,100,097	7,798,112	301,985

附 属 明 細 書

1 特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	退職給付引当資産	20,541,100	1,968,558	0	22,509,658
	減価償却引当資産	5,001,889	0	0	5,001,889
	基金積立資産	30,373,837	0	0	30,373,837
	什器備品積立資産	527,767	0	0	527,767
	創立記念事業積立資産	4,000,000	2,000,000	6,000,000	0
	特定資産計	60,444,593	3,968,558	6,000,000	58,413,151

2 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	6,372,480	6,499,936	6,372,479	1	6,499,936
退職給付引当金	20,541,100	1,968,558	0	0	22,509,658

財 産 目 録

(一般会計)

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
I. 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	
現金	現金手許有高 374,058
普通預金	
京都銀行	本店 115,384,593
みずほ銀行	京都支店 1,195,395
三菱UFJ銀行	京都支店 4,408,674
りそな銀行	京都支店 7,697,170
京都信用金庫	本店 15,834,038
京都中央信用金庫	本店 6,184,607
郵便振替	東洞院仏光寺 4,851,241
定期預金	
京都銀行	本店 56,819,448
三菱UFJ銀行	京都支店 22,371,375
京都中央信用金庫	本店 10,000,000
	(245,120,599)
未収会費	2,080,755
未収入金	
交付金収益	3,646,000
京都市介護認定調査事業収益	1,955,250
広告事業収益	27,000
創立55周年記念事業収益	804,950
府民リハビリテーション啓発支援事業収益	5,000,000
看護人材早期復職支援事業収益	4,001,800
病院認知症対応力向上事業収益	4,365,000
京都府医療勤務環境改善支援センター事業収益	9,700,000
医療従事者キャリア向上事業収益	18,753,500
医療従事者勤務環境改善体制整備事業収益	1,750,000
医療従事者確保強化事業収益	6,000,000
病院地域包括ケアシステム強化事業収益	3,900,000
地域連携型在宅医療支援病院事業収益	2,517,000
医療労務管理支援事業収益	7,339,473
	(69,759,973)
前払金	
図書資料費	76,208
会議費	211,200
	(287,408)
流 動 資 産 合 計	317,248,735

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		
2. 固定資産		
(1) 特定資産		
退職給付引当資産		
定期預金		
三菱 UFJ 銀行 京都支店	17,817,758	
りそな銀行 京都支店	4,691,900	
	(22,509,658)	
減価償却引当資産		
定期預金		
京都信用金庫 本店	5,001,889	
	(5,001,889)	
基金積立資産		
定期預金		
京都信用金庫 本店	30,373,837	
	(30,373,837)	
什器備品積立資産		
定期預金		
三菱 UFJ 銀行 京都支店	527,767	
	(527,767)	
特 定 資 産 合 計	58,413,151	
(2) その他固定資産		
建物附属設備	259,586	
什器備品	42,399	
保証金 事務局・会議室	5,713,920	
貸倉庫	96,000	
	(5,809,920)	
そ の 他 固 定 資 産 合 計	6,111,905	
固 定 資 産 合 計		64,525,056
資 産 合 計		381,773,791

(単位：円)

科 目	金 額		
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,605,670		
未払消費税等	2,160,600		
前受金	1,990,000		
預り金	437,695		
賞与引当金	6,499,936		
流 動 負 債 合 計		13,693,901	
2. 固定負債			
退職給付引当金	22,509,658		
固 定 負 債 合 計		22,509,658	
負 債 合 計			36,203,559
正 味 財 産			345,570,232

収 支 計 算 書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

行No	科 目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	差 異
1	I 事業活動収支の部			
2	1. 事業活動収入			
3	① 特定資産運用収入	(5,000)	(22,888)	(△ 17,888)
4	特定資産利息収入	5,000	22,888	△ 17,888
5	② 入金収入	(0)	(0)	(0)
6	入金収入	0	0	0
7	③ 会費収入	(57,500,000)	(57,951,866)	(△ 451,866)
8	会費収入	57,500,000	57,951,866	△ 451,866
9	④ 事業収入	(172,202,028)	(170,820,411)	(1,381,617)
10	参加事業収入	15,000,000	13,953,220	1,046,780
11	広告事業収入	9,500,000	10,050,556	△ 550,556
12	創立55周年記念事業収入	28,000,000	27,444,840	555,160
13	その他事業収入	250,000	238,080	11,920
14	介護サービス第三者評価事業収入	1,100,000	733,332	366,668
15	京都市介護認定調査事業収入	27,000,000	28,702,110	△ 1,702,110
16	府民リハビリテーション啓発支援事業収入	5,000,000	5,000,000	0
17	離職看護師能力再開発事業収入	500,000	500,000	0
18	看護人材早期復職支援事業収入	4,000,000	4,001,800	△ 1,800
19	病院認知症対応力向上事業収入	4,500,000	4,365,000	135,000
20	京都市病院認知症対応力向上事業収入	2,246,000	2,246,000	0
21	京都府医療勤務環境改善支援センター事業収入	9,700,000	9,700,000	0
22	医療従事者キャリア向上事業収入	41,500,000	40,129,000	1,371,000
23	医療従事者勤務環境改善体制整備事業収入	3,500,000	3,500,000	0
24	医療従事者確保強化事業収入	6,000,000	6,000,000	0
25	病院地域包括ケアシステム強化事業収入	4,200,000	3,900,000	300,000
26	地域連携型在宅医療支援病院事業収入	3,000,000	2,517,000	483,000
27	在宅療養あんしん病院事業収入	0	500,000	△ 500,000
28	医療労務管理支援事業収入	7,206,028	7,339,473	△ 133,445
29	⑤ 補助金等収入	(5,000,000)	(5,069,000)	(△ 69,000)
30	交付金収入	5,000,000	5,069,000	△ 69,000
31	⑥ 雑収入	(1,000,500)	(1,209,066)	(△ 208,566)
32	受取利息収入	500	407	93
33	雑収入	1,000,000	1,208,659	△ 208,659
34	事業活動収入計	235,707,528	235,073,231	634,297
35	2. 事業活動支出			
36	① 事業費支出	(227,546,000)	(204,616,245)	(22,929,755)
37	給与手当支出	28,000,000	15,205,787	12,794,213
38	法定福利費支出	8,000,000	6,369,654	1,630,346
39	福利厚生費支出	100,000	85,866	14,134
40	会議費支出	8,000,000	5,185,568	2,814,432
41	旅費交通費支出	1,700,000	1,098,986	601,014
42	通信運搬費支出	1,000,000	726,726	273,274
43	消耗品費支出	1,200,000	2,254,795	△ 1,054,795
44	印刷製本費支出	1,000,000	156,506	843,494
45	慶弔費支出	300,000	276,600	23,400
46	図書資料費支出	900,000	600,512	299,488
47	私病報発行費支出	6,500,000	5,869,069	630,931
48	委員会事業費支出	650,000	326,820	323,180
49	部会・教育事業費支出	6,500,000	6,110,912	389,088
50	スポーツ・記念式典事業費支出	6,000,000	3,660,195	2,339,805
51	メディアワークセンター事業費支出	700,000	569,200	130,800
52	創立 55 周年記念事業費支出	33,000,000	32,515,580	484,420
53	介護サービス第三者評価事業費支出	1,100,000	733,332	366,668

(単位：円)

行No	科 目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	差 異
54	京都市介護認定調査事業費支出	27,000,000	28,702,110	△ 1,702,110
55	府民リハビリテーション啓発支援事業費支出	5,000,000	5,000,000	0
56	離職看護師能力再開発事業費支出	500,000	540,339	△ 40,339
57	看護人材早期復職支援事業費支出	4,000,000	4,001,800	△ 1,800
58	病院認知症対応力向上事業費支出	4,500,000	4,365,000	135,000
59	京都市病院認知症対応力向上事業費支出	2,246,000	2,246,000	0
60	京都府医療勤務環境改善支援センター事業費支出	9,700,000	9,700,000	0
61	医療従事者キャリア向上事業費支出	41,500,000	40,129,000	1,371,000
62	医療従事者勤務環境改善体制整備事業費支出	3,500,000	3,500,000	0
63	医療従事者確保強化事業費支出	6,000,000	6,000,000	0
64	病院地域包括ケアシステム強化事業費支出	4,200,000	3,900,000	300,000
65	地域連携型在宅医療支援病院事業費支出	3,000,000	2,517,000	483,000
66	在宅療養あんしん病院事業費支出	0	500,000	△ 500,000
67	医療労務管理支援事業費支出	7,350,000	7,385,469	△ 35,469
68	租 税 公 課 支 出	3,800,000	3,942,650	△ 142,650
69	雑 支 出	600,000	440,769	159,231
70	② 管理費支出	(11,020,000)	(8,662,599)	(2,357,401)
71	給 与 手 当 支 出	2,800,000	2,532,265	267,735
72	法 定 福 利 費 支 出	500,000	382,910	117,090
73	福 利 厚 生 費 支 出	850,000	755,473	94,527
74	会 議 費 支 出	100,000	0	100,000
75	旅 費 交 通 費 支 出	100,000	0	100,000
76	通 信 運 搬 費 支 出	650,000	499,934	150,066
77	消 耗 品 費 支 出	100,000	0	100,000
78	修 繕 費 支 出	20,000	0	20,000
79	印 刷 製 本 費 支 出	150,000	0	150,000
80	図 書 資 料 費 支 出	600,000	493,679	106,321
81	賃 借 料 支 出	800,000	664,704	135,296
82	支 払 手 数 料 支 出	2,000,000	1,787,688	212,312
83	理 事 会 等 費 用 支 出	1,500,000	1,073,566	426,434
84	慶 弔 費 支 出	50,000	0	50,000
85	雑 支 出	800,000	472,380	327,620
86	事 業 活 動 支 出 計	238,566,000	213,278,844	25,287,156
87	事 業 活 動 収 支 差 額	△ 2,858,472	21,794,387	△ 24,652,859
88	Ⅱ 投資活動収支の部			
89	1. 投資活動収入			
90	① 特定資産取崩収入	(6,000,000)	(6,000,000)	(0)
91	創立記念事業積立資産取崩収入	6,000,000	6,000,000	0
92	投 資 活 動 収 入 計	6,000,000	6,000,000	0
93	2. 投資活動支出			
94	① 特定資産取得支出	(4,000,000)	(3,968,558)	(31,442)
95	退職給付引当資産取得支出	2,000,000	1,968,558	31,442
96	創立記念事業積立資産取得支出	2,000,000	2,000,000	0
97	② 固定資産取得支出	(200,000)	(0)	(200,000)
98	什 器 備 品 購 入 支 出	100,000	0	100,000
99	ソ フ ト ウ ェ ア 購 入 支 出	100,000	0	100,000
100	投 資 活 動 支 出 計	4,200,000	3,968,558	231,442
101	投 資 活 動 収 支 差 額	1,800,000	2,031,442	△ 231,442
102				
103	Ⅲ 予備費支出	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)
104	予 備 費 支 出	1,000,000	0	1,000,000
105	当 期 収 支 差 額	△ 2,058,472	23,825,829	△ 25,884,301
106	前 期 繰 越 収 支 差 額	286,228,941	286,228,941	0
107	次 期 繰 越 収 支 差 額	284,170,469	310,054,770	△ 25,884,301

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収会費、未収入金、前払金、仮払金、未払金、未払消費税等、前受金、預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	220,026,990	245,120,599
未収会費	2,014,555	2,080,755
未収入金	71,603,198	69,759,973
前払金	69,824	287,408
合 計	293,714,567	317,248,735
未払金	3,344,623	2,605,670
未払消費税等	1,819,900	2,160,600
前受金	1,923,000	1,990,000
預り金	398,103	437,695
合 計	7,485,626	7,193,965
次期繰越収支差額	286,228,941	310,054,770

令和元年度一般社団法人京都私立病院協会 公益目的支出計画実施報告について

令和元年度公益目的支出計画実施報告書

当協会は、平成25年4月1日に一般社団法人へ移行しましたが、行政庁に公益目的支出計画の実施の完了の確認を受けるまでの間、事業年度毎に移行法人として、公益目的支出計画の実施状況を明らかにする書類（以下「公益目的支出計画実施報告書」という。）を作成し、監事による監査を受け、理事会の承認を受けた後、総会において報告し、さらに6月末までに、総会で承認された貸借対照表、正味財産増減計算書（損益計算書）、事業報告及びこれらについての監事の監査報告並びに公益目的支出計画実施報告書についての監事の監査報告と併せて、行政庁に提出する必要があります。

令和元年度公益目的支出計画の実施状況について、以下のとおり報告いたします。

【令和元年度公益目的支出計画実施報告書の内容】

1. 公益目的財産額：算定日 平成25年3月31日
公益目的財産額：147,180,562円
2. 当該年度の公益目的収支差額 $((1)+(2)-(3))$ 120,410,643円
 - (1) 前年事業年度末日の公益目的収支差額 102,178,888円
 - (2) 公益目的支出の額 117,735,445円（計画 94,479,373円）
 - (3) 実施事業収入の額 99,503,690円（計画 88,690,537円）
3. 当該事業年度末日の公益目的財産額
26,769,919円（計画 37,700,807円）
4. 2. で記載した額が計画した見込み額（記載）と異なる場合、その概要及び理由
今年度は事業を拡充し、実施したため

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の実施期間 14年間（計画 14年間）

公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日

令和9年3月31日（計画 令和9年3月31日）

令和元年度一般社団法人京都私立病院協会監事による監査報告について

謄 本

監 査 報 告 書

私たちは、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年事業年度における理事会の執行を監査するため、理事会に出席するほか、必要に応じて理事から事業の報告を聞き、重要な決裁書類を閲覧し、計算書類につき慎重に検討を加え、監査した結果次のとおり報告します。

記

- 1 貸借対照表及び正味財産増減計算書、並びに財産目録は、法令及び定款にしたがって、協会の財産及び収支の状況を正しく示していると認める。
- 2 事業報告書の内容は真実であると認める。
- 3 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実の有無については、指摘すべき事実はない。

以 上

令和2年5月7日

一般社団法人京都私立病院協会
会 長 清水 鴻一郎 殿

一般社団法人 京都私立病院協会
監事 大槻 秧司
監事 清水 紘
監事 高松 晃司

(注) 上記は監査報告書に記載された事項を掲載したものであり、その原本は別途保管しております。

謄 本

監 査 報 告 書

私たちは、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年事業年度における公益目的支出計画実施報告書に関し、理事会に出席するほか、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、慎重に検討を加え、監査した結果次のとおり報告します。

記

- 1 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認める。

以 上

令和2年5月7日

一般社団法人京都私立病院協会

会 長 清水 鴻一郎 殿

一般社団法人 京都私立病院協会

監事 大槻 秧司

監事 清水 紘

監事 高松 晃司

(注) 上記は監査報告書に記載された事項を掲載したものであり、その原本は別途保管しております。

令和2年度一般社団法人京都私立病院協会事業計画について

令和2年度事業計画の重点

京都私立病院協会の目的は、会員病院と会員施設（以下、会員という）の発展及び質的向上にある。私立病院の地域医療・介護に果たす役割は大きく、会員の社会資本としての安定と充実が不可欠であるが、現在存続の危機に瀕している。

京都私立病院協会は、あらゆる機会をとらえて、地域医療の中心的な役割を担う私立病院等の重要性を発信し、会員の向上・発展のために全力を挙げて活動する。会としての力を高めるため、会員間の交流と相互理解に努め、会員の結集を図る。以上を本年度の協会活動の基本とする。

- 1 高齢社会を迎えて持続可能な医療・介護提供体制の維持と地域医療・介護の充実のために他の医療・看護・介護関係団体と協力し、府民の理解を得るべく活動する。
- 2 会員が、その公共性に鑑み変化する社会の要望に対応して、医療の質及び病院機能の向上、倫理の高揚に努めることができるように適切な情報及び研修機会等を提供する。
- 3 京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）の実現に向け、行政ならびに他の医療団体と連携し、府内の医療提供体制と介護サービス提供体制の確立にむけ、協議の場に参加し、積極的に提言をおこなう。
- 4 医療の安全管理、危機管理や防災管理等についての対策を更に推進する。
- 5 医療保険制度及び介護保険制度について検討をおこなうとともに、会員の立場に立って提言する。
- 6 診療報酬に対する事業税の非課税化と消費税にまつわる不適切な税制度の改正を粘り強く求めていく。
- 7 人と地球にやさしい環境問題への取り組みを継続する。
- 8 新型コロナウイルス感染症について、行政並びに各種団体と連携を図りながら対策を協議するとともに、会員への迅速な情報提供をおこなう。

<総務部>

- 1 日常業務の充実と会員への積極的働きかけ
 - 1) 職種・職務別組織活動、地区別組織活動を活性化させ、会員相互の連携と組織の体質強化を図る。
 - (1) 職種・職務別組織
 - ①理事長・院長会 ②事務長会 ③看護部長会 ④薬剤師部会 ⑤放射線技師部会
 - ⑥栄養士部会 ⑦臨床検査部会 ⑧リハビリテーション部会 ⑨臨床工学技士部会
 - (2) 職種・職務別組織の連携
職種・職務別組織の連携を強化するため、部会連携会議を開催し、各部会の活動の活性化を

図るとともに、働き方改革の実行に向け、各職種間の連携についても検討を行う。

(3) 地区別組織

①北部地区 ②京都市域 ③南部地区

(4) その他関係職種別部会の設置について、必要に応じて検討する。

2) 会員に必要な情報の迅速な収集・分析・提供に努め、加えて広報活動を充実させる。

(1) 協会ホームページの充実

(2) ICT を活用し、行政からの通知その他会員の経営・運営に資する情報等の迅速な情報提供に努める。

3) 医療・介護従事者の確保と養成に努める。

(1) 京都保健衛生専門学校と京都中央看護保健大学校の充実を図り、保健師・看護師、臨床検査技師、臨床工学技士の養成に力を注ぐ。

(2) 無料職業紹介ネットワークセンターへの求人・求職登録を推進し、会員の医療従事者の確保・充実に寄与する。

4) 関係事業所との連携を密にし、それぞれの事業の発展に寄与する。

・京都保健衛生専門学校 ・京都府病院協同組合
・京都府病院企業年金基金 ・京都中央看護保健大学校

2 医療制度問題への取り組み

医療を取り巻く情勢を的確に把握・分析し、医療のあるべき姿を追求する。

3 対外活動の推進

1) 京都における医療・看護・介護関係団体との連携強化を図る。

2) 近畿病院団体連合会の充実・発展に寄与する。

3) 中央における病院団体等との連携を深める。また全日本病院協会ならびに日本医療法人協会の京都府支部の運営をおこない、さらなる連携強化を図る。

4) 協会活動について行政やメディアをはじめ、広く社会・地域へ発信し、医療の実情の理解を得るよう努め、私立病院の果たしている機能と役割の周知を図る。

<保険部>

1 医療保険

1) 社会保険の諸基準の取得や維持にむけて、会員への積極的な助言・指導、医療関係団体との調整をおこなう。

2) 令和2年度診療報酬改定の会員における影響について調査を実施し、検証を行う。

3) 診療報酬委員会を開催し、良質な医療および療養環境整備のため、診療報酬への適切な対応と改善を求める。

4) 京都における医療保険制度全般について、積極的に提言をおこなう。

2 介護保険

1) 介護保険の諸基準の取得や維持にむけて、会員への積極的な助言・指導、介護・福祉関係団体

との調整をおこなう。

- 2) 令和3年度介護報酬改定に向けての情報収集をおこない、対策を講じる。
- 3) 京都における高齢者の保健・福祉について、積極的に提言をおこなう。
- 4) 会員施設における介護サービス「第三者評価」の受診を推進するとともに介護サービス「第三者評価」の評価調査者の養成と派遣をおこない、調査の質の向上に取り組む。
- 5) 介護保険委員会を開催し、京都府および京都市と意見調整を図りながら、介護保険制度上の問題解決を図る。また、ケアマネジャーなど介護保険に関わる職種の質の向上を図る。

<地域医療部>

1 医師・看護師等をはじめとする医療従事者確保・定着の推進

- 1) 医師・看護師等医療従事者不足による地域医療の崩壊を防ぐための要望や提言をおこなう。
- 2) 医師臨床研修制度ならびに専門医制度の問題点に対して要望や提言をおこなう。
- 3) 京都市より受託した離職看護師の復職支援に関する事業の推進に取り組む。
- 4) 京都府から受託した看護人材早期復職支援事業に取り組み、京都府内の看護師の潜在化の防止並びに潜在看護師の就業促進を図る。
- 5) 京都府地域医療支援センター運営会議に参画し、府内の医師確保に取り組む。
- 6) 京都府から受託した京都府医療勤務環境改善支援センターの運営をおこない、医療機関の勤務環境改善に向けた自主的な取り組みを支援する。
- 7) 医療従事者勤務環境改善体制整備事業に取り組み、医師事務作業補助者の養成をおこない、医師が診療業務に専念できる勤務環境を確保し、医療の質の向上を図る。
- 8) 医療従事者確保強化事業に取り組み、病院で不足している薬剤師の復職支援並びに看護補助者の就業支援を強化し、医療従事者の確保・定着を図る。
- 9) 京都労働局から受託した医療労務管理支援事業の運営をおこない、勤務環境改善に係る取り組みをおこなう医療機関に対し労務管理全般にわたり支援する。

2 救急医療並びに休日時間外診療体制の推進

- 1) 二次病院群輪番体制の確保事業の推進に協力する。
- 2) 小児救急医療施設の役割分担と連携を推進する。
- 3) 救急病院の質的向上を目指し、病院前救護体制と病院との連携を図る。
- 4) 精神科救急医療の確立にむけて要望ならびに提言をおこなう。
- 5) 認知症患者の救急搬送について検討するとともに、対応力を強化し、診療報酬等での適切な対応を求める。
- 6) 交通事故医療費の請求及び支払いの適正な運用を図る。

3 医療・介護サービスの提供体制の推進

京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）に関して検討し、府内の医療・介護提供体制の確立に向け対策を講じる。

またすべての医療従事者が、京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）の理解を深め、将来

の医療提供体制の充実に寄与する医療従事者キャリア向上事業を実施する。

4 感染症対策の推進

感染症対策委員会において感染防止対策ならびに褥瘡ケア・予防対策を検討し、会員に情報を提供する。

5 安全対策の推進

医療安全対策委員会において、医療事故防止と医療安全について積極的に啓発をおこなうとともに大規模災害に対する対策について検討し、要望ならびに提言をおこなう。

6 京都市域包括ケアシステムの推進

- 1) 京都における地域包括ケア体制の確保に向け、在宅療養あんしん病院登録システムの推進に協力し、各種関係団体と連携をとりながら体制の充実を図る。
- 2) 府民リハビリテーション啓発支援事業に取り組み、リハビリテーション不足地域の高齢者に対し身体機能維持のための運動機能訓練等の啓発をおこなう。
- 3) 病院認知症対応力向上事業に取り組み、病院の全職員の認知症対応力向上を図るとともに、地域との連携を強化するための研修等をおこなう。
- 4) 病院地域包括ケアシステム強化事業に取り組み、幅広い視点で地域包括ケアシステムを担うことのできる職員を育成し、多職種・他施設等との連携強化により、医療・介護連携体制の更なる構築を図る。
- 5) 地域連携型在宅医療支援病院事業に取り組み、地域の各種団体と連携を図り、在宅医療人材の育成及び拠点整備等をおこなう病院を支援する。

<学術研修部>

1 京都病院学会の開催

第55回京都病院学会において、病院に勤務する全職員があらゆる病院機能との連携が可能となるよう必要な知識やスキルを共有し、あわせて会員病院全職種の研究成果を発表する場としてより一層の充実を図る。また第56回京都病院学会の開催に向けての準備も開始する。

2 教育研修の充実

- 1) 新入職員を対象とした教育研修基礎コースを開催する。
- 2) 看護師の卒後研修の充実を図り、看護職員の質の向上に努める。
- 3) 看護補助者・介護職員の教育研修をおこなう。
- 4) 薬剤・放射線・栄養・臨床検査・リハビリ・臨床工学・医療事務等を対象とした教育研修をおこない、優秀な職員の育成に努める。
- 5) 保健医療管理者養成講座の更なる充実を図る。

<経営管理部>

1 病院経営に関する取り組み

- 1) 民間病院に対する国庫並びに京都府等の補助制度の周知と活用を推進し、医療政策推進に寄与

する。

2) 「京都府救急告示等運転資金融資斡旋制度」の運用にあたり、条件の整備に取り組む。

2 病院管理に関する取り組み

1) 環境問題委員会において、地球環境問題を認識し、会員の社会的役割の向上に努め、環境の保全にむけて積極的に取り組む。また節電及び省エネ問題について行政ならびに関係諸団体と協力体制のもと、積極的に対応する。

2) 病院機能向上委員会において、会員病院の質的向上を目指し、日本医療機能評価機構等の第三者評価の受審を支援する。

3 税制問題への取り組み

1) 医療機関における消費税非課税制度の適正化にむけ、引き続き要望や提言をおこなう。

2) 医療機関における事業税の特例措置（都道府県税）の存続について要望や提言をおこなう。

3) 法人税、相続税等の税問題について研究し、改善を求める。

4 禁煙推進への取り組み

禁煙を推進している団体と連携し、健康増進に努める。

<厚生部>

1 機関誌「京都私立病院報」の発行

2 会員間の交流と親睦を深める事業の実施

1) 第56回病院対抗野球大会を開催する。

2) 第43回病院対抗女子バレーボール大会を開催する。

3) 第15回病院対抗フットサル大会を開催する。

4) 第8回会員親睦ゴルフコンペを開催する。

5) 病院職員に対する福利厚生事業の検討をおこなう。

第5号報告

令和2年度一般社団法人京都私立病院協会収支予算書並びに
正味財産増減予算書について

収 支 予 算 書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

行No	科 目	令和2年度予算額	令和元年度予算額	差 異
1	I. 事業活動収支の部			
2	1. 事業活動収入			
3	① 特定資産運用収入	(20,000)	(5,000)	(15,000)
4	特定資産利息収入	20,000	5,000	15,000
5	② 入会金収入	(100,000)	(0)	(100,000)
6	入会金収入	100,000	0	100,000
7	③ 会費収入	(58,000,000)	(57,500,000)	(500,000)
8	会費収入	58,000,000	57,500,000	500,000
9	④ 事業収入	(146,404,309)	(172,202,028)	(△ 25,797,719)
10	参加事業収入	15,000,000	15,000,000	0
11	広告事業収入	9,000,000	9,500,000	△ 500,000
12	創立55周年記念事業収入	0	28,000,000	△ 28,000,000
13	その他事業収入	250,000	250,000	0
14	介護サービス第三者評価事業収入	360,000	1,100,000	△ 740,000
15	京都市介護認定調査事業収入	28,000,000	27,000,000	1,000,000
16	府民リハビリテーション啓発支援事業収入	5,000,000	5,000,000	0
17	離職看護師能力再開発事業収入	500,000	500,000	0
18	看護人材早期復職支援事業収入	4,000,000	4,000,000	0
19	病院認知症対応力向上事業収入	4,584,000	4,500,000	84,000
20	京都市病院認知症対応力向上事業収入	2,292,000	2,246,000	46,000
21	京都府医療勤務環境改善支援センター事業収入	9,700,000	9,700,000	0
22	医療従事者キャリア向上事業収入	41,500,000	41,500,000	0
23	医療従事者勤務環境改善体制整備事業収入	3,500,000	3,500,000	0
24	医療従事者確保強化事業収入	6,000,000	6,000,000	0
25	病院地域包括ケアシステム強化事業収入	4,200,000	4,200,000	0
26	地域連携型在宅医療支援病院事業収入	3,000,000	3,000,000	0
27	在宅療養あんしん病院事業収入	500,000	0	500,000
28	医療労務管理支援事業収入	9,018,309	7,206,028	1,812,281
29	⑤ 補助金等収入	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
30	交付金収入	5,000,000	5,000,000	0
31	⑥ 雑収入	(1,000,500)	(1,000,500)	(0)
32	受取利息収入	500	500	0
33	雑収入	1,000,000	1,000,000	0
34	事業活動収入計	210,524,809	235,707,528	△ 25,182,719
35				
36	2. 事業活動支出			
37	① 事業費支出	(197,154,309)	(227,546,000)	(△ 30,391,691)
38	給与手当支出	28,000,000	28,000,000	0
39	法定福利費支出	9,000,000	8,000,000	1,000,000
40	福利厚生費支出	100,000	100,000	0

(単位：円)

行No	科 目	令和2年度予算額	令和元年度予算額	差 異
41	会 議 費 支 出	7,000,000	8,000,000	△ 1,000,000
42	旅 費 交 通 費 支 出	1,700,000	1,700,000	0
43	通 信 運 搬 費 支 出	1,500,000	1,000,000	500,000
44	消 耗 品 費 支 出	1,500,000	1,200,000	300,000
45	印 刷 製 本 費 支 出	500,000	1,000,000	△ 500,000
46	慶 弔 費 支 出	300,000	300,000	0
47	図 書 資 料 費 支 出	900,000	900,000	0
48	私 病 報 発 行 費 支 出	6,500,000	6,500,000	0
49	委 員 会 事 業 費 支 出	500,000	650,000	△ 150,000
50	部 会 ・ 教 育 事 業 費 支 出	3,000,000	6,500,000	△ 3,500,000
51	ス ポ ー ツ ・ 記 念 式 典 事 業 費 支 出	9,000,000	6,000,000	3,000,000
52	メ ディ ワ ー ク セ ン タ ー 事 業 費 支 出	900,000	700,000	200,000
53	創 立 55 周 年 記 念 事 業 費 支 出	0	33,000,000	△ 33,000,000
54	介 護 サ ー ビ ス 第 三 者 評 価 事 業 費 支 出	360,000	1,100,000	△ 740,000
55	京 都 市 介 護 認 定 調 査 事 業 費 支 出	28,000,000	27,000,000	1,000,000
56	府 民 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 啓 発 支 援 事 業 費 支 出	5,000,000	5,000,000	0
57	離 職 看 護 師 能 力 再 開 発 事 業 費 支 出	500,000	500,000	0
58	看 護 人 材 早 期 復 職 支 援 事 業 費 支 出	4,000,000	4,000,000	0
59	病 院 認 知 症 対 応 力 向 上 事 業 費 支 出	4,584,000	4,500,000	84,000
60	京 都 市 病 院 認 知 症 対 応 力 向 上 事 業 費 支 出	2,292,000	2,246,000	46,000
61	京 都 府 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 費 支 出	9,700,000	9,700,000	0
62	医 療 従 事 者 キ ャ リ ア 向 上 事 業 費 支 出	41,500,000	41,500,000	0
63	医 療 従 事 者 勤 務 環 境 改 善 体 制 整 備 事 業 費 支 出	3,500,000	3,500,000	0
64	医 療 従 事 者 確 保 強 化 事 業 費 支 出	6,000,000	6,000,000	0
65	病 院 地 域 包 括 ケ ア シ ス テ ム 強 化 事 業 費 支 出	4,200,000	4,200,000	0
66	地 域 連 携 型 在 宅 医 療 支 援 病 院 事 業 費 支 出	3,000,000	3,000,000	0
67	在 宅 療 養 あ ん し ん 病 院 事 業 費 支 出	500,000	0	500,000
68	医 療 労 務 管 理 支 援 事 業 費 支 出	9,018,309	7,350,000	1,668,309
69	租 税 公 課 支 出	4,000,000	3,800,000	200,000
70	雑 支 出	600,000	600,000	0
71	② 管理費支出	(10,270,000)	(11,020,000)	(△ 750,000)
72	給 与 手 当 支 出	2,800,000	2,800,000	0
73	法 定 福 利 費 支 出	500,000	500,000	0
74	福 利 厚 生 費 支 出	600,000	850,000	△ 250,000
75	会 議 費 支 出	100,000	100,000	0
76	旅 費 交 通 費 支 出	100,000	100,000	0
77	通 信 運 搬 費 支 出	600,000	650,000	△ 50,000
78	消 耗 品 費 支 出	100,000	100,000	0
79	修 繕 費 支 出	20,000	20,000	0
80	印 刷 製 本 費 支 出	100,000	150,000	△ 50,000
81	慶 弔 費 支 出	50,000	50,000	0
82	図 書 資 料 費 支 出	600,000	600,000	0
83	賃 借 料 支 出	800,000	800,000	0
84	支 払 手 数 料 支 出	2,000,000	2,000,000	0
85	理 事 会 等 費 用 支 出	1,300,000	1,500,000	△ 200,000
86	雑 支 出	600,000	800,000	△ 200,000

(単位：円)

行No	科 目	令和2年度予算額	令和元年度予算額	差 異
87	事業活動支出計	207,424,309	238,566,000	△ 31,141,691
88	事業活動収支差額	3,100,500	△ 2,858,472	5,958,972
89				
90	Ⅱ. 投資活動収支の部			
91	1. 投資活動収入	(0)	(6,000,000)	(△ 6,000,000)
92	① 創立記念事業積立資産取崩収入	0	6,000,000	△ 6,000,000
93	投資活動収入計	0	6,000,000	△ 6,000,000
94				
95	2. 投資活動支出			
96	① 特定資産取得支出	(2,100,000)	(4,000,000)	(△ 1,900,000)
97	退職給付引当資産取得支出	2,100,000	2,000,000	100,000
98	創立記念事業積立資産取得支出	0	2,000,000	△ 2,000,000
99	② 固定資産取得支出	(200,000)	(200,000)	(0)
100	什器備品購入支出	100,000	100,000	0
101	ソフトウェア購入支出	100,000	100,000	0
102	投資活動支出計	2,300,000	4,200,000	△ 1,900,000
103	投資活動収支差額	△ 2,300,000	1,800,000	△ 4,100,000
104				
105	Ⅲ. 予備費支出	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
106	予備費支出	1,000,000	1,000,000	0
107	当期収支差額	△ 199,500	△ 2,058,472	1,858,972
108	前期繰越収支差額	310,054,770	286,228,941	23,825,829
109	次期繰越収支差額	309,855,270	284,170,469	25,684,801

正味財産増減予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

行No	勘定科目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
		継 1	他 1		
1	I 一般正味財産増減の部				
2	1. 経常増減の部				
3	(1) 経常収益				
4	① 特定資産運用益			(20,000)	(20,000)
5	特定資産受取利息			20,000	20,000
6	② 受取入会金		(100,000)		(100,000)
7	入会金収益		100,000		100,000
8	③ 受取会費		(11,600,000)	(46,400,000)	(58,000,000)
9	会費収益		11,600,000	46,400,000	58,000,000
10	④ 事業収益	(72,150,000)	(67,684,309)	(6,570,000)	(146,404,309)
11	参加事業収益	10,500,000	4,500,000		15,000,000
12	広告事業収益		2,430,000	6,570,000	9,000,000
13	その他事業収益	250,000			250,000
14	介護サービス第三者評価事業収益		360,000		360,000
15	京都市介護認定調査事業収益		28,000,000		28,000,000
16	府民リハビリテーション啓発支援事業収益		5,000,000		5,000,000
17	離職看護師能力再開発事業収益		500,000		500,000
18	看護人材早期復職支援事業収益		4,000,000		4,000,000
19	病院認知症対応力向上事業収益		4,584,000		4,584,000
20	京都市病院認知症対応力向上事業収益		2,292,000		2,292,000
21	京都府医療勤務環境改善支援センター事業収益	9,700,000			9,700,000
22	医療従事者キャリア向上事業収益	41,500,000			41,500,000
23	医療従事者勤務環境改善体制整備事業収益		3,500,000		3,500,000
24	医療従事者確保強化事業収益	6,000,000			6,000,000
25	病院地域包括ケアシステム強化事業収益	4,200,000			4,200,000
26	地域連携型在宅医療支援病院事業収益		3,000,000		3,000,000
27	在宅療養あんしん病院事業収益		500,000		500,000
28	医療労務管理支援事業収益		9,018,309		9,018,309
29	⑤ 受取補助金等	(5,000,000)			(5,000,000)
30	受取交付金	5,000,000			5,000,000
31	⑥ 雑収益		(1,000,500)		(1,000,500)
32	受取利息		500		500
33	雑収益		1,000,000		1,000,000
34	経常収益計	77,150,000	80,384,809	52,990,000	210,524,809
35					
36	(2) 経常費用				
37	① 事業費	(98,293,560)	(107,487,149)		(205,780,709)
38	給与手当	11,200,000	16,800,000		28,000,000
39	法定福利費	3,600,000	5,400,000		9,000,000
40	福利厚生費	23,000	77,000		100,000
41	賞与引当金繰入額	2,600,000	3,900,000		6,500,000
42	退職給付費	840,000	1,260,000		2,100,000
43	会議費	2,800,000	4,200,000		7,000,000
44	旅費交通費	680,000	1,020,000		1,700,000
45	通信運搬費	600,000	900,000		1,500,000
46	消耗品費	600,000	900,000		1,500,000
47	印刷製本費	200,000	300,000		500,000

(単位：円)

行No	勘定科目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
		継 1	他 1		
48	減 価 償 却 費	10,560	15,840		26,400
49	慶 弔 費		300,000		300,000
50	図 書 資 料 費	540,000	360,000		900,000
51	私 病 報 発 行 費	6,500,000			6,500,000
52	委 員 会 事 業 費	500,000			500,000
53	部 会・教 育 事 業 費	3,000,000			3,000,000
54	ス ポー ツ・記 念 式 典 事 業 費		9,000,000		9,000,000
55	メ デ ィ ワー ク セ ン ター 事 業 費	900,000			900,000
56	介 護 サ ー ビ ス 第 三 者 評 価 事 業 費		360,000		360,000
57	京 都 市 介 護 認 定 調 査 事 業 費		28,000,000		28,000,000
58	府 民 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 啓 発 支 援 事 業 費		5,000,000		5,000,000
59	離 職 看 護 師 能 力 再 開 発 事 業 費		500,000		500,000
60	看 護 人 材 早 期 復 職 支 援 事 業 費		4,000,000		4,000,000
61	病 院 認 知 症 対 応 力 向 上 事 業 費		4,584,000		4,584,000
62	京 都 市 病 院 認 知 症 対 応 力 向 上 事 業 費		2,292,000		2,292,000
63	京 都 府 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン ター 事 業 費	9,700,000			9,700,000
64	医 療 従 事 者 キ ャ リ ア 向 上 事 業 費	41,500,000			41,500,000
65	医 療 従 事 者 勤 務 環 境 改 善 体 制 整 備 事 業 費		3,500,000		3,500,000
66	医 療 従 事 者 確 保 強 化 事 業 費	6,000,000			6,000,000
67	病 院 地 域 包 括 ケ ア シ ス テ ム 強 化 事 業 費	4,200,000			4,200,000
68	地 域 連 携 型 在 宅 医 療 支 援 病 院 事 業 費		3,000,000		3,000,000
69	在 宅 療 養 あ ん し ん 病 院 事 業 費		500,000		500,000
70	医 療 労 務 管 理 支 援 事 業 費		9,018,309		9,018,309
71	租 税 公 課 費	2,000,000	2,000,000		4,000,000
72	雑 費	300,000	300,000		600,000
73	② 管理費			(10,276,600)	(10,276,600)
74	給 与 手 当			2,800,000	2,800,000
75	法 定 福 利 費			500,000	500,000
76	福 利 厚 生 費			600,000	600,000
77	会 議 費			100,000	100,000
78	旅 費 交 通 費			100,000	100,000
79	通 信 運 搬 費			600,000	600,000
80	消 耗 品 費			100,000	100,000
81	修 繕 費			20,000	20,000
82	印 刷 製 本 費			100,000	100,000
83	減 価 償 却 費			6,600	6,600
84	慶 弔 費			50,000	50,000
85	図 書 資 料 費			600,000	600,000
86	賃 借 費			800,000	800,000
87	支 払 手 数 料 費			2,000,000	2,000,000
88	理 事 会 等 費			1,300,000	1,300,000
89	雑 費			600,000	600,000
90	経 常 費 用 計	98,293,560	107,487,149	10,276,600	216,057,309
91	当 期 経 常 増 減 額	△21,143,560	△27,102,340	42,713,400	△5,532,500
92					
93	2. 経常外増減の部				
94	(1) 経常外費用				
95	当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△21,143,560	△27,102,340	42,713,400	△5,532,500
96	一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	△21,143,560	△27,102,340	42,713,400	△5,532,500
97					
98	II 正味財産期末残高	△21,143,560	△27,102,340	42,713,400	△5,532,500

京都私立病院報

2020(令和2)年5月27日発行 No.700 - 臨

発行所 一般社団法人 京都私立病院協会
京都市下京区烏丸通四条下ル
水銀屋町 620 番地 COCON 烏丸 8 階
TEL (075) 354-8838

発行人 清水鴻一郎

印刷所 ㈱ティ・プラス TEL (075) 462-7889
